

令和元年度版

瀬戸市の教育

瀬戸市教育委員会

目 次

I 教育行財政

- 1 瀬戸市の沿革 1
- 2 教育委員会組織機構図 2
- 3 教育委員会職員数 3
- 4 事務の補助執行 3
- 5 歴代教育委員 4
- 6 歴代教育長 6
- 7 教育財政 7
- 8 教育アクションプラン 9
- 9 教育アクションプラン推進会議 16
- 10 瀬戸市教育大綱 17
- 11 瀬戸市総合教育会議 18

II 学校教育

- 1 瀬戸の学校教育でめざすもの 19
- 2 具体的な取り組み 20
- 3 教職員の研修 41
- 4 学校の状況 46
- 5 学校施設一覧 50
- 6 瀬戸市立小学校の適正配置 52
- 7 就学・私学助成制度 62

III 学校給食

- 1 学校給食の方針 64
- 2 学校給食の現況 64

IV 図書館

- 1 図書館活動 71

V 社会教育

- 1 社会教育 78

VI 社会体育

- 1 社会体育 83
- 2 体育・スポーツ活動 84
- 3 スポーツ施設 87
- 4 定光寺野外活動センター 88

VII 文化財保護

- 1 文化財保護活動 89

資料

- 1 沿革 94
- 2 教育関係施設一覧 121

はじめに

瀬戸市教育委員会が昭和27年11月1日に発足し、67年を迎えています。昭和から平成、そして令和へと、大きな時代の転換期を迎えました。

瀬戸市の教育も、令和2年4月開校の『にじの丘学園』、市内全校区で始まる小中一貫教育の実施に向けて、各取組を進めているところです。今、瀬戸市の教育は、未来社会に向け、大きく変わろうとしています。

私たちはこれから、今まで経験したことの無いような新たな瀬戸市の教育の幕開けを迎えようとしています。その礎が、先人のたゆまぬ努力によるものであることは疑う余地もありません。こうした認識の上に立って、これからは、教育関係者に限らず、私たち瀬戸市の大人一人ひとりが、それぞれの立場で、教育の意識改革に取り組む当事者であるという自覚を備える時期を迎えています。

それが、瀬戸市の教育が果たす、人づくり、まちづくりの原点です。

新たな教育の具体的な施策については、この冊子とは別に、様々な方法で、これからの学びの姿を魅力あるものとして皆様方に発信していきます。

これまでの教育の経過を、令和元年度の教育概要としてとりまとめました。本市の教育行政をご理解頂くと共に、「子どもたちの幸せ」そして、「皆様との連携・協働」を切に願い、はじめの言葉とさせていただきます。

令和元年10月

瀬戸市教育委員会
教育長 横山 彰

I 教育行財政

1 瀬戸市の沿革

瀬戸市は、濃尾平野の東、尾張丘陵の一角にあって、中部経済圏の中心地である名古屋市の北東約 20km に位置し、周囲を標高 150m～300m の山々に囲まれ気候も温暖で、丘陵地帯には、瀬戸層群と呼ばれる新第三紀鮮新世の地層があり、やきものの原料となる良質の陶土やガラスの原料となる珪砂を豊富に有しています。また、北部や東部の山間地帯には、松などの樹林が広がり、かつては、こうした恵まれた自然が、瀬戸の窯業の発展に大きな支えとなってきました。このような自然や時代の移り変わりを背景に、窯業に携わってきた人々のたゆまぬ努力のおかげで、せとものはやきものの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。明治 11 年(1878)に郡区町村編成法、同 22 年(1889)に町村制が公布されると、近代的な自治体である瀬戸村となり、次いで明治 25 年(1892)には瀬戸町になりました。さらに大正 14 年(1925)には赤津村及び旭村の一部を合併し、4 年後の昭和 4 年には愛知県で 5 番目の市として「瀬戸市」が誕生しました。その後も昭和 26 年(1951)には水野村を合併、同 30 年(1955)には幡山村、同 34 年(1959)には品野町を合併し、市域は現在 111.40 k㎡、人口は 13 万人近くまで発展しています。先人たちより引き継がれてきた「歴史」「伝統」「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

- (1) 市制施行 昭和 4 年 10 月 1 日
- (2) 市役所所在地 瀬戸市追分町 64 番地の 1
東経 137 度 5 分 3 秒
北緯 35 度 13 分 24 秒
- (3) 面積 111.40 k㎡
東西 12.8 km
南北 13.6 km
- (4) 人口 (平成 31 年 4 月 1 日現在)
男 63,748 人
女 65,802 人
計 129,550 人
- (5) 世帯数 55,942 世帯



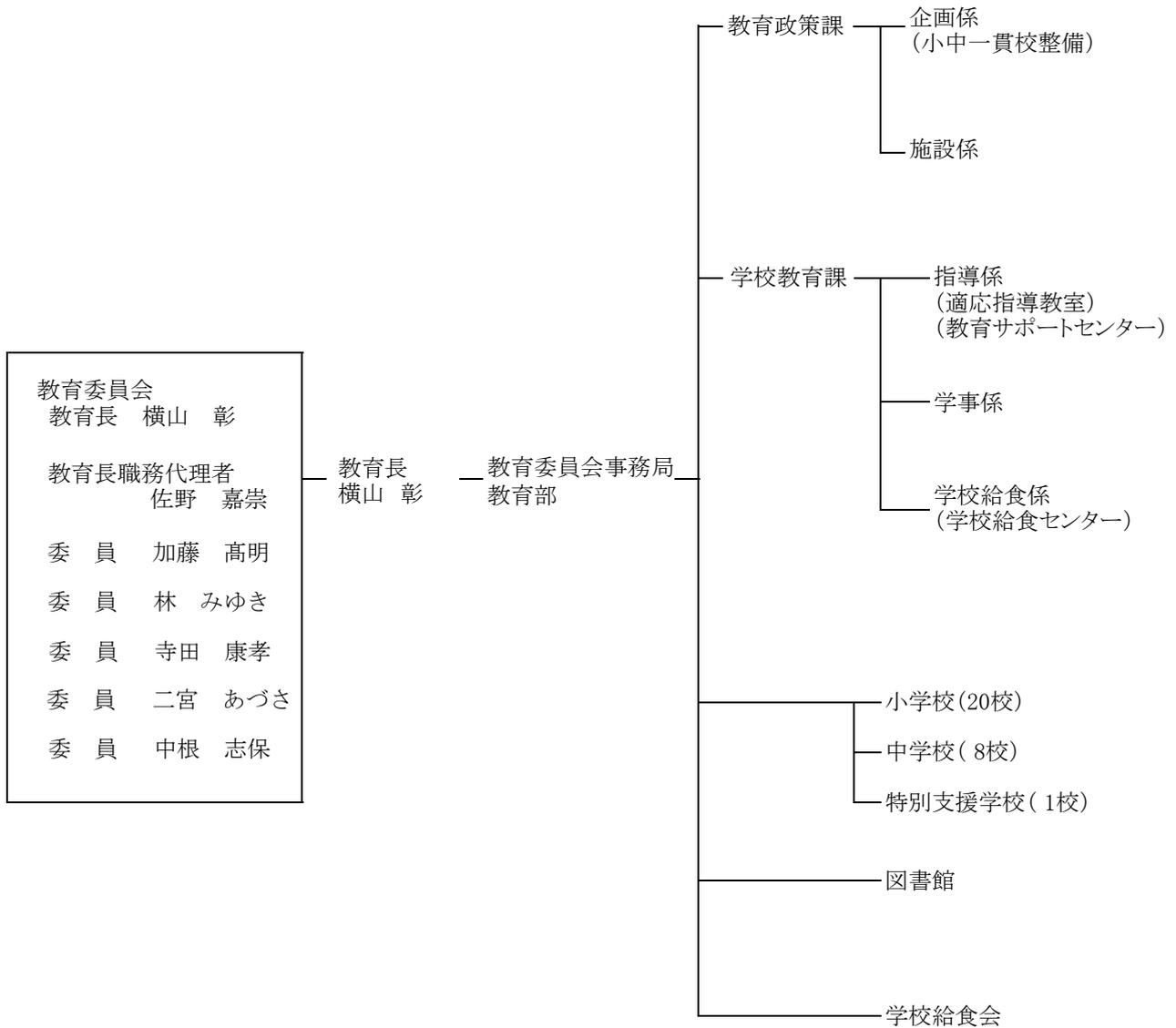
市の花 ツバキ



市の木 クロガネモチ

2 教育委員会組織機構図

平成31年4月1日現在



3 教育委員会職員数

平成31年4月1日現在 ※()内再掲

	教 育 部 長	課 長	館 長・ 主 幹	課 長 補 佐 ・ 専 門 員	係 長 ・ 主 査	主 事	技 師	技 能 員	用 務 員	調 理 員	配 膳 員	嘱 託 職 員	計	備 考
教育部長	1												1	技師兼務
教育政策課		1	1(1)	2(1)	1	3	1					1	10	0内は技師
学校教育課		1	2	5	2	1		1				7(1)	19	0内は学校給食会兼務
小学校(20校)									26	10			36	
中学校(8校)									10				10	
特別支援学校(1校)									2	4			6	
図書館			1			2							3	
計	1	6	7	3	6	1	1	38	14			8	85	
学校給食会												1	1	
計												1	1	

4 事務の補助執行

(1) 市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

- ① 私立学校（私立幼稚園を除く。）、私立の専門学校及び私立の各種学校に関すること。
- ② 教育委員会の所掌する事業に係る国庫支出金及び県支出金等の申請に関すること。
- ③ 瀬戸市予算及び決算規則（昭和40年瀬戸市規則第17号）、瀬戸市公有財産事務取扱規則（昭和42年瀬戸市規則第21号）、瀬戸市自動車等管理規程（昭和40年瀬戸市訓令第2号）に規定する各課等の長の処理すべき事務に関すること。
- ④ 瀬戸市会計規則（昭和29年瀬戸市規則第4号）に規定する各課等の長及び物品取扱主任等の処理すべき事務に関すること。
- ⑤ 瀬戸市契約規則（昭和40年瀬戸市規則第18号）に規定する契約担当者の処理すべき事務に関すること。

(2) 教育委員会が市長部局の地域振興部の職員に補助執行させる事務

- ① 青少年教育、成人教育、その他社会教育に関すること。
- ② スポーツに関すること。
- ③ 文化財の保護に関すること。
- ④ 公民館の事業に関すること。
- ⑤ 前各号に係る教育財産の管理に関すること。

(3) 教育委員会が市長部局の市民課及び支所に属する職員に補助執行させる事務

- ① 住民の異動に伴う就学通知書、入学通知書、学齢児童生徒市外転出通知書及び学齢児童生徒市内異動通知書の交付に関すること。（ただし、通学区域外入学に係るものを除く。）

5 歴代教育委員(教育長を除く)

令和元年10月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数	氏名	在職期間	在職年月数
(公)松原明道	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤伸也	昭和58年10月～昭和62年9月	4年
(公)早川富次郎	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	山内鉦平	昭和59年10月～昭和63年9月	4年
(公)藤井吉久	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	磯村範良	昭和60年10月～平成元年9月	4年
(公)稲垣信夫	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤悦郎	昭和61年10月～平成2年9月	4年
加藤三郎	昭和27年11月～昭和28年9月	11月	竹田竜弥	昭和62年10月～平成3年9月	4年
伊藤陶彦	昭和28年6月～昭和29年6月	1年	鈴木逸夫	昭和63年10月～平成4年9月	4年
加藤通之助	昭和29年6月～昭和30年6月	1年	林春治	平成元年10月～平成5年9月	4年
伊藤義雄	昭和30年2月～昭和31年9月	1年8月	山城浩平	平成2年10月～平成6年9月	4年
村上力男	昭和30年6月～昭和31年6月	1年	大竹保枝	平成3年10月～平成7年9月	4年
矢野千代太	昭和31年6月～昭和31年9月	4月	余語彦次	平成4年10月～平成8年9月	4年
松原恒	昭和31年10月～昭和33年9月	2年	松原肇	平成5年10月～平成9年9月	4年
加藤昇次	昭和31年10月～昭和34年9月	3年	小野義弘	平成6年10月～平成10年9月	4年
加藤秋子	昭和31年10月～昭和35年9月	4年	勝谷哲次	平成7年10月～平成11年9月	4年
加古徳次	昭和31年10月～昭和36年9月	5年	鈴木政成	平成8年10月～平成12年9月	4年
加藤元資	昭和33年10月～昭和37年9月	4年	加藤唐三郎	平成9年10月～平成13年9月	4年
小野廉二	昭和34年10月～昭和38年9月	4年	梅村和子	平成10年10月～平成14年9月	4年
篠瀬実	昭和35年10月～昭和39年9月	4年	野田正治	平成11年10月～平成15年9月*	4年
荒川安吉	昭和36年10月～昭和40年9月	4年	大竹良太	平成12年10月～平成16年9月	4年
柴田善右工門	昭和37年10月～昭和41年9月	4年	加藤定江	平成13年10月～平成17年9月	4年
加藤敏子	昭和38年10月～昭和42年9月	4年	加藤令吉	平成14年10月～平成18年9月	4年
加藤政良	昭和39年10月～昭和43年9月	4年	伊藤保徳	平成15年10月～平成19年9月	4年
加藤作助	昭和40年10月～昭和44年9月	4年	松本哲也	平成16年10月～平成20年9月	4年
大橋惣二	昭和41年10月～昭和45年9月	4年	松本高典	平成17年10月～平成21年9月	4年
後藤八郎	昭和42年10月～昭和46年9月	4年	加藤恵子	平成18年10月～平成22年9月	4年
水野正司	昭和43年10月～昭和47年9月	4年	加藤陽一	平成19年10月～平成23年9月	4年
加藤正夫	昭和44年10月～昭和45年4月	7月	(再)野田正治	平成20年10月～平成23年9月 *平成11年10月～平成15年9月	3年 *4年
水野悦郎	昭和45年5月～昭和48年9月	3年5月	中島道代	平成20年10月～平成24年9月	4年
江尻守鉦	昭和45年10月～昭和49年9月	4年	刑部祐介	平成20年10月～平成24年9月	4年
川本三明	昭和46年10月～昭和50年9月	4年	鈴木眞史	平成21年10月～平成25年9月	4年
加藤光哉	昭和47年10月～昭和51年9月	4年	上川和子	平成22年10月～平成26年9月	4年
加藤晃	昭和48年10月～昭和52年9月	4年	水野教雄	平成23年10月～平成27年9月	4年
加藤鈔	昭和49年10月～昭和53年9月	4年	加藤雅人	平成23年10月～平成27年9月	4年
加藤俊明	昭和50年10月～昭和54年9月	4年	梶田俊裕	平成24年10月～平成28年9月	4年
荒井洋	昭和51年10月～昭和55年9月	4年	松本恵美子	平成24年10月～平成28年9月	4年
加藤英彦	昭和52年10月～昭和56年9月	4年	加藤高明	平成25年10月～平成29年9月*	4年
伊藤純一郎	昭和53年10月～昭和57年9月	4年	加藤智子	平成26年10月～平成30年9月	4年
塚田佳男	昭和54年10月～昭和58年9月	4年	佐野嘉崇	平成27年10月～令和元年9月	4年
加藤隆夫	昭和55年10月～昭和59年9月	4年	林みゆき	平成27年10月～令和元年10月	4年
増岡錦也	昭和56年10月～昭和60年9月	4年	寺田康孝	平成28年10月～	3年
後藤公彦	昭和57年10月～昭和61年9月	4年	二宮あづさ	平成28年10月～	3年

氏 名	在 職 期 間	在 職 年 月 数
(再) 加 藤 高 明	平成29年10月～ 平成25年10月～平成29年9月*	2年 *4年
中 根 志 保	平成30年10月～	1年

6 歴代教育長

令和元年10月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数
山田 栄(代理)	昭和27年11月～昭和27年12月	2月
伊藤 一雄	昭和28年1月～昭和32年5月	4年5月
相原 邦雄	昭和32年6月～昭和43年9月	11年4月
松浦 正雄	昭和43年10月～昭和52年3月	8年6月
加藤 朋也	昭和52年4月～昭和55年3月	3年0月
加藤 春夫	昭和55年4月～平成2年3月	10年0月
加藤 浩松	平成2年4月～平成11年3月	9年0月
大澤 義洋	平成11年4月～平成24年3月	13年0月
深見 和博	平成24年4月～平成30年12月	6年9月
横山 彰	平成31年2月～	



<横山 彰 教育長>

7 教育財政

(1)平成31年度一般会計予算

(単位:千円)

歳 入			歳 出		
款	金額	割合	款	金額	割合
1 市税	18,401,600	44.1%	1 議会費	333,253	0.8%
2 地方譲与税	301,000	0.7%	2 総務費	4,957,361	11.9%
3 利子割交付金	25,000	0.1%	3 民生費	16,047,982	38.4%
4 配当割交付金	132,000	0.3%	4 衛生費	4,022,971	9.6%
5 株式等譲渡所得割交付金	74,000	0.2%	5 労働費	2,612	0.0%
6 地方消費税交付金	2,295,000	5.5%	6 農林水産業費	126,687	0.3%
7 ゴルフ場利用税交付金	34,000	0.1%	7 商工費	1,149,591	2.8%
8 自動車取得税交付金	81,000	0.2%	8 土木費	3,548,917	8.5%
9 環境性能割交付税	31,000	0.1%	9 消防費	1,245,167	3.0%
10 地方特例交付金	125,000	0.3%	10 教育費	8,059,417	19.3%
11 地方交付税	2,688,000	6.4%	11 災害復旧費	8	0.0%
12 交通安全対策特別交付金	20,000	0.0%	12 公債費	2,196,034	5.3%
13 分担金及び負担金	280,635	0.7%	13 予備費	50,000	0.1%
14 使用料及び手数料	742,698	1.8%			
15 国庫支出金	6,011,446	14.4%			
16 県支出金	2,763,369	6.6%			
17 財産収入	590,780	1.4%			
18 寄附金	1	0.0%			
19 繰入金	1,782,709	4.3%			
20 繰越金	1	0.0%			
21 諸収入	1,175,061	2.8%			
22 市債	4,185,700	10.0%			
合 計	41,740,000	100.0%	合 計	41,740,000	100.0%

(2)一般会計と教育費の推移

(単位:百万円)

年 度	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1
一般会計総額(A)	32,750	32,330	33,210	36,260	34,920	33,890	35,110	38,440	41,740
教育費(B)	2,813	2,467	2,678	2,286	2,526	2,421	3,397	6,274	8,059
(B)/(A)	8.6%	7.6%	8.1%	6.3%	7.2%	7.1%	9.7%	16.3%	19.3%

(3)教育予算(歳出)の内訳

(単位:千円)

項 目		元年度	30年度	比較増減	前年比
1	教育総務費	4,952,740	2,786,768	2,165,972	177.7%
1	教育委員会費	2,917	2,894	23	100.8%
2	事務局費	201,909	155,697	46,212	129.7%
3	小中一貫校整備費	4,491,265	2,397,307	2,093,958	187.3%
4	教育指導費	256,649	230,870	25,779	111.2%
2	小学校費	713,042	1,032,530	△ 319,488	69.1%
1	学校管理費	137,459	140,984	△ 3,525	97.5%
2	学校施設費	323,648	324,984	△ 1,336	99.6%
3	学校建設費	206,608	523,814	△ 317,206	39.4%
4	教育振興費	45,327	42,748	2,579	106.0%
3	中学校費	540,843	602,329	△ 61,486	89.8%
1	学校管理費	100,170	95,980	4,190	104.4%
2	学校施設費	172,173	174,077	△ 1,904	98.9%
3	学校建設費	219,704	283,055	△ 63,351	77.6%
4	教育振興費	48,796	49,217	△ 421	99.1%
4	特別支援学校費	47,274	44,709	2,565	105.7%
1	学校管理費	35,362	33,085	2,277	106.9%
2	学校施設費	11,912	11,624	288	102.5%
5	社会教育費	223,090	224,964	△ 1,874	99.2%
1	社会教育総務費	1,230	884	346	139.1%
2	地区公民館費	63,202	68,516	△ 5,314	92.2%
3	図書館費	158,658	155,564	3,094	102.0%
6	保健体育費	1,582,428	1,583,183	△ 755	100.0%
1	保健総務費	101,686	102,779	△ 1,093	98.9%
2	体育総務費	57,461	57,149	312	100.5%
3	体育施設費	126,305	210,081	△ 83,776	60.1%
4	野外活動センター費	25,563	26,449	△ 886	96.7%
5	学校給食総務費	615,127	601,529	13,598	102.3%
6	学校給食センター	185,634	180,684	4,950	102.7%
7	学校給食単独校費	470,652	404,512	66,140	116.4%
合 計		8,059,417	6,274,483	1,784,934	128.4%

8 瀬戸市教育アクションプラン

瀬戸市教育委員会では、平成 18 年度を初年度とする 10 年間で展望し、瀬戸市の教育が目指す姿を描いた「瀬戸市教育アクションプラン」を策定しました。このアクションプランは瀬戸市の教育の四半世紀先の未来を見通し、行政や市民、また互いに協力して取り組むべきことを示したものです。当初計画期間を終えた平成 27 年度末には、平成 37 年度を目標年度とする「第 2 次瀬戸市教育アクションプラン」を策定し、具体的な施策の展開として、7 つの基本目標と 22 の基本施策、78 の主な事業に反映させました。

(1) 基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
 瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
 瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

この基本理念は、平成 17 年 3 月に策定した「瀬戸市教育アクションプラン」の基本理念として掲げたものです。社会情勢や教育環境が大きく移り変わる中、この基本理念の重要性と意味合いが一層増しており、今後も継承することにより、未来を見通した様々な教育施策を推進し、本市の教育を充実させていきます。

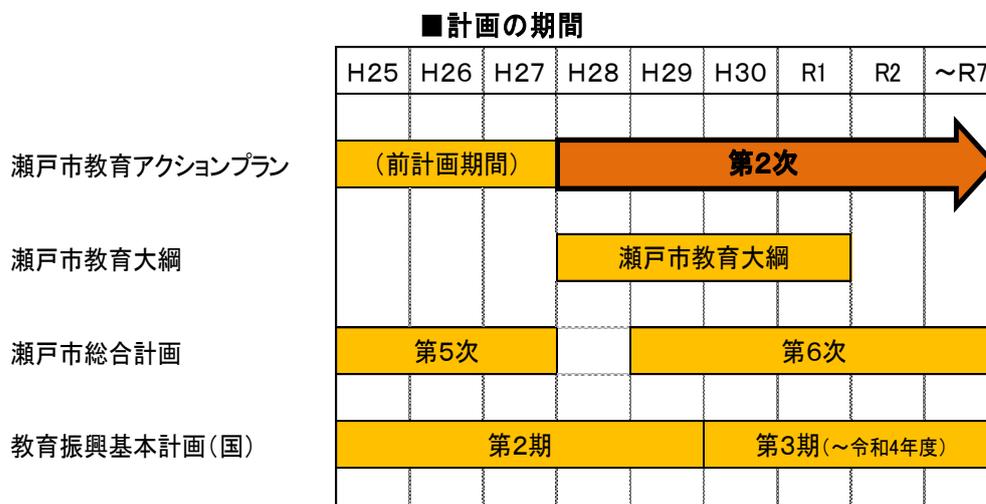
(2) アクションプランの位置付け

教育基本法第 17 条第 2 項「地方公共団体は、国の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない」との規定に基づくアクションプラン（行動計画）となります。

「瀬戸市総合計画」をはじめ、市長と教育委員が協議する「瀬戸市総合教育会議」において定めた「瀬戸市教育大綱」のもと、教育分野の個別計画として位置づけ、教育に関連する他の計画との整合性を図るとともに、関連する部門と連携・協働しながら、本市の教育行政が目指すべき姿を明らかにして、計画を推進していきます。

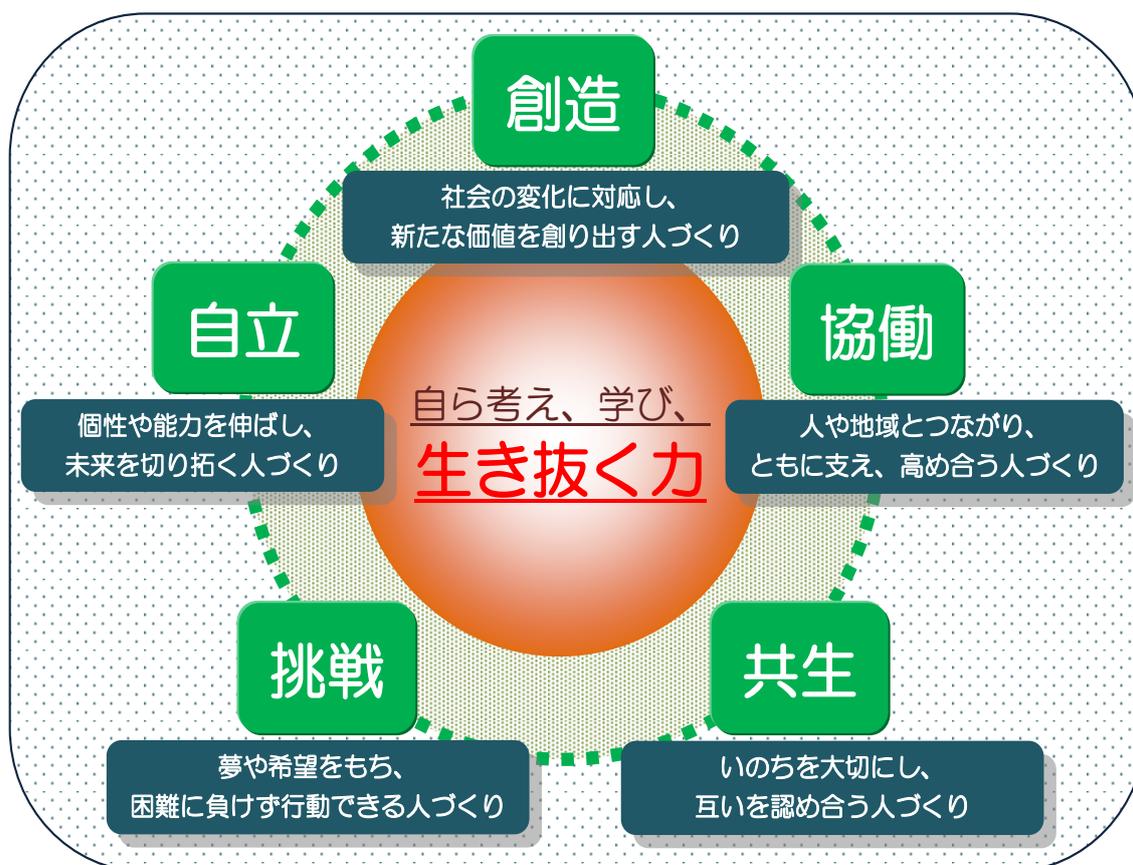
(3) 計画の期間

この計画は、平成 28 年度から 10 年間で計画期間としています。なお、「第 6 次瀬戸市総合計画」策定時及び計画が 5 年を経過した時点を目途に見直しを行い、必要に応じて、計画の内容を変更することとします。



(4) 基本的方向性（目指す人間像）

基本理念を実現し、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するため、5つの基本的な方向性を目指します。



国の「第2期教育振興基本計画」では、生涯にわたって自己の能力と可能性を高め、様々な人々と協調・協働しつつ、自己実現と社会貢献を図るため、「自立」、「協働」、「創造」の3つの方向性を示しています。

本市では、これらに加え、瀬戸らしさとして「地域とともにある学校づくり」や特別支援教育など、いのちを大切にし、互いを認め合う「共生」と、「まるっとせとっ子フェスタ」など、夢や希望をもち、困難に負けず行動する「挑戦」を含んだ5つの基本的方向性を目指すことにより、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成していきます。

これら5つの基本的方向性は、それぞれが独立して存在するものではなく、基本施策ごとに相互にバランス良く関わり合うことにより、施策における基本目標を着実に達成していきます。

(5) 施策の展開

基本目標1 確かな学力の定着と向上

児童生徒が、基礎的、基本的な知識や技能を確実に習得するため、学習意欲の向上を図るとともに、授業内容や指導方法を工夫していきます。

また、子どもたちが自ら学び、考え、主体的に判断するため、学び合いの授業を取り入れるなど、言語活動を充実します。

さらに、今後は、知識や技能を活用して、一人ひとりが自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的・協働的に探究し、思考を活発にするため、アクティブ・ラーニングを充実し、必要とされる資質・能力である思考力・基礎力・実践力を高め、生き抜く力を育みます。

基本施策		主な事業	
1	基礎的、基本的学力の習得	1	基礎的、基本的学力の習得と学習習慣の定着
		2	学習意欲の向上
		3	読書活動の推進
2	学んだことを生かす教育活動の推進	4	探究的な学習と体験活動の推進
		5	学力向上のための現状分析や今後の方策の検討
		6	「少人数指導授業」や「チーム・ティーチング」の充実
		7	ICTを活用した授業の推進
3	教職員の教育力の向上	8	研修による教職員の資質の向上
		9	分かりやすい授業づくりの推進
		10	教員が子どもと向き合う時間の確保

基本目標2 豊かな心の育成

道徳教育や人権教育などを通して、子どもたち一人ひとりが互いを尊重し、思いやりをもち、規範意識や社会のルールを身につけるなど豊かな心を育みます。いじめ・不登校の防止にあたっては、学校・家庭・地域が手を携え、子どもにいのちの大切さを伝えるとともに、社会全体で子どもを見守るなどの意識をより高めていきます。

また、豊かな感性や情操を養うため、文化芸術活動を支える事業を展開するとともに、文化財の調査研究を行い、市民が優れた文化芸術に親しみをもち、体験できる機会を充実していきます。

図書館においては、地域図書館を拡充し、市民がいつでもどこでも図書と親しむことができるなど、利便性を高める取り組みを行っていきます。

基本施策		主な事業	
4	いのちを大切にす教育の推進	11	道徳教育の推進
		12	人権教育の推進

5	いじめや問題行動への対応の充実	13	いじめ防止基本方針による取り組みの推進
		14	あたたかい学級づくりの推進やQ-Uの有効活用
		15	規範意識の定着など生徒指導の推進
		16	情報モラル教育の推進
6	不登校児童生徒への対応の充実	17	不登校や引きこもり児童生徒に対する対応の充実
		18	不登校予防のための教育相談体制の充実
7	文化芸術活動の支援や文化財の保存・活用	19	市民による文化芸術活動の支援や奨励
		20	文化芸術に触れ親しむ機会の確保
		21	伝統文化を尊重する心の育成
		22	文化財の保存・活用
		23	文化財に関する学習の機会提供
8	図書館サービスの充実	24	図書館施設の整備や充実
		25	図書館ネットワークの整備

基本目標3 健やかな体の育成

発達段階に応じて、健康づくりを実践し、生涯を通して健康で充実した生活を送るために基礎となる健やかな体を育みます。そのために、学校・家庭・地域が連携して、「早寝、早起き、朝ごはん」などの望ましい生活習慣を身につけるよう取り組んでいきます。

また、運動習慣を身につけるとともに、楽しみながら計画的かつ継続的に運動に取り組む機会を充実します。そのことが、将来にわたり、スポーツに親しむ機会の増加につながり、結果として、健康長寿社会の実現に重要な役割を果たすことになるものと考えます。

基本施策		主な事業	
9	規則正しい生活習慣の定着と健康の増進	26	衣食住の望ましい生活習慣の定着
		27	生活習慣病予防対策の実施
		28	学校保健をはじめ、健康教育や性教育などの充実
		29	食育の推進
		30	安心・安全な学校給食の提供と地産地消の推進
10	体力の向上とスポーツの振興	31	運動習慣の確立や体力向上への取り組みの推進
		32	生涯を通じ、誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の確保
		33	指導者の育成と指導力の向上
		34	競技者の育成支援
		35	若年層に対するスポーツ活動の支援
		36	スポーツ施設の整備

基本目標 4 多様な個性やニーズに応じた教育の推進

支援が必要な子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行います。そして、特別に支援が必要な子どもたちの多様なニーズに即して、きめ細かい対応をしていきます。

また、本市の小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、指導を充実していきます。さらに、市民一人ひとりが言語や文化、価値観など様々な違いや特性を認め合い、国籍を問わず誰もが暮らしやすいと感じる多文化共生社会の実現に向けた教育を推進するとともに、ダイバーシティ（多様な人材の積極的な活用）を推進していきます。

基本施策		主な事業	
11	支援が必要な子どもへの対応の充実	37	特別支援教育の充実
		38	経済的な支援や子どもの貧困対策の充実
		39	心のケアの充実など「チーム学校」の推進
		40	福祉実践教育の充実
12	多文化共生社会に向けた教育の推進	41	外国人児童生徒に対する日本語教育の充実
		42	外国人住民に対する日本語教育の充実
		43	多様な文化や価値観を尊重する教育の推進

基本目標 5 地域や社会とつながる教育の推進

すべての市民が教育の担い手となり支え合うために、これまで以上に保護者や地域の方々が学校運営に参画できる機会を増やし、学校が地域や企業、大学などと連携・協働することで、地域とともにある学校づくりを推進します。

また、本市は、長い間培われてきた歴史や伝統文化などに携わる方々などの人的資源や、豊かな自然に恵まれた教育環境を有しています。これらの地域資源を有効に活用した学びの機会を創出し、「ものづくりのまち瀬戸」への郷土愛を育てていきます。

さらに、グローバル化が進み、社会の仕組みが複雑化する中で、子どもが将来の夢や目標を掲げ、社会と関わりをもちながら、これからの社会を生き抜くための学習を推進し、男女ともに生涯を通して社会で活躍できる人材を育成していきます。

基本施策		主な事業	
13	瀬戸らしさを生かした特色ある教育の推進	44	キャリア教育や職業体験の推進
		45	せともの文化や伝統を継承していく郷土学習の推進
		46	環境教育の推進
		47	「まるっとせとつ子フェスタ」の充実
		48	未来創造事業の推進

14	地域とともにある学校づくりの推進	49	保護者や地域などの地域力による連携強化
		50	放課後の子どもの居場所づくり「せとっ子モアスクール」の拡充
		51	市民活動との連携強化
		52	地域ぐるみの青少年健全育成の推進
		53	地域企業との連携の推進
		54	大学(大学コンソーシアムせと)などとの連携強化
15	未来を生き抜く子どもの育成	55	グローバル社会に対応した人材の育成
		56	情報リテラシー(情報活用能力)の育成
		57	性差なく活躍できる人材の育成
16	男女共同参画社会の推進	58	安定した家庭生活のためのワーク・ライフ・バランスの実現
		59	学校現場における女性の登用

基本目標6 ライフステージに応じた切れ目のない教育の推進

家庭教育における教育力の向上を図るとともに、保育園や幼稚園などと小中学校・特別支援学校が連携しながら、継続性と連続性のある教育活動を通して、子どもたちが将来を見通し、自立して生きるための基盤となる能力を育みます。また、教育全体として、どのような人材を育成するのか、といった理念を明確にして、教育の担い手である市民全員が責任と役割分担を互いに認識しながら、教育を推進します。

さらに、子どもから高齢者まで、市民の様々なライフステージに応じた多様な学習機会を提供するとともに、市民一人ひとりが互いに学び合い、交流することで、生涯にわたって学び続けるよう、途切れることのない連続性のある教育を推進していきます。

基本施策		主な事業	
17	子育て支援と家庭教育の充実	60	幼児教育の充実、地域や社会全体での子育ての実施
		61	家庭教育力の向上支援
		62	児童虐待の防止
18	関係機関の連携による教育の推進	63	保育園・幼稚園・小学校の連携強化
		64	小中一貫教育の推進や小中一貫校の導入
		65	教育と福祉の連携による切れ目のない支援
19	生涯にわたり、相互に学び合う教育の推進	66	「学びキャンパスせと」の充実
		67	公民館・地域交流センター活動の充実
		68	生涯学習社会を担う指導者やボランティアの育成

基本目標 7 適正で魅力ある教育環境の充実

学校施設は老朽化が進んでおり、計画的な保全に取り組むとともに、財政負担の平準化なども踏まえた学校施設の長寿命化や建て替えを検討します。

また、子どもたちが集団の中で豊かな人間関係を築くとともに、自主性、自立性、社会性を養い、これからの社会を生き抜くことができるたくましい子どもを育てるため、地域の実情やまちづくりの視点を考慮しながら、学校の新設、統合や通学区域の見直しなどにより、学校の適正規模・適正配置を進めます。

さらに、学校と家庭や地域が、子どもを育てる当事者として、目標やビジョンを共有し、相互に連携・協働することで、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めます。

基本施策		主な事業	
20	魅力ある学校づくりと適正規模・適正配置の推進	69	適正規模・適正配置の推進
		70	児童生徒が楽しいと感じる魅力ある学校づくり
21	安心で安全な学校づくりの充実	71	学校施設の安心・安全対策や長寿命化対策の実施
		72	通学路を含む交通安全対策やスクールガードの充実
		73	防災教育の充実
		74	防犯など安全教育の充実
22	信頼される学校づくりの推進	75	学校運営に係る積極的な情報発信
		76	学校評議員や学校評価制度の活用
		77	学校マネジメント力の向上
		78	PTAや教育アクションプラン推進会議などによる市民意向の反映

9 第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議

平成18年6月に「瀬戸市教育アクションプラン推進会議（以下、「推進会議」）」を発足し、プランの策定及び進捗状況の把握と各施策の進行管理を行っています。

また、平成28年3月の「第2次瀬戸市教育アクションプラン」の策定に伴い、委員各々が、それぞれの職や役割などにおいて、プランの基本理念や方向性などを周知していくことも、推進会議の目的として位置付けました。

学校・家庭・地域が行政組織とも連携し、子どもたちの“生き抜く力”を育む体制を強化するため、それぞれの立場で専門的な知見を発揮し、市民との対話が一層促進されるよう、次の方々に委員を委嘱しています。

【*名簿については令和元年7月1日現在を掲載】

委嘱委員	氏名	備考
会長	吉田 淳	名古屋学院大学 スポーツ健康学部 教授
副会長	福田 直美	水南公民館
委員	福岡 明	元校長会会長、元愛知県尾張教育事務所特別支援教育指導員
〃	和佐田 強	学校法人光和学園瀬戸幼稚園 園長
〃	黒田 陽子	瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 母親代表第一副部長
〃	水谷 友里	瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 経験者
〃	一尾 茂正	教育関係者
〃	中島 なぎさ	效範公民館
〃	長田 高代	瀬戸市体操協会副会長 愛知県健康づくりアドバンスリーダー
〃	西原 勇	教育サポートセンター長
〃	山田 芳人	オアシス21 所長
〃	早川 寿	祖東中学校 校長
〃	三谷 健美	品野中学校 教頭
〃	羽間 弘美	古瀬戸小学校 教務主任
〃	加藤 高明	瀬戸市教育委員会 委員

オブザーバー	氏名	備考
行政	熊谷 由美	まちづくり協働課長
〃	服部 文孝	地域振興部参事兼文化課長兼瀬戸市美術館長
〃	田口 浩一	スポーツ課長
〃	上田 喜久	社会福祉課長
〃	磯村 玲子	こども未来課長
〃	田中 伸司	健康課長

平成30年度の会議開催実績

(1) 第1回（5月29日開催）の主な議題

- ・瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書作成のための意見調査について

(2) 第2回（7月25日開催）の主な議題

- ・瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書(案)について

10 瀬戸市教育大綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、平成27年4月から施行されました。本市においても、教育大綱の策定に関する協議等のため、瀬戸市総合教育会議が設置され、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、平成28年から31年度を計画期間とし、次のとおり定めました。

ふるさとに誇りと愛着をもち まちと未来を拓く人づくり

「まちづくりは人づくり」という言葉のとおり、市政において、事業と人材育成は表裏一体のものです。また、教育は、「人を育て、まちを育てる」ものであり、新たな時代や社会、そして、本市が目指す“住みたいまち 新しいせとづくり”の重要な礎となります。

本市には、長い間培われてきた、ものづくりの文化や歴史などの地域資源があり、大都市近郊でありながら、豊かな自然に囲まれた教育環境が整っています。今後は、さらに、市民一人ひとりが主体性をもち、自立しながら教育に向き合うとともに、これらの地域資源を活用した学びの機会を創出し、“ものづくりのまち瀬戸”への郷土愛を育てていくことが大切だと考えています。

一方、生涯学習社会においては、性別や年齢などを問わず、誰もが参加することができる交流や体験の機会を創出していきたいと考えています。その際、現在の社会や人々の暮らしが、どのような歴史や価値観の上に成り立っているのか、私たち自身が今一度、見つめ直し、未来を拓く子どもたちに“生き抜く力”を受け継いでいくことが必要となります。

これまで掲げてきた“教育の基本理念”は、むしろ今の時代、めまぐるしく移り変わる教育環境においてこそ輝きを増し、なお一層、瀬戸市の教育の拠りどころになるものであり、次世代を担う子どもたちのたくましくも健やかな成長をすべての市民のみなさんとともに支えて参ります。

平成28年3月
瀬戸市長 伊藤保徳

(1) 基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

(2) 基本的方向性

「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するために、5つの基本的な方向を目指します。

- 創造：社会の変化に対応し、新たな価値を創り出す人づくり
- 自立：個性や能力を伸ばし、未来を切り拓く人づくり
- 協働：人や地域とつながり、ともに支え、高め合う人づくり
- 共生：いのちを大切にし、互いを認め合う人づくり
- 挑戦：夢や希望をもち、困難に負けず行動できる人づくり

(3) 視点

- 一人ひとりの異なる価値観などの個性を認め合う“多様性”の尊重
- 家庭・学校・地域とともに、社会全体で子どもを育む“横”の連携
- 生涯学習社会*に向けて、年齢や成長に応じた切れ目のない“縦”の接続
- 適正な学習環境と魅力ある学校づくりによる“信頼”の構築

*生涯学習社会：生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会のこと。

1.1 瀬戸市総合教育会議

平成27年9月に「瀬戸市総合教育会議（以下、「教育会議」）」を発足しました。教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化を図ることを目的としており、教育会議の構成員は市長と教育委員会であり、市長が招集し、原則公開の会議となります。なお、協議内容及び調整事項は、次のとおりとなります。

- ① 教育行政の大綱の策定
- ② 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- ③ 児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

平成29年度は同教育会議を1回開催し、以下の通り意見交換がなされました。

(1) 第1回(平成30年3月30日開催)の主な議題

- ・「地域全体で子どもを育み社会が共に成長するまちづくり」について

II 学校教育

1 瀬戸の学校教育でめざすもの

(1) 基本方針

「第2次瀬戸市教育アクションプラン」の具現化に向けて、学校が地域と連携しながら主体的・創造的に特色を生かした教育を進めることで、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、自分の住む町や社会の活性化と発展をめざす人づくりを目標とする。学校教育関係では、すべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」、すべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」と実感できる教育の実現を基本理念とする。各学校が目標実現のために、児童生徒の個性を尊重し、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める中で、新たな瀬戸の教育の創造と展開を図る。

(2) めざす将来の人間像<成長した大人の姿>を踏まえた「めざす児童生徒像・教職員像」

① めざす児童生徒像 (____は「めざす将来の人間像」との関連を示す)

豊かな人間性と自ら学ぶ力のある子

- いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。
共生 自立
- 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力を養う。
創造、自立、挑戦
- 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。
自立 協働、共生

② めざす教師像

- 教育愛と情熱をもって、使命を全うする教師
- 常に研修に努め、教育への見識を高め、社会的視野を広げるなど研鑽に努める教師
- 一人一人の個性を生かし、思いやりの心をもった教師
- さまざまな方面との連携を進んで図り、各々の立場や責任を理解し合い、協調し合う教師
- 社会の変化に積極的に対応する教師
- 専門性を発揮する教師

(3) めざす将来の人間が備えるべき力「自ら考え、学び、生き抜く力」

「自ら考え、学び、生き抜く力」は、「生きる力」と「生き抜く力」からなり、「自立」「創造」「協働」「共生」「挑戦」の5つの方向性を目指す。

「生き抜く力」の内容

- 夢や希望をもち、その実現に向けて限りない努力をすること
- 失敗や挫折があっても簡単にくじけたり逃げたりしない心の強さをもつこと
- まわりの人への思いやりをもち、互いに支え合うことができること

学習指導要領に示された「生きる力」の内容

- 知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

2 具体的な取り組み

(1) 方針

児童生徒の「自ら考え、学び、生き抜く力」を育むことを目指し、地域とともにある学校づくりを推進していくために、学習指導要領、地域・学校の実態、児童生徒の心身の発達段階と特性、そして、今日的な教育課題等を考慮しながら、地域・学校の特色や教師の創意工夫を生かした教育課程を編成する。

(2) 確かな学力の定着と向上

① 「確かな学力」の内容

- 学ぶための力…基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 学ぶ力…課題発見・解決能力、思考力・判断力・表現力等
- 学ぼうとする力…関心・意欲・態度

② 充実した授業づくり

- 充実した言語活動が行われる授業
- 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善
- 学ぶことの楽しさや達成することの喜びを味わわせ、互いに学び合い学習意欲の向上を促す授業
- 学習内容を確実に身につけさせる授業
- 指導過程や成果についての評価、及び指導の改善が継続的に行われる授業
- 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を重視した授業
- 個に応じた指導の充実した授業（少人数指導授業、ティーム・ティーチング）
- 効果的にICT機器を活用した授業
- 読書活動の推進

③ 学力向上のための現状分析・今後の方策の検討

- 「瀬戸の学び創造委員会」による分析、提言
- 各学校における分析や今後の方向性の検討
- 各中学校区における分析結果や今後の取り組み内容の共有化

④ 学習指導と評価の工夫・改善

- 児童生徒のよさや変容を積極的にとらえ、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばそうとする評価観をもって学習指導にのぞむ。
- 指導の過程や成果を評価し、評価したことを指導の改善に生かす。
- 評価方法を工夫・改善する。

- ・目標に準拠した評価規準を設定し、事前に指導の手だてを構想しておく。
- ・客観的な評価のため、チェックリスト・行動観察記録・写真等、様々な資料を活用する。
- ・児童生徒の相互評価・自己評価の場面・方法を工夫するとともに自己評価能力を高める。

(3) いのちを大切にす教育の推進

- 道徳教育を中心に、あらゆる教育活動を通して
 - 自他のいのちの大切さを考える機会の設定、自己肯定感・自己有用感の育成
- 人権教育を通して
 - 差別・偏見なく、互いの違いを認め合う態度や思いやる心の育成

(4) いじめ・不登校の克服

児童生徒が困難に直面したり挫折を味わったりしたとき、それに屈することなく前に進むためには、自己肯定感を高め、自分自身を信じるが必要となってくる。そのためには、小さな成功体験を積み重ね、友人、仲間、家族、まわりの大人が自分自身を支えてくれているという安心を感じさせることが大切である。また、それらを通して、「たくましく生き抜く力」を育てることがいじめ・不登校の未然防止につながる。

そんな児童生徒の成長をきめ細かく見守っていくためにも、小中一貫教育を推進し、小学校と中学校の情報交換を密にしていく。また、児童生徒を育てるには、学校教育だけでなく、家庭教育、地域の教育それぞれが役割を担い責任を持つことが大切であるという認識を高め、さまざまな機関が「協働」していく必要がある。

① 令和元年度の取り組み

ア テーマ

「いじめ・不登校0を目指して～学校が大好き！自分が大好き！友だちが大好き！～
『一人ひとりの存在感がある学級づくり』」

このテーマは自己肯定感・自己有用感・学級所属感がいじめ・不登校を克服することにとって大切であるという考えに基づいている。担任という立場に立った時、「自分のクラスではいじめをなくす。不登校をなくす」という強い意思を持つことが大切であり、それと同時に一人ひとりがかけがえのない存在であるということを瀬戸市の教員全てが子どもたちや保護者に伝えることが重要である。

イ 具体的な取り組み

- いじめ・不登校対策推進協議会(年3回開催)
 - ・推進協議会委員15名 いじめ・不登校対策事業の方針決定等
- いじめ・不登校対策連絡会(年3回開催)
 - ・各校いじめ・不登校対策委員参加 中学校ブロック懇談等

今年度から連絡会を適応指導教室のあるやすらぎ会館で開催し、情報交換の場面では適応指導教室の指導員にも参加してもらい、児童生徒の現状把握を深めた。

○ 学級アセスメント (Q-U) 実施(小学4年生～中学3年生・年1回)

- ・不登校傾向児童生徒の早期発見、要支援児童生徒の把握等

○ 中学校ブロック別いじめ対策懇談会

- ・夏期休業・冬季休業中に開催 小中の情報交換

○ いじめ・不登校対策研修会の実施

- ・Q-U 研修会・SSWr 担当者研修会・カウンセリング研修会

Q-U は結果を分析して今後の指導にどう生かすかという点が重要である。そのためには結果を正確かつ、深く読み取る力が大切となる。そこで、今年度は教員の力量に合わせ「初級」「中級」「上級」という3つのコースを設定し研修を行った。また、「中級」「上級」のコースを受講した先生には「校内で指導的立場である」という自覚についても研修内で触れることができた。

○ SC・SSWr 連絡会議

- ・心理相談事業(年間60回開催)
- ・SSWr(スクールソーシャルワーカー)活用事業

平成28年度より、スクールソーシャルワーカー(SSWr)を導入している。令和元年度は3名のSSWrが週2日勤務し、それぞれ2あるいは3中学校ブロックを担当。いじめ・不登校問題を中心に相談・支援・ケース会議等を行っている。学校現場からは「新たな視点でいじめ・不登校対策に取り組むができて」「時間的多忙感解消だけでなく、精神的な多忙感解消につながっている」等の声が聴かれ、SSWrが浸透するとともに有効活用されていることがうかがわれる。

【令和元年1学期の実績】

	件数	問題解決	支援中 (好転)	支援中	その他
不登校	29	2	5	22	0
いじめ、暴力行為、非行等の問題行動	1	0	1	0	0
友人等との関係の問題	13	6	3	4	0
虐待	5	1	1	3	0
貧困の問題	0	0	0	0	0
家庭環境の問題	23	6	7	10	0
心身の健康・保健に関する問題	5	2	2	1	0
発達障害等に関する問題	26	6	5	15	0
その他	0	0	0	0	0

<課題>

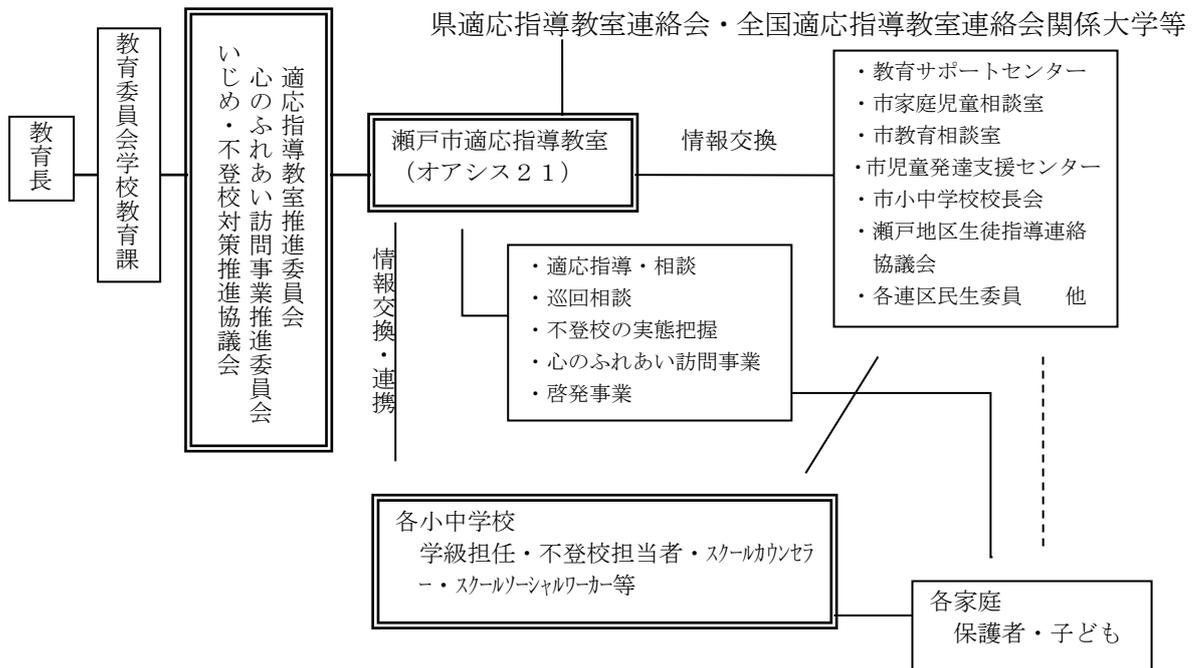
さまざまな問題に対して、SSWrが教員の指導をサポートしている現状は、非常に有効な指導となっている。また、SSWrが保護者を支援するためにはまず相談者が安心を感じてもらうことが第一歩である。そのため、長期にわたり支援が続く案件が多く、1人のSSWrが2～3中学校ブロックを担当している現状では圧倒的に時間が足りない。相談したいときに、相談できないという状況はせつかく培ってきた信頼関係も崩れてしまう。国も今後各校にSSWrを配置する施策を進めようとしているが、喫緊の課題としてSSWrの増員は必要となってきた。

② 適応指導教室（通称「オアシス21」）

ア 適応指導教室事業方針

- ・「不登校」児童生徒への対応は、教育問題としてだけでなく、人生の方向性を見出させるうえでも依然大きな社会問題である。集団生活になじめない、心病んでいる不登校の児童生徒を対象に、特別に配慮した指導を行うことによって、当該児童生徒の自立を促し、学校生活及び社会生活への復帰を支援する。
- ・適応指導教室運営を中心にしつつ、不登校に関する諸活動を展開することによって、不登校に関する支援センターとしての機能を充実させる。

イ 組織



ウ 適応指導教室の事業内容

- 通級適応指導・相談
 - ・通級適応指導…適応指導教室での通級適応指導
オアシスメイトによる不登校児童生徒とのふれあい活動
 - ・適応相談…不登校に関する常時相談（所長対応：電話相談・来所相談）

- 相談事業
 - ・オアシス相談…オアシス 21 での面接相談 年 4 4 日
 - ・学校巡回相談…16 小学校へ出向いての面接相談 年 1 6 日
 - ・保護者懇談会…不登校児童生徒の保護者懇談会としての相談会 年 3 回
 - ・適応相談…不登校に関する常時相談（電話相談・来所相談）
- 調査・研究
 - ・市教育委員会へ報告された長欠児童生徒の資料整理、巡回による実態調査
- 啓発事業
 - ・教職員啓発…適応指導教室の参観・不登校担当者会等による啓発・「年間活動報告書」の発行
 - ・保護者啓発…通信「オアシス 21」を毎週発行、懇談会による啓発等

エ 通級適応指導教室の具体的運営

○ 目的

不登校の児童生徒を対象にして、相談・指導を行うことにより、学校生活および社会生活への復帰を支援する。

運営方針

- ・「学校復帰」「社会参加」を目標として支援する
- ・今後の生き方・考え方の「自立」を引き出す働きかけを工夫する
- ・「オアシスに通級させる」ことに、全力をあげる
- ・フリースクールではない

指導方針

- ・児童生徒を中心に考え、①待つ②あせらない③強制しないを基本原則とする
- ・チーム「オアシス 21」で指導する
- ・保護者との信頼関係を築く
- ・学校や関係機関との連絡を密にする

○ 設置場所

平成 7 年 1 0 月、瀬戸市体育館 2 階に仮施設として開設した。平成 8 年度末移転を完了し、平成 9 年 4 月より瀬戸市福祉健康センター（やすらぎ会館）2 階に設置。

○ 通級対象者

様々な理由により、「学校に行けない」「行けていない」状態にある市内小中学校の児童生徒

で、本人・保護者が通級を希望し、学校から申請のあった者

○ 通級指導担当者

瀬戸市適応指導教室指導員、ボランティア活動のオアシスメイト

○ 開設日時

毎日。月曜日から金曜日まで。瀬戸市内小中学校の学期・登校日に準じる。

・通級適応指導…午前9時00分～午後3時10分

・不登校相談…午前9時00分～午後5時00分

○ 適応指導教室への通級・入級について

・通級・入級についての主体的な指導は、学校・担任で行う。

・保護者・本人が見学し、本人・保護者が通級を希望し、学校長が承認すれば正式入級とする。

・通級時間・通級日等の具体的方法は、本人の意思を確認しながら決定していく。

○ その他

・適応指導教室での指導中、あるいは通級途上の事故については、独立行政法人日本スポーツ振興センターを適用する。

・通級した日は、校長の判断で、学校での出席扱いとする。

オ 平成30年度活動報告

○ 適応指導教室の日課

・通年の基本日課（夏休み中は特別日課）

午前中は「個別学習」、午後は「体験活動」を通年の基本形としている。午前中は個別学習の時間を《チャレンジタイム》として、通級生個々の能力・学力に応じた学習活動を支援している。午後の体験活動は《オアシスタイム》と呼び、仲間と一緒に活動することを通して、分担・協力等を学ばせる場としている。

9 : 00		12 : 00	13 : 00	15 : 00
月 曜 ～ 金 曜	《チャレンジタイム》 個別活動（教科の学習活動） ・小学生＝国語・算数・社会・理科等 ・中学生＝国語・数学・英語・社会・理科等 （その他、教科の選択可能）		昼食 （弁当） 自由時間	《オアシスタイム》 集団活動（ふれあい活動） ・バドミントン・テニス ・卓球 ・室内ゲーム ・工作 ・調理実習 ・畑作業 ・栽培活動 ・公園散策 ・登山など

夏休み中の日課

9 : 00		12 : 00
月 曜 ～ 金 曜	《オアシスサマー 2 1》 個別活動（個人進度による） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語・社会・理科 ※夏休みの課題も可	

- ※ 夏休み中は、《オアシスサマー 2 1》として、学力補充を目的に、午前中を中心に 20 日間実施した。夏休みの課題等についても、取り組ませた。
- ※ 参加は個人の自由意思とした。
- ※ 流しそうめん等の行事も行った。
- ※ 夏季休業中にオアシスキャンプを実施した。その準備や買い出し等も行った。

カ 適応指導教室の活動内容

【通級・在籍の状況】

平成 30 年度のオアシス登録・通級者数は 30 名で、内訳は右表のようである。オアシスでの登録・通級人数は、平成 27 年 4 月から、1 日でも通級実績のある児童生徒（見学のみは含まれていない）をカウントしている。したがってこの人数の中には、数日オアシスに来て「学校に戻った子」、「オアシスにも来られなくなり家に引きこもってしまった子」も含まれている。今年度は、中学生の人数が多かった。特に、いつも通級している者は、中 3 男子と中 2 女子の割合が多かった。また、オアシスの噂を聞いて、親が子どもを無理矢理に見学に連れてくるというケースも多くあった。しかし、子ども自身がその気にならなければ、なかなか通級させるまでには至らなかった。

H 3 0 年度登録・通級人数

学 年	男	女	計
小 1			
小 2			
小 3			
小 4		2	2
小 5		2	2
小 6	1	1	2
中 1	1	4	5
中 2	4	6	10
中 3	6	3	9
合計	12	18	30

【入級の実態と入級指導】

平成30年度のオアシスへの見学者は38名（継続者4名＋前年度の事前見学者3名＋新規見学者31名）であった。残念ながら、今年度は見学のみで終わる子がたくさんいた。見学に来たときから、親に無理矢理連れて来られたという感じで、面接時の様子からこの子は通級できないだろうという子が多くいた。やはり、本人がこのままではいけないという感覚がなければ、オアシスへの通級もできなくなってしまう。本人が一步踏み出そうとしたときに、学校ではハードルが高すぎるのでここで十分エネルギーを溜めてから学校に戻るとというのが、一番いい方法ではないかと思う。親が焦る気持ちは分かるが、ここを勧めるタイミングが大事であるとおつくづく思った。子どもを連れてくる前に、親と一度面談して、オアシスのメリット・デメリットをしっかりと伝えておく必要があると感じた。また、小学生の低学年の場合、安易に入級を勧めても、ここでの活動内容が中学生向きなので、なかなかついていくのが難しいことも事前に知らせておく必要性を感じた。せつかくの施設なので、有効活用してもらい、一人でも多くの子を救うことができたらと思う。

H30 オアシス月別見学者数			
月	男	女	計
継続	2	2	4
前年度		3	3
4月	3	2	5
5月	1	1	2
6月	1	3	4
7月		2	2
8月			0
9月	2	1	3
10月		2	2
11月	1	5	6
12月	2	2	4
1月	2	1	3
2月			0
3月			0
合計	14	24	38

【適応指導の状況】

今年度は、年度当初から通級者が多かったので、1日に2・3人ということは、ほとんどなかった。オアシスに通級する子たちにとっては、人数があまりにも少ないと来づらいようだし、また反対に人数が多くなりすぎても来づらいようである。オアシスの教室規模から考えると、6人～10人ぐらいがいいかと感じる。指導員が、有効な個別指導できるのもそのあたりである。ただ、今年度は開始定刻の9:00に来られる子が少なかった。入級するときにハードルを低くするために、始めは何時から通級してもいいと言っているのですが、そのあと少しずつ定刻に来られるような指導が十分にできなかった。やはり、学校へ戻すとなると、定刻に毎日来られるようにするという事は、非常に大切な要素であると思う。中には、午後だけ参加するという子もおり、個々の対応なので仕方ないが、あの子がそうなら私もと怠学的傾向的になっていく子もいた気がする。周りが学校に戻るといふ雰囲気になると、つられてその気になる子もいるので、強制しないが、そういう雰囲気に持っていくことは大切だと感じた。また、昨年度も書いたが、午後の活動は体育館や畑など、外へ行く活動が多いので、送迎手段に悩まされるが多かった。

【適応指導教室の成果】

i) 児童生徒のつながり

今年度は、オアシスに来ている子たちの仲が実によかった。学年は様々だが、その中で男女の区別なく、実に楽しそうに生活していた。今年度から、午前中の個別学習の中に10分間の休憩時間を設けたところこれが思わぬ効果があり、この時間に少しずつ指導員や子どもたち同士が会話をするようになった。それが個々の壁を低くし、お昼の長い休憩時間は、カードゲームをみんなでやるようになっていき、次第に絆が深まっていったようである。今年集まったメンバーが、たまたま優しい子たちばかりだったこともあるが、子どもたちは自分の仲間ができたことに大きな喜びを感じたようである。これで自信をつけ、学校に戻る子どももいた。

ii) 子どもの居場所

前述の内容に関連するが、子どもには、居場所が必要だということをつくづく感じる。学校には居場所がなく、通えない子がここで居場所を見つけて、生き生きと活動し始める。ちょっとしたボタンの掛け違いで、行けなくなっている子が実に多いと感じる。品野・幡山など距離的なことで通えない児童生徒も多いので、市内にオアシスのような別の場所が増えるともっと多くの子を救えるのではないかと思う。

iii) 学校や関係機関との連携

今年度も、スクールソーシャルワーカー（SSWr）との情報交換を積極的に行った。SSWrの方々は、フットワークよく動いてみえるので、引きこもり状態にいる児童生徒にはよい働きかけができる。また、学校との情報交換も大切で、日頃不登校の子のことを気にかけている担任や学校の児童生徒は、動きがまったくないわけではなく、少しずつではあるが進展しているのを感じる。一方、担任や学校があまり対策を考えていない児童生徒は、引きこもり状態のままになっていることが多い。不登校は個人の資質や家庭に原因がある場合も多いが、やはり学校の真摯な対応が重要であるように感じる。

iv) 保護者との連携

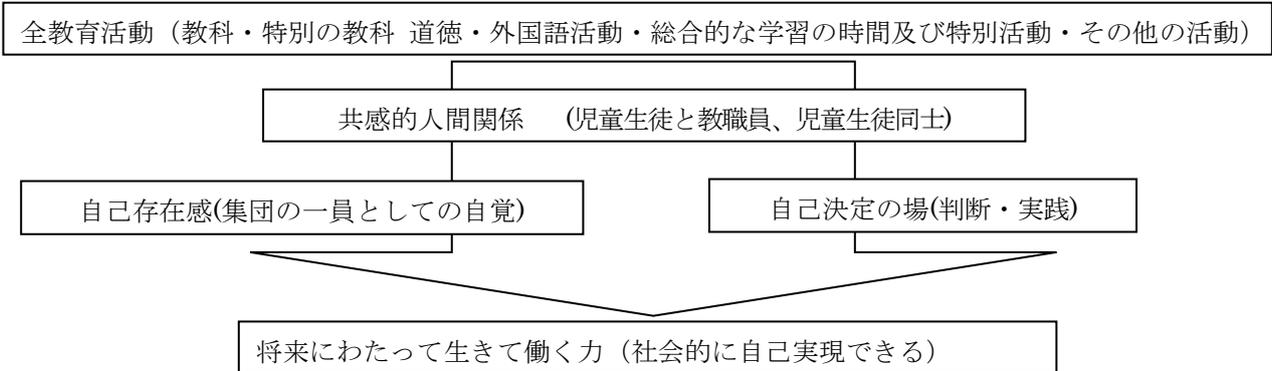
昨年に引き続き今年度も、保護者との個別懇談会を積極的に行った。それによって親の考え方と子どもの本音を勘案しながら、指導を進めることができた。また、例年やっている秋のBBQ懇談会や年度末のお別れ会は、親同士が語り合うことができる貴重な機会であり、これも大切な行事であると感じた。親同士は自分たちが話し合っている間に、自分の子が元気に活動している様子を垣間見られ、喜んでみえた保護者が多かった。12月～1月にかけて行った、指導員を含めた保護者懇談会も有効であった。

v) 農作業の運用

今年度も、瀬戸アクティブシニアせと農業部会の協力で、畑作業をすることができた。農業の大変さと作物を収穫できたときの喜びを体験できる貴重な活動である。ただ、協力頂いているシニアせとの方々が、NPO法人を3月いっぱい解散されるようで、来年度以降こ

のままの活動が続けられるかどうか不確定な状況になってしまった。別に借りられる畑を確保するなど、来年度は対策を考えていかなければならない。

(5) 生徒指導の推進



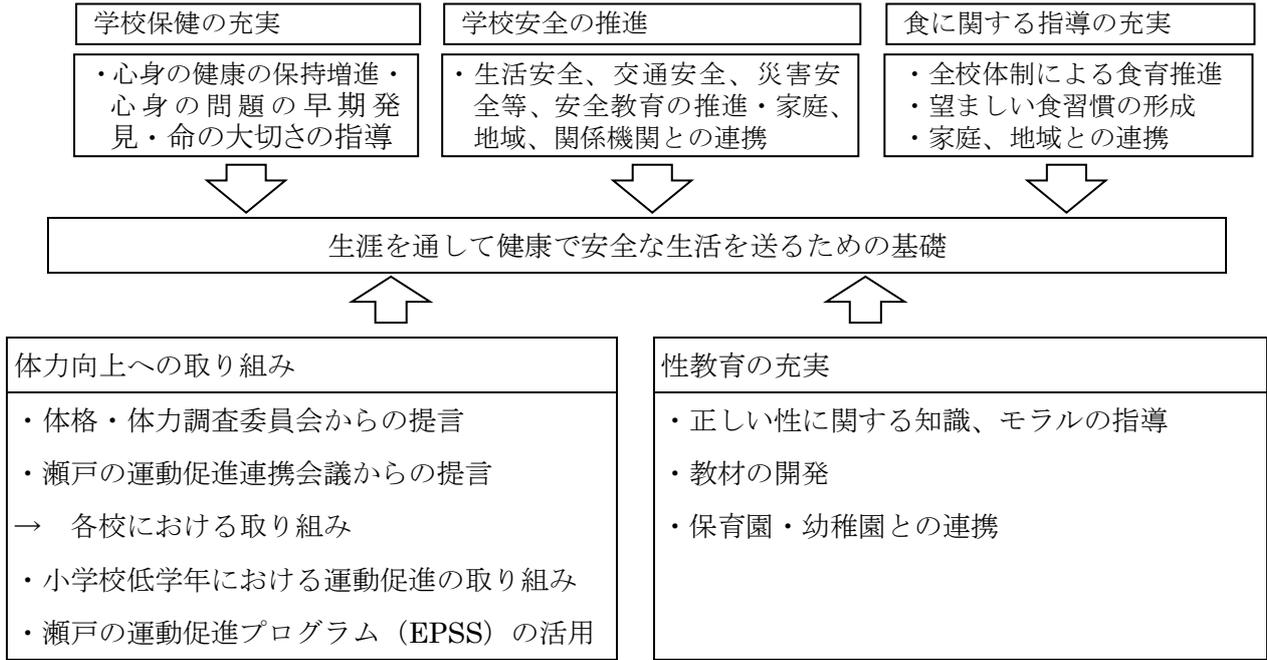
「まず一人を救う」(早期発見・早期対応)

- <見る> ・問題の初期段階に見られる変化を見逃さず迅速に対応する。
- <関わる> ・積極的な関わりを通して信頼関係を築くとともに、適切に対応する。
- <つなぐ> ・校内・関係機関との連携の充実を図り、より多くの力で対応する。

「新たな一人を出さない」(未然防止)

- <整える>
 - ・見通しをもって教育資源（ひと・もの・こと）を生かした条件整備をする。
 - ・個別支援と集団指導のバランスをとりながら、見守りと関わりを適切に行う。
 - ・チーム学校を意識し、問題が発生しにくい学校風土を構築する。

(6) 健やかな体の育成

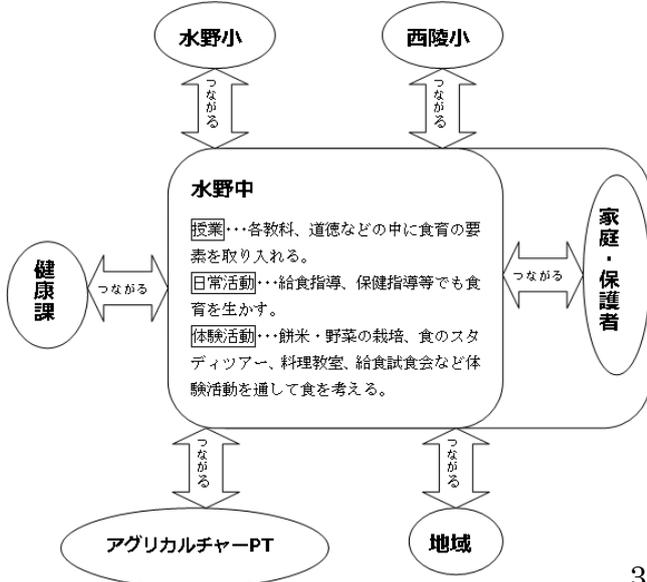


(7) 瀬戸の食育

子どもたちが、望ましい食生活を自ら工夫し、
豊かで健康な生活を築いていく基礎を培う

取り組みの重点

平成 29 年度文部科学省委託事業「つながる食育推進事業」を瀬戸市立水野中学校が受託した。栄養教諭が中心となり、学校が核としてアグリカルチャープロジェクトチームや健康課などの関係機関や地域の生産者の方々とも連携しながら、学校においてより実践的な食育を行うとともに、その活動に保護者も参画して、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを研究し、平成 30 年度も瀬戸市からの委嘱を受け、継続して研究に取り組んでいる。また、小中連携教育の一環として水野地区の小学校（水野小学校、西陵小学校）と 9 年間を見通した食育を推進するために協力して研究を行ったことを他地区にも広げるような取組を行っている。



小学校の栄養教諭が

中学校で食育の授業を行う様子



【瀬戸市小・中・特別支援学校全体として】

- 瀬戸市アレルギー対策委員会の設置各校において、正しい知識のもとで食物アレルギーに対応することができるように、瀬戸市でアレルギー対策委員会を設置し、マニュアルを作成する準備をしている。
- 中学校での食育指導案、指導資料の作成
小学校の食育への取り組みや指導案の活用状況を元に、中学校でも指導案や指導資料を作成し食育を切れ間無く継続させる。
- 中学校での栄養教諭・学校栄養職員との連携検討
小学校だけではなく、中学校でも栄養教諭・学校栄養職員とのさらなる連携をすすめるための方策を検討する。

(8) 瀬戸の運動促進

平成25・26年度に、市内5つの保育園で取り組んできた体力向上のための活動を、平成27年度からは、小学校低学年にも広げている。今年度も、瀬戸の運動促進プログラムを保育園・小学校全校に配布し、実施している。また、名古屋学院大学との協力校で実践研究を進めている。

これまでの取組を継続して行うことで、次のような効果が期待できると考える。

- ・運動好きな子、日常的に運動を行う子の増加
- ・二極化現象に歯止めをかけ、健康的な体づくりにおいて底上げを図ることができる
- ・自分に対して自信がもてるようになる子の増加、活動的、意欲的に生活する子の増加
- ・保護者、保育士、教員の運動に対する指導への意識および指導者の指導技能の向上

保育園と小学校が連携

共通のねらいや方向性

**保小連携の下、瀬戸市としての運動に対する考え方や
取り組み方について協議し、共通理解を図る**

これにより、「瀬戸の運動促進連携会議」を開催し、保育園と小学校で切れ目のない一貫した指導をすることができるよう、実態の把握や啓発活動に取り組んでいく。また、体力向上を図るといふ直接的なねらいのみならず、子どもたちの生活習慣を改善する、子どもたちの何事にも前向きに取り組もうとする姿勢や意欲、挑戦する心、自信を高める、そして仲間と協力する姿勢を育むことにも効果が期待できる。

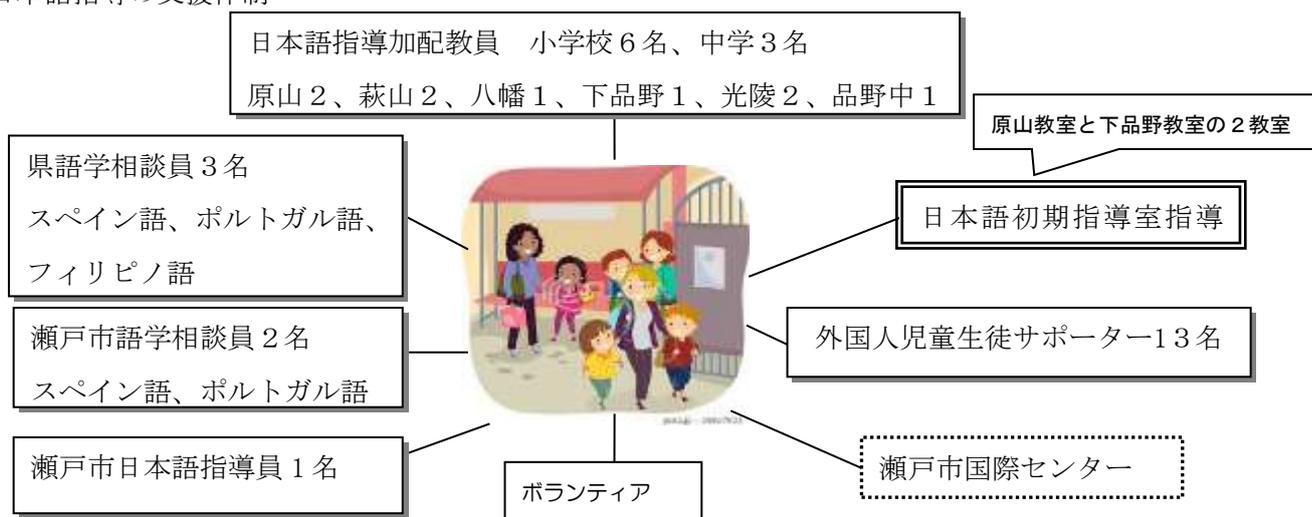
(9) 外国人児童生徒に対する日本語教育の充実

- 日本語初期指導教室における日本語指導・適応指導
- 外国人児童生徒サポーターによる学校生活の支援
- 悩みを抱える外国人児童生徒に対する心のケア
- 日本語教室がない学校への遠隔システムによる日本語教室の開催

日本語指導が必要な児童生徒数

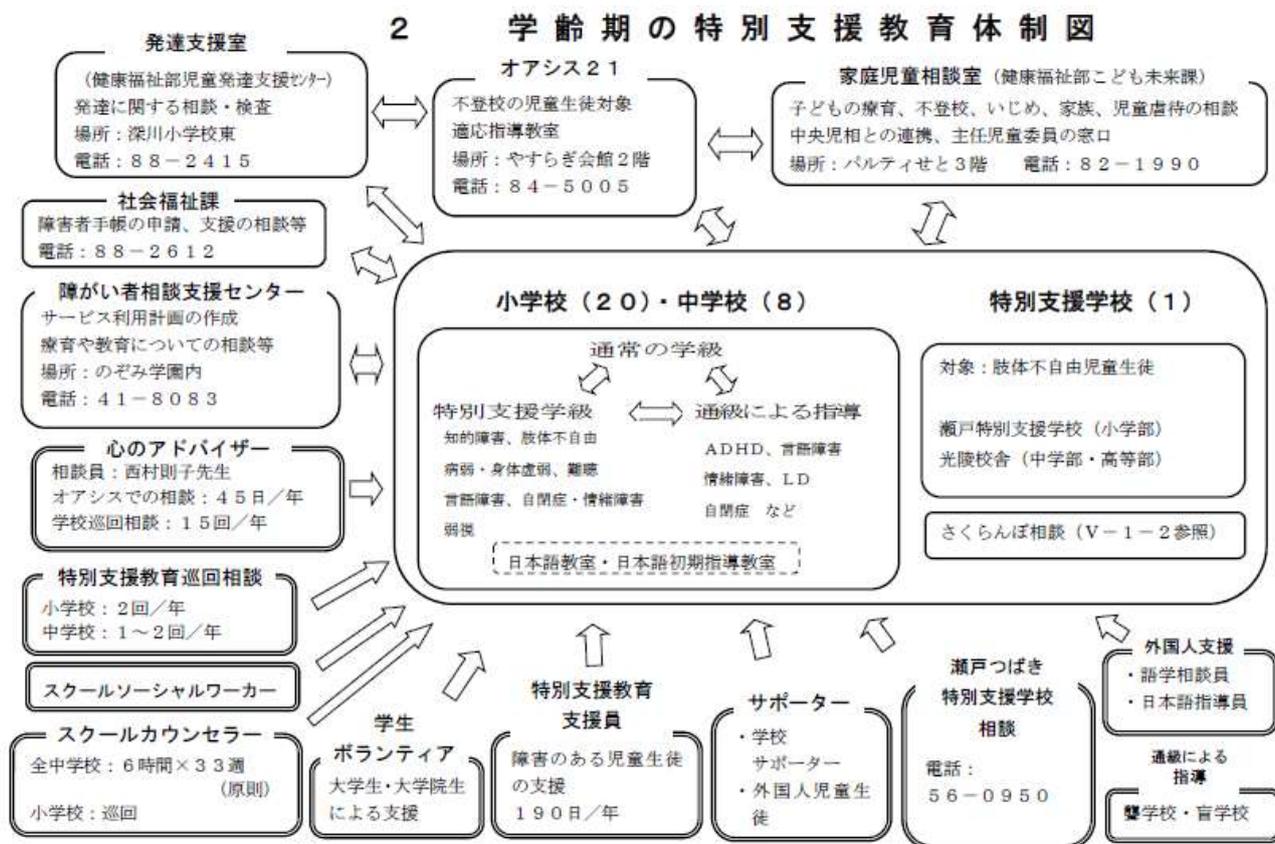
	小学校	中学校
外国籍の児童生徒数	130名(14校)	61名(4校)
日本国籍の児童生徒数	3名	0名
合計	133名	61名

日本語指導の支援体制



(10) 特別支援教育の充実

①瀬戸市の特別支援教育体制図（令和元年度）



②瀬戸特別支援学校（愛称：さくらんぼ学園）

平成22年4月1日	瀬戸市立瀬戸養護学校開校
平成26年4月1日	瀬戸市立瀬戸特別支援学校に名称変更 瀬戸市立瀬戸特別支援学校光陵校舎開校

開校以来、校訓の「支え合い、活動的に、今を生きる」のもと、保護者・地域・職員が一丸となって教育を進めている。萩山小学校との併設という利点を生かし、開校当初より萩山小学校との交流活動を盛んに行ってきた。各学年交流や児童会交流、学校行事としての「まるっとせとつ子フェスタせとつ子音楽会」における合同発表の他、休み時間の自然な交流など、ノーマライゼーションの理念の実現に向けた取り組みが行われている。瀬戸市以外にも、尾張旭市と長久手市から児童生徒を受け入れており、教育支援部が中心となってさくらんぼ相談（教育相談）による地域支援にも力を入れている。

③特別支援学級

令和元年度特別支援学級設置状況（令和元年5月1日現在）

障害種別	小学校		中学校	
	学級数	児童数（人）	学級数	生徒数（人）
知的障害学級	19	51	6	22
肢体不自由学級	5	6	0	0
病弱・身体虚弱学級	2	2	1	1
難聴学級（聴覚障害）	2	3	0	0
言語障害学級	0	0	1	1
自閉症・情緒障害学級	18	60	7	19

上記の他に、公立陶生病院内の院内学級は、病弱・身体虚弱学級として、対象児童が当該病院に入院した場合に効範小学校に設置される。市内全小中学校の特別支援学級が交流する「あすなろ交流会」は、10月11日（金）に瀬戸市体育館で行われた。この他にも、中学校区を中心として学校間で交流活動を行っており、様々な活動を通して自立に向けての支援を行っている。

④通級による指導

令和元年度通級指導教室設置状況（令和元年5月1日現在）

学校名	学級名	障害種別	
陶原小	通級指導教室	LD	設置校
東山小	通級指導教室／コスモス学級	LD	巡回校
西陵小	通級指導教室／コスモス学級	ADHD	設置校
幡山西小	通級指導教室／大空学級	ADHD	巡回校
水野小	通級指導教室	ADHD	巡回校
水南小	通級指導教室／	LD	設置校
長根小	通級指導教室／ひかり学級	LD	巡回校
水野中	通級指導教室	LD	巡回校
南山中	通級指導教室	LD	巡回校
効範小	通級指導教室	LD	設置校
幡山東小	通級指導教室	LD	巡回校
下品野小	通級指導教室	LD	巡回校
八幡小	通級指導教室／みつばち教室	LD	設置校
原山小	通級指導教室	LD	巡回校
古瀬戸小	通級指導教室	LD	巡回校
菽山小	通級指導教室	言語障害	設置校

光陵中	通級指導教室	情緒障害	設置校
幡山中	通級指導教室／グリーンルーム	ADHD	設置校
祖東中	通級指導教室	ADHD	巡回校

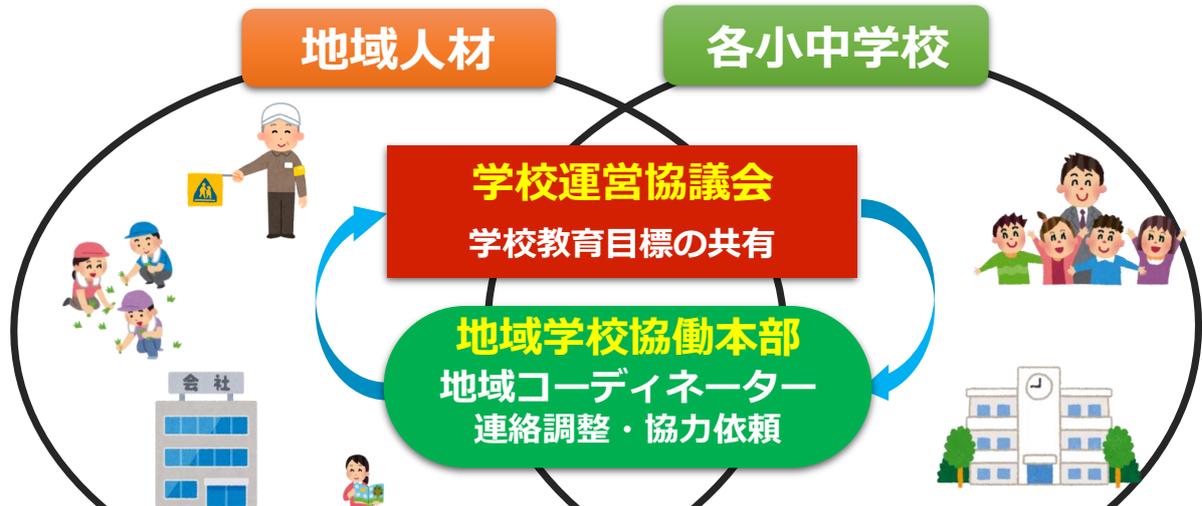
⑤特別支援教育支援員及び学校サポーター

通常の学級・特別支援学級に在籍する、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、市全体として特別支援教育支援員を16名、学校サポーターを約60名配置している。さらに一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えるため、特別支援教育支援員及び学校サポーターの充実を図る必要がある。

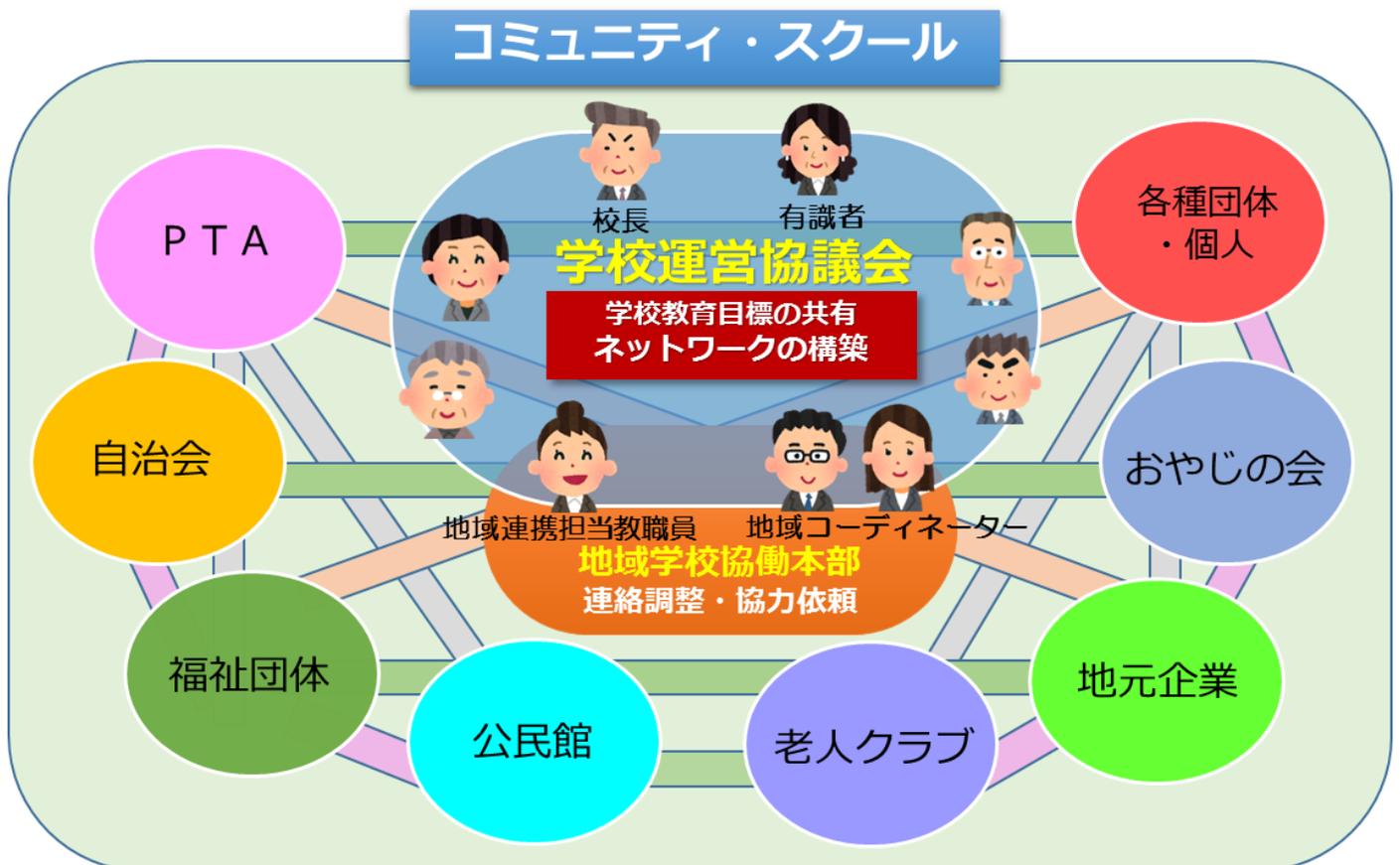
(11) 「地域とともにある学校」づくりの推進

- 全市的に進めている小中一貫教育に伴い、地域におけるゆるやかなネットワークを整え、学校として目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有し、その連携及び協働のもとに教育活動を充実させ、「社会に開かれた教育課程」を効果的に進める。
- 従来の一方向だった学校支援から「双方向の連携・協働」へと移行する新体制として「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し、地域総がかりで子どもたちを育てる教育環境づくりに取り組む。
- 学校運営協議会の導入とともに、地域コーディネーターを配置した「地域学校協働本部」の体制を整え、地域学校協働活動との一体的な推進を図る。

新しい教育環境づくりに取り組んでいます！ コミュニティ・スクール (学校運営協議会と地域学校協働本部)



地域総がかりで子どもたちを育てる瀬戸市



○ コミュニティ・スクール設置推進事業研究指定校の委嘱

・期間…令和元年5月1日～令和2年3月31日

・目的

瀬戸市教育アクションプランに基づき、地域とともにある学校づくりを推進するため、陶原小学校を令和元年度「コミュニティ・スクールで育む笑顔あふれるまちづくり推進事業研究指定校」とする。研究結果については、令和2年4月開校のにじの丘学園をはじめ、市内各校においてコミュニティ・スクールを設置する際の問題解決、啓発、促進の材料として提示し、瀬戸らしい教育の実現を目指すために活用していく。

・研究項目

①組織体の在り方（全体像と各組織体の役割）

②各組織体の体制の在り方

③教職員の役割と意識変化

⑤地域関係者の意識変化

○ 地域学校協働研修会の開催

①事務職員会全体研修会

対 象 事務職員

期 日 6月18日（火） 13：30～14：50

会 場 瀬戸市文化センター22会議室 30名程度

内 容 「瀬戸市が目指すCSへの理解と事務職員の役割」

主 催 瀬戸市教育委員会 連K-研究会グループ（長根小学校 松井）

担 当 教育政策課 統括コーディネーター 船坂礼子

②学校経営研修会

対 象 各校4役から2名と事務職員の希望者

期 日 7月26日（金） 9：30～12：00

会 場 瀬戸市文化センター31会議室 90名程度

内 容 「これからの未来を生きる子どもたちが育つ学校づくり」

主 催 瀬戸市教育委員会 沖本指導主事

講 師 愛知教育大学、金城学院大学非常勤講師 名古屋市八王子中学校元校長
上井 靖 氏

③地域学校協働研修会（ティーチャーズアカデミーの午後研修）

対 象 瀬戸市内教職員希望者
にじの丘学園、水無瀬中ブロックのCS設置関係者、地域住民

期 日 8月23日（金） 13：30～15：00

会 場 瀬戸市文化センター31会議室 100名程度

内 容 「地域における関係機関との連携・協働について」

主 催 教育政策課

講 師 全国社会教育委員連合副会長 馬場祐次朗 氏

④瀬戸市PTA連絡協議会班別研修会全体会

対 象 各校PTA役員他 にじの丘学園、水無瀬中ブロックのCS設置関係者

期 日 11月27日（水） 13：00～14：00（予定）

会 場 瀬戸市文化センター31会議室 90名程度

内 容 「瀬戸市が目指すCSへの理解とPTAの役割」
～長根小学校の事例紹介～

主 催 瀬戸市PTA連絡協議会 魚住先生、野田先生

担 当 教育政策課 統括コーディネーター 船坂礼子

⑤CS設置研究指定校陶原小学校教職員研修会

対 象 ・陶原小学校教職員

- ・CS設置研究指定長根小学校PTA、地域団体等関係者
- ・CS設置研究指定校陶原小学校PTA、地域団体等関係者
- ・水無瀬中学校PTA、地域団体等関係者

期 日 12月中旬（予定）

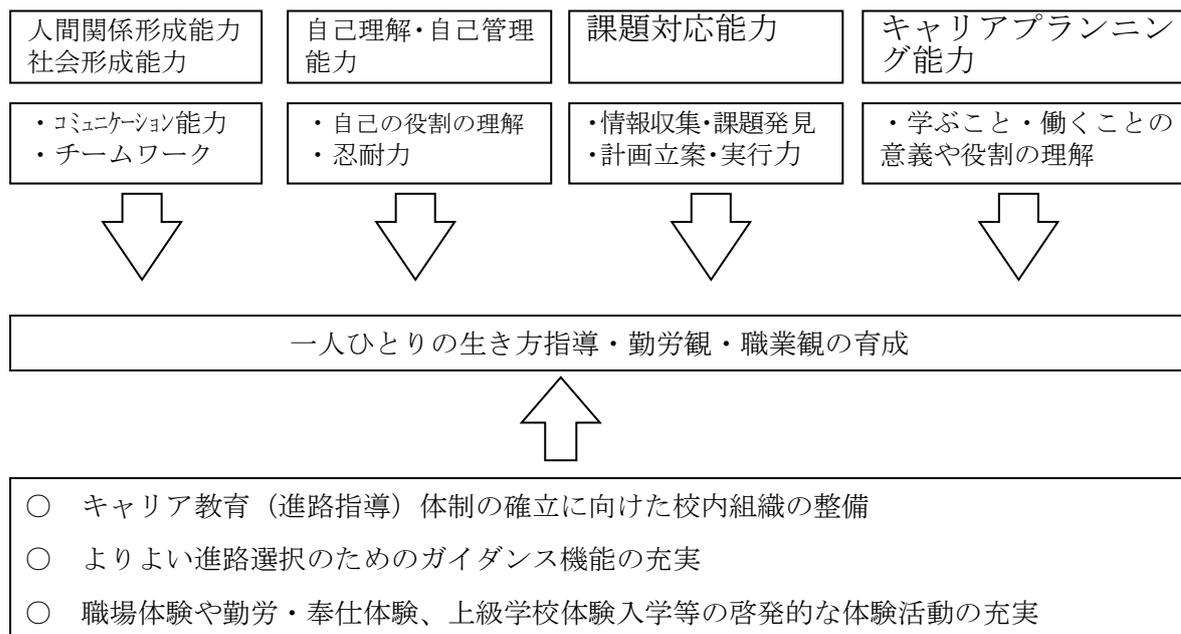
会 場 陶原小学校（70名程度見込み）

講 師 検討中

事例紹介 CS設置研究指定校長根小学校関係者



(12) キャリア教育（進路指導）の充実



(13) 保護者・地域への発信、市民・関係団体との連携（まるっとせとっ子フェスタ）

①ねらい

瀬戸市在住・在学の子どもたちが、日頃の学習の成果を発表する場として、毎年 11 月に「まるっとせとっ子フェスタ」を開催している。このフェスタは、子どもたち同士、また、子どもたちと市民の方が交流し、つながりと信頼を深める場でもある。子どもたちが元気いっぱい活動する様子を市民の皆様に見てもらい、瀬戸の学校、瀬戸の教育について、理解を深めてもらいたいとの思いで、企画・運営している。

②内容

ア セとっ子音楽会

瀬戸市内にある学校が、日頃練習してきた歌や合奏の成果を発表している。ほかの学校の児童生徒や保護者、地域の方々に楽しんでもらえるように毎年工夫を凝らしている。今年度から、小学校は 3 年に 2 回、中学校は隔年での出演となったが、元気いっぱいの小学生の歌声、レベルの高い中学生の合唱、気持ちをひとつにした部活動の演奏など、様々な子どもたちの様子を見ることができる。



イ 中学生 英語スピーチコンテスト

瀬戸市内の中学校の代表生徒が、英語スピーチに磨きをかけ、舞台発表を行う。瀬戸西高校による発表や A L T による異文化発表なども行っている。



ウ 小学生 英語スピーチ発表会

平成30年度から令和2年に外国語が教科化されるのを見据え、中学生だけでなく、小学生も英語スピーチを発表する機会を設けた。

エ 各種展示会

瀬戸市の子どもたちが、授業で制作した作品や、夏休みに挑戦した課題を展示する。(せとっ子書写展、瀬戸子ども図工・美術展、せとっ子科学展、特別支援教育展、技術・家庭科展、ポスター展) 子どもたちの豊かな発想力や、見事な作品は、多くの方々から賞賛の声があがっている。



(14) ライフステージに応じた切れ目のない教育の推進

- 関係機関の連携による教育の推進
 - ・ 保育園における保育、幼稚園教育および小学校教育を互いの職員が知る機会を創出する。
 - ・ 中学校ブロックごとの活動を増やす。
 - ・ 子ども同士が触れ合う機会、職員同士が学び合う機会を増やす。
 - ・ 幼保、小、中の情報交換・情報共有を積極的に進める。
 - ・ 特色ある学校づくりを推進する。(小中一貫校、小中一貫教育の推進)

(15) 適正で魅力ある教育環境の充実

- 魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の充実
 - ・ 児童生徒が適切な教育環境で学校生活を送ることができるよう、教職員が主体的に考え、学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、魅力ある学校づくりを推進する。
- 安心で安全な学校づくりの充実
 - ・ 児童生徒が自他のいのちを大切にし、自ら考えて行動することができるようにするための実践的な防災教育を実施する。
- 信頼される学校づくりの推進
 - ・ 学校公開日を設けたり、学校通信やホームページなどにより広く情報発信をしたりして、開かれた学校づくりを進める
 - ・ 家庭・地域・他機関と連携・協力し、「チーム学校」としての学校マネジメント力を高める。

3 教職員の研修

(1)方針

- 教育に携わる者として、自らの専門性確立のために、謙虚な態度でたゆまなく研修に努める。教職員も、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成する。
- 校内現職教育の充実に努め、学校教育目標の達成をめざして、研修等の活動を推進する。
- 文部科学省・愛知県教育委員会・愛日地方教育事務協議会・市教育委員会並びに各種教育研究団体の研修機会を活用する。

(2)教職経験に応じた研修等と「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成

経験	「教員として必要な資質能力」	年数	主な研修	「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成
1年	学級指導・生徒指導・学級経営 学校における職務遂行能力 の職務遂行能力	1年目	初任者研修 ○県・尾張・市の研修計画に基づいて実施する。	課題の発展 新たな課題設定 ↓ 目標・仮説・手だて等の設定 ↓ 実践 ↓ 検証 ↓ 分析 ↓ 研究のまとめ 論文執筆
		2年目	2年目研修 ○教育研究の進め方について研修 ○夏季研修（教育実践レポート中間報告） ○教育実践レポート提出（A4 4ページ）	
5年	学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に 関 し て の 力 量	3年目 4年目	少経験者研修（3・4年目研修） ○夏季研修 <生徒理解> ○教育論文執筆は任意とする。	実践 ↓ 検証 ↓ 分析 ↓ 研究のまとめ 論文執筆
		5年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
10年	学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に 関 し て の 力 量	6年目	5年経験者研修 ○5年研修における校内研修の充実に図る。 ○校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	課題の発展 新たな課題設定 ↓ 実践 検証 分析 ↓ 研究のまとめ 論文執筆
		7年目 8年目 9年目 10年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
20年	若手教員への指導助言 職務に関する専門的知識・技能 幅広い教養 調整力・運営力等	11年目	10年経験者研修 ○10年研修における校内研修の充実に図る。 ○校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	課題の発展 新たな課題設定 ↓ 実践 検証 分析 ↓ 研究のまとめ 論文執筆
		12年目以降	○教育論文執筆は任意とするが、常に自己の教育課題を有し、追求する ○各職務・担当に応じた研修 ○教員免許更新講習 ○校内研修・校内研究 ○その他の研修 ・自主研修、その他	
30年	若手教員への指導助言 職務に関する専門的知識・技能 幅広い教養 調整力・運営力等			課題の発展 新たな課題設定 ↓ 実践・検証 ↓ 分析・考察 ↓ 研究のまとめ

教員としての力量向上を図り、その専門性を確立していくためには、教職経験を重ねたり、様々な研修に参加したりする中で、その経験や職責、学校において担うべき役割に応じた資質能力を身につけていく必要がある。あわせて、自己の教育課題を見出すとともに、その解決に向けてたゆまなく研究・研修に努めていかねばならない。こうした過程は、教職員自らの「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成する取り組みである。児童生徒・保護者・地域から信頼される教員であるために、常に自己研鑽に努めていかねばならない。

① 初任者研修

新規採用教員に対して、教員としての自覚を高め、実践的な指導力を養うとともに、幅広い見識を会得させ、教員として必要な資質の向上と研修意欲の喚起を図る。指導教員を中心として学校全体であらゆる機会を通じて取り組み、研修の充実を図る。

② 2年目研修

採用2年目の教員に対して、初任者研修等を通して身につけた教員としての資質・実践的指導力の更なる向上を図る。また、教育課題の見出し方・教育研究の進め方について研修し、自らの教育課題に基づいた実践を課題レポートにまとめ、提出する。

③ 少経験者研修（3・4年目研修）

3・4年目の教職経験者を対象に、「生徒理解」に関する研修を実施する。

④ 教職経験者研修

ア 5年経験者研修

- ・校内研修の充実を図る。
- ・総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修課題を教育論文にまとめ提出する。

イ 10年経験者研修

- ・総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・社会体験研修と異校種体験研修については、併せて3日間の研修を選択し受講する。
- ・校内研修・特定課題研究等、校内研修計画の充実を図る。
- ・平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修や課題を教育論文にまとめ提出する。

⑤ 教育研究論文

全教職員を対象に、個人及び共同での教育実践を踏まえた教育研究論文を募集する。

⑥ 指定研修員

研究心旺盛かつ指導力に優れた者で、今日的教育課題を研究課題としている教員を対象として募集する。候補者の推薦は、本人の願書に校長推薦書を添えて、市教委へ提出する。願書等は規定の用紙を学校へ年度当初までに送付する。市教委は、応募者の中から過去の研究実績・研究課題・研究状況等を考慮し、10名程度決定する。

⑦ スクールセミナー

学校の教育活動の充実のために、教員の授業力・指導力向上に向けて、指導主事、教科指導員を派遣する。

⑧ 精神衛生推進事業

各学校に在籍するいじめ・不登校など様々な問題を抱える児童生徒や発達障害のある児童生徒の理解や指導方法、エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどの技法等について研修するために、豊かな見識と経験をもつ講師を各学校の要請に従って派遣する。

⑨ セト・ティーチャーズ・アカデミー

第2次瀬戸市教育アクションプランの具現化にむけて、教職員の資質の向上を図るとともに、瀬戸の教育を創造していく機会とする。子どもたち一人ひとりの学びや成長を、確かに支えていく教育活動を推進していくための研修を深める。全教職員を対象とし、文化ホール改修の関係で今年度は、1学期に全体会、夏季休業中に分科会を開催する。

<全体会の様子>



全体会 鈴木 健二 氏の講演

平成 31 年度は、授業づくりの原点を見直そうと愛知教育大学教授の鈴木健二氏を講師として迎えた。「教科書を活用した授業づくり」というテーマで、教科書（素材）にどのような視点で捉え、教材化していくのかを論理的に学ぶことができた。

分科会は、瀬戸市の各研究会による自主的・創造的な講座や外部講師の協力を得て、12 講座を開設した。その講座に対して個々の先生が興味や課題に応じて講座を選択し、意識の高揚や力量向上を図る機会となった。

<分科会の様子>



「子どもの権利と虐待対応」

～子どもたちが安全に過ごせるために
できることを～



「授業は一日にして成らず」

～目には見えない授業の「本当」を求めて～



「パラリンピック種目『ボッチャ』を体験しよう」
～2020 東京パラリンピックを盛り上げよう～



「明日からできる音楽の授業」
～みんなで楽しめる曲紹介～



「手本を書かれた先生直伝！」
書写指導のポイント」
～2学期の尾書研コンクール指導に生かす～



「究極の MY 茶碗を作る」
～あなたの知らない茶碗の世界～

⑩ 各種研修会

教職員の力量向上のため、各種研修会を実施する。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="radio"/> 学校経営研修会 | <input type="radio"/> 指導力向上研修会 |
| <input type="radio"/> 発達支援研修会 | <input type="radio"/> いじめ対策研修会 |
| <input type="radio"/> カウンセリング研修会 等 | |

(3) 各組織による研究推進・研修会開催

① 研究推進校の委嘱

	事業名	委嘱先	年度
県	キャリアスクールプロジェクト	8中学校	31
県	キャリアスクールプロジェクト	幡山西小学校	31
国・県	学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究	品野中ブロック	30～31
市	コミュニティースクールで育む笑顔あふれるまちづくり推進事業	陶原小学校	31

② 研究の委託

- 社会科副読本「せと」・「瀬戸」編集委員会
社会科副読本「せと」・「瀬戸」の改訂に向け、資料の収集と編纂等を行う。
- 教育情報化推進委員会
学校教育の情報化推進に向け、ICTを活用した授業および校務用コンピュータの活用についての研究を進める。
- 性教育推進委員会
性教育の推進を図る。指導用資料「明日へのあゆみ」の改訂を行う。
- 特別支援教育推進委員会
特別な支援を必要とする児童生徒の実態把握・支援のあり方、効果的な校内支援体制作りについての研究を進める。
- 食育推進委員会
食育を推進していくためのカリキュラムづくりや指導方法などの研究を進める。

③ 各職務・担当者等研修会

○ 校長研修会	○ 教頭研修会	○ 教務主任研修会
○ 校務主任研修会	○ 保健主事研修会	○ 養護教諭研修会
○ 学校事務職員研修会	○ 学校経営研修会	○ 特別支援教育担当者研修会
○ 特別支援教育コーディネーター研修会	○ 栄養教諭・学校栄養職員研修会	
○ 学校用務員夏季共同作業研修	○ 学校用務員緑化研修（不定期開催）	

④ 各種委員会・連絡協議会

- 現職教育委員会
現職教育全般に関する企画・運営
- 学校教育組織検討委員会
瀬戸市全体の学校教育の組織体制・運営方法の見直し
- 教育支援委員会
適正就学に向けての検討や教育相談の実施
- 瀬戸の学び創造委員会
「確かな学力」の向上に向けての検討・提言
- 瀬戸地区生徒指導連絡協議会
小中高校の生徒指導担当者による各校等の情報交換及び協議
- 瀬戸市交通安全指導連絡協議会
小中高校の交通安全担当者による各校等の情報交換及び協議
- いじめ・不登校対策推進協議会
いじめ・不登校問題の実態把握、予防・改善策について協議、いじめ・不登校対策研修会の実施
- 瀬戸市特別支援教育地域連携会議
特別支援教育に関わる関係諸機関の代表者による情報交換及び、協議、ケース会議の開催

4 学校の状況

(1) 学年別児童生徒数

(令和元年5月1日現在)

No.	学校名	児童・生徒数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女	計	学級数	
小 学 校	1	陶原	92	90	111	111	105	112	320	301	621 (10)	22 (4)
	2	深川	9	7	6	5	11	6	24	20	44 (1)	7 (1)
	3	祖母懐	31	24	13	24	25	18	71	64	135 (5)	9 (3)
	4	道泉	39	25	38	42	30	35	110	99	209 (3)	10 (2)
	5	效範	114	107	100	78	96	93	307	281	588 (15)	23 (5)
	6	東明	22	32	17	23	25	19	75	63	138 (4)	8 (2)
	7	古瀬戸	11	20	18	16	19	7	42	49	91 (2)	8 (2)
	8	水野	77	85	91	70	68	84	239	236	475 (8)	18 (3)
	9	水南	81	73	80	92	93	100	259	260	519 (8)	20 (2)
	10	幡山東	95	94	74	89	79	75	261	245	506 (6)	17 (4)
	11	幡山西	90	104	78	75	94	108	270	279	549 (15)	20 (3)
	12	下品野	68	77	69	76	60	91	239	202	441 (5)	16 (2)
	13	品野台	20	13	19	11	13	13	36	53	89 0	7 0
	14	掛川	0	3	8	4	5	6	10	16	26 (1)	5 (1)
	15	長根	92	88	98	86	77	97	256	282	538 (6)	18 (3)
	16	原山	28	28	33	36	40	41	113	93	206 (6)	8 (2)
	17	東山	63	103	101	98	128	147	321	319	640 (10)	23 (2)
	18	萩山	18	10	11	14	21	21	48	47	95 (2)	7 (1)
	19	八幡	35	22	42	34	33	45	104	107	211 (5)	11 (2)
	20	西陵	126	148	124	126	140	125	417	372	789 (10)	26 (2)
計		1,111	1,153	1,131	1,110	1,162	1,243	3,522	3,388	6,910 (122)	283 (46)	
中 学 校	1	水無瀬	192	226	214				315	317	632 (9)	20 (2)
	2	祖東	46	67	57				93	77	170 (2)	7 (1)
	3	南山	330	293	351				496	474	970 (9)	30 (3)
	4	本山	3	0	15				10	8	18 (0)	2 (0)
	5	幡山	183	184	183				282	268	550 (8)	18 (2)
	6	品野	82	91	86				139	120	259 (2)	11 (2)
	7	光陵	73	81	85				121	118	239 (7)	10 (2)
	8	水野	166	170	147				253	230	483 (6)	17 (3)
	計		1,075	1,112	1,138				1,709	1,612	3,321 (43)	115 (15)
支瀬 援戸 学特 校別	小学部	3	1	4	5	6	4	11	12	23	9	
	中学部	7	10	9				15	11	26	9	
	高等部	5	3	3				5	6	11	5	
	計								31	29	60	23

() 特別支援学級分再掲

資料：学校基本調査

(2) 児童生徒数等の推移

① 小学校

(各年5月1日現在)

年 度		2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	1
学校数		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
学級数		275 (28)	279 (30)	28 (32)	276 (31)	278 (30)	277 (32)	278 (38)	286 (43)	282 (43)	282 (46)
教員数	男	176	182	189	183	179	184	177	184	186	186
	女	266	270	281	282	300	309	306	310	311	305
	計	442	452	470	465	479	493	483	494	497	491
児童数	男	3,846	3,736	3,689	3,633	3,615	3,590	3,581	3,569	3,510	3,522
	女	3,606	3,632	3,548	3,527	3,542	3,498	3,421	3,375	3,404	3,388
	計	7,452 (68)	7,368 (80)	7,237 (86)	7,160 (80)	7,157 (83)	7,088 (86)	7,002 (83)	6,944 (103)	6,914 (113)	6,910 (122)

② 中学校

年 度		2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	1
学校数		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
学級数		113 (10)	117 (10)	114 (8)	113 (10)	114 (11)	113 (12)	119 (18)	120 (17)	118 (17)	115 (15)
教員数	男	147	148	143	152	156	152	155	157	150	146
	女	105	102	103	100	102	104	103	115	117	120
	計	252	250	246	252	258	256	258	272	267	269
生徒数	男	1,914	1,961	1,918	1,903	1,884	1,815	1,789	1,719	1,724	1,710
	女	1,652	1,636	1,677	1,652	1,686	1,652	1,703	1,700	1,674	1,615
	計	3,566 (46)	3,597 (42)	3,595 (32)	3,555 (41)	3,570 (50)	3,467 (55)	3,492 (62)	3,419 (54)	3,398 (53)	3,325 (43)

③ 特別支援学校

年 度		2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	1
学級数		12	15	17	21	13	24	24	23	24	23
教員数	男	17	17	18	17	19	24	19	22	27	29
	女	17	17	23	35	38	36	42	38	45	41
	計	34	34	41	52	57	60	61	60	72	70
生徒数	男	17	22	30	35	37	38	34	35	35	31
	女	10	14	16	19	21	25	27	28	28	29
	計	27	36	46	54	58	63	61	63	63	60

※ () 特別支援学級分再掲、教員は兼務者を含む

資料：学校基本調査

(3) 教育事務委託児童生徒数

(平成30年度実績)

	春日井市	多治見市	合計
小学校	1	0	1
中学校	11	0	11

(4) 学校別教職員数

(令和元年5月1日現在)

No.	学校名	県費負担職員					市費負担職員				校長名
		教員数			事務	栄養職員	栄養職員	調理員	用務員		
		男	女	計							
小 学 校	1 陶原	17	23	40	1				2	野田 敬資	
	2 深川	4	9	13	1		1		1	藤戸 環	
	3 祖母懐	8	8	16	1			2	1	片田 晃司	
	4 道泉	7	13	20	1		1			臼井 一夫	
	5 效範	15	27	42	1				1	丹羽 光成	
	6 東明	4	9	13	1			2	1	大高 和人	
	7 古瀬戸	6	7	13	1				1	魚住 英史	
	8 水野	11	19	30	1			5		石田 正人	
	9 水南	12	19	31	1					高木 雅浩	
	10 幡山東	8	22	30	2					加藤 中哉	
	11 幡山西	12	19	31	1				2	早川 元彦	
	12 下品野	13	16	29	1				1	浅井 大司	
	13 品野台	4	6	10	2		1		1	石河 光章	
	14 掛川	5	4	9	2				1	堀田 仁	
	15 長根	13	23	36	1		1		1	弓削 善靖	
	16 原山	10	6	16	1		1		1	長江 章彦	
	17 東山	11	25	36	1				2	小川 剛	
	18 萩山	6	11	17	1			2	1	山田 克己	
	19 八幡	3	16	19	2		1		1	加藤 寛司	
	20 西陵	17	23	40	1				2	山田 滋生	
	計	186	305	491	24		6	11	20		
中 学 校	1 水無瀬	22	19	41	1				1	塚本 友人	
	2 祖東	12	12	24	1				1	早川 寿	
	3 南山	34	27	61	2				2	加藤 正彦	
	4 本山	7	6	13	1				1	勝田 拓真	
	5 幡山	21	16	37	1				2	加藤 篤	
	6 品野	15	13	29	1				1	杉浦 哲男	
	7 光陵	14	14	30	1				1	臼井 和人	
	8 水野	21	13	34	1				1	中崎 毅	
		計	146	120	269	9	0	0	0	10	
	特別支援	29	41	70	3	0	0	4	1	落合 智子	

※教員数は兼務者を含む ※用務員・調理員は臨時職員を含む

資料：学校基本調査

(5) 中学校卒業者の卒業後の状況

		28		29		30	
			割合(%)		割合(%)		割合(%)
卒業生総数		1,221	—	1,142	—	1,152	—
全 日 制	国 立	3	0.2	5	0.4	6	0.5
	公 立	815	66.7	765	67.0	779	67.6
	私 立	284	23.3	254	22.2	246	21.4
高等専門学校		7	0.6	3	0.3	5	0.4
定時制		23	1.9	14	1.2	8	0.7
通信制		53	4.3	54	4.7	38	3.3
各種 専修 学校	高等専修	1	0.1	0	0	8	0.7
	各種	0	0	0	0	0	0
	職業訓練校	0	0	0	0	0	0
特別支援学校高等部		19	1.6	20	1.8	28	2.4
就職(除・定時制)		4	0.3	6	0.5	8	0.7
その他		12	1.0	21	1.8	26	2.3

※特別支援学級卒業者を含む公立中学および特別支援学校のみ

資料：学校基本調査他

○ 高等学校進学率

卒業年度	26	27	28	29	30
卒業生総数	1,249	1,125	1,221	1,142	1,152
進学者	1,224	1,105	1,205	1,115	1,118
進学率(%)	98.0	98.2	98.6	97.6	97.0

※進学者数には、高等学校卒業資格の取得ができる各種専修学校への進学者数も含む

○ 全日制課程高等学校地区別進学状況

公私立別	公立高校				私立高校			
	29		30		29		30	
地区別	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区
進学者	376	389	384	395	40	214	30	216
進学率(%)	33.7	34.8	33.3	34.3	3.5	19.1	2.6	18.8

※瀬戸市内中学校卒業生(公立中学校のみ)の地区別進学状況を示したもの

5 学校施設一覽

令和元年5月1日現在

学 校 名		学 級 数	保 有 教 室 数												
			普 通	理 科	音 楽	図 工 ／ 美 術	コ ン ピ ユ ー タ	生 活 ／ 技 術	家 庭	視 聴 覚	図 書	特 別 活 動	教 育 相 談	進 路 資 料 指 導	
小 学 校	1	陶 原	22	22	1	1	1	1		1		2	4	1	
	2	深 川	7	7	1	1	1	1	1	2		1	1	1	
	3	祖母懐	9	9	1	1	1	1		2		1	6		
	4	道 泉	10	10	1	1	1	1	1	1		2	3	1	
	5	效 範	23	23	1	2	1	1		1		1	3	1	
	6	東 明	8	8	1	1	1	1		1		1	2	1	
	7	古瀬戸	8	8	1	1	1	1		1		1	5	1	
	8	水 野	21	21	1	1	1	1		1		1	3		
	9	水 南	20	20	1	1	1	1	1	1		1	6		
	10	幡山東	21	21	1	1	1	1		1		1	2	1	
	11	幡山西	22	22	1	1	1	1		1		1	7		
	12	下品野	16	16	1	1	1	1		1		1	10	1	
	13	品野台	7	7	1	1	1	兼 1	1	1		1	1		
	14	掛 川	4	4	1	1	1	兼 1		1		1	5		
	15	長 根	22	22	1	1	1	1		1		1	1	1	
	16	原 山	9	9	1	2	1	1	2	1		1	14	1	
	17	東 山	21	21	1	1	1	1		1		1	5		
	18	菽 山	8	8	1	1	1	1		1		1	6		
	19	八 幡	11	11	1	1	1	1		1		2	12	1	
	20	西 陵	27	27	1	1	1	兼 1		1		1	1	1	
	計		296	296	20	22	20	17	6	22		23	97	12	
中 学 校	1	水無瀬	22	22	2	2	2	1	2	2		1	3	1	2
	2	祖 東	7	7	1	1	1	2	2	2		1	3	1	1
	3	南 山	31	31	3	2	2	1	2	2		1	3	1	
	4	本 山	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	8	2	1
	5	幡 山	18	18	2	2	2	1	2	2	1	1	6	4	
	6	品 野	12	12	1	1	1	1	2	2	1	1	3	4	
	7	光 陵	11	11	2	2	1	1	2	2		1	14		
	8	水 野	20	20	2	1	1	1	2	2		2	4	1	
		計		123	123	14	12	11	9	16	16	3	9	44	14
瀬戸特別支援学校			23	23											

(単位：m²)

プール面積	柔剣道場面積	校舎保有面積	体育館保有面積	校 地 面 積				
				建物敷地	運動場	その他	借用	計
425		4,848	1,097	11,970	24,949	21,571		58,490
297		3,185	733	4,520	7,700	1,982		14,202
310		3,298	581	7,000	12,000	9,156		28,156
435		3,838	684	4,250	13,499	2,638		20,387
310		4,989	674	6,292	7,895	1,685		15,872
335		2,785	666	5,400	8,400	9,234		23,034
310		2,985	671	6,326	9,728	10,726		26,780
310		4,092	681	3,480	837	1,200	16,289	21,806
340		4,499	673	13,116	5,040	7,000		25,156
375		3,575	656	4,540	11,300	5,960		21,800
365		4,666	656	6,956	9,756	1,677		18,389
335		4,137	669	3,500	11,816	1,922		17,238
313		4,673	702	14,512	6,767	6,806		28,085
214		1,693	594	3,277	5,709	16,745		25,731
310		4,105	841	7,353	8,895	3,577		19,825
310		5,503	656	9,500	12,000	2,017		23,517
310		5,240	656	11,000	9,500	2,200		22,700
310		3,050	656	6,553	6,507	4,951		18,011
310		5,062	661	7,250	12,320	5,110		24,680
310		4,810	656	9,907	15,550	3,076		28,533
6,534		81,033	13,863	146,702	200,168	119,233	16,289	482,392
275	391	6,385	1,200	14,731	12,594	22,899		50,224
275	376	4,497	1,267	7,350	13,900	15,206		36,456
275	377	7,165	1,333	17,125	17,065	2,210		36,400
	397	4,111	1,211				39,599	39,599
425	358	6,396	1,208	10,142	11,154	3,931	2,400	27,627
275	421	5,120	1,333	10,937	10,663	37,857		59,457
275	644	6,027	1,310	17,226	7,532	8,939		33,697
275	373	5,063	1,217	11,470	18,239	8,560		38,269
2,075	3,337	44,764	10,079	88,981	91,147	99,602	41,999	321,729
		3,442		5,548	3,497	3,458		12,503

資料：公立学校施設実態調査

6 小中学校の適正規模・適正配置

(1) 計画の背景について

瀬戸市立の小中学校における児童生徒数は、昭和50年代後半にピークを迎え、その後は減少傾向が続いており、そのため、1学年1学級の単学級校の出現や、各学校間に生じたアンバランスなど、学校運営上の諸問題が発生し、児童生徒の教育環境に影響を及ぼしています。

このような状況の中で、平成11年2月庁内に「瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会」を設置して検討を始めたが、各界の方々の幅広い意見を伺い、一層論議を深めるべきであるとの考えから、平成13年1月に教育委員会の諮問機関として「瀬戸市立小学校適正配置等協議会」を設置しました。

同協議会では、現行の学校教育に係る諸制度を前提に、将来展望も配慮しながら、子どもたちにとって望ましい学校像を求めて、約1年半12回にわたる審議の結果、小学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方や具体的な方策、実施に際しての配慮事項等について取りまとめを行いました。

その後、平成15年3月に「瀬戸市小学校適正配置計画」を策定するとともに、規模の格差是正を主な目的として、教育理念や小学校の統合による学習環境のあるべき姿について、地元説明会などを開催したものの、地域コミュニティへの配慮が充分でなかったことなどから、地元合意が得られず、具体的な進展をみないまま10年以上が経過しました。

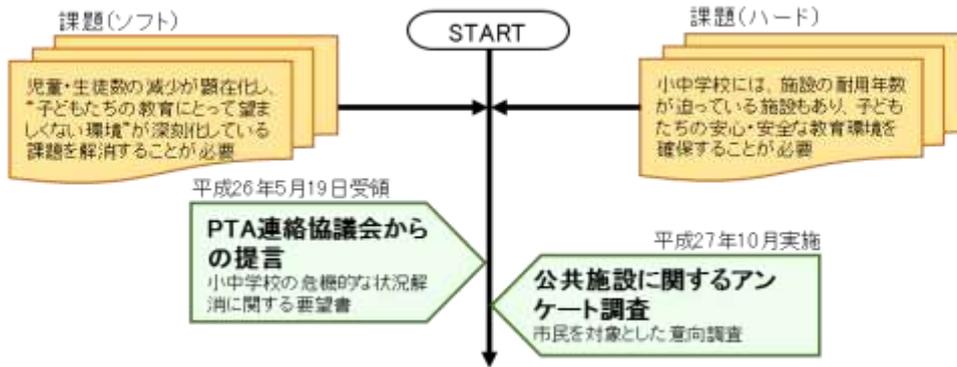
この間、「瀬戸市小学校適正配置計画」で統合を目標に掲げた、祖東中学校区の祖東中学校、祖母懐小学校、東明小学校、古瀬戸小学校と、本山中学校区の本山中学校、深川小学校、道泉小学校では、計画策定時よりもさらに児童生徒数の減少が進み、小学校で6年間一度もクラス替えが出来ない状況や、中学校で部活動が成立しないといった、“子どもたちの教育にとって望ましくない環境”が深刻化していることへの対策は、本市において喫緊の課題となっています。

そこで、平成28年度から実施している第2次瀬戸市教育アクションプランにおいて、子どもたちが「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するため、多様な考え方に触れ、一定の集団の中で切磋琢磨することなどを目的とし、「魅力ある学校づくりと適正規模・適正配置の推進」とともに、9年間一貫した系統的な教育課程を編成・実施することによる「小中一貫教育の推進や小中一貫校の導入」を主な事業の一つとして取り組んでいくことになりました。

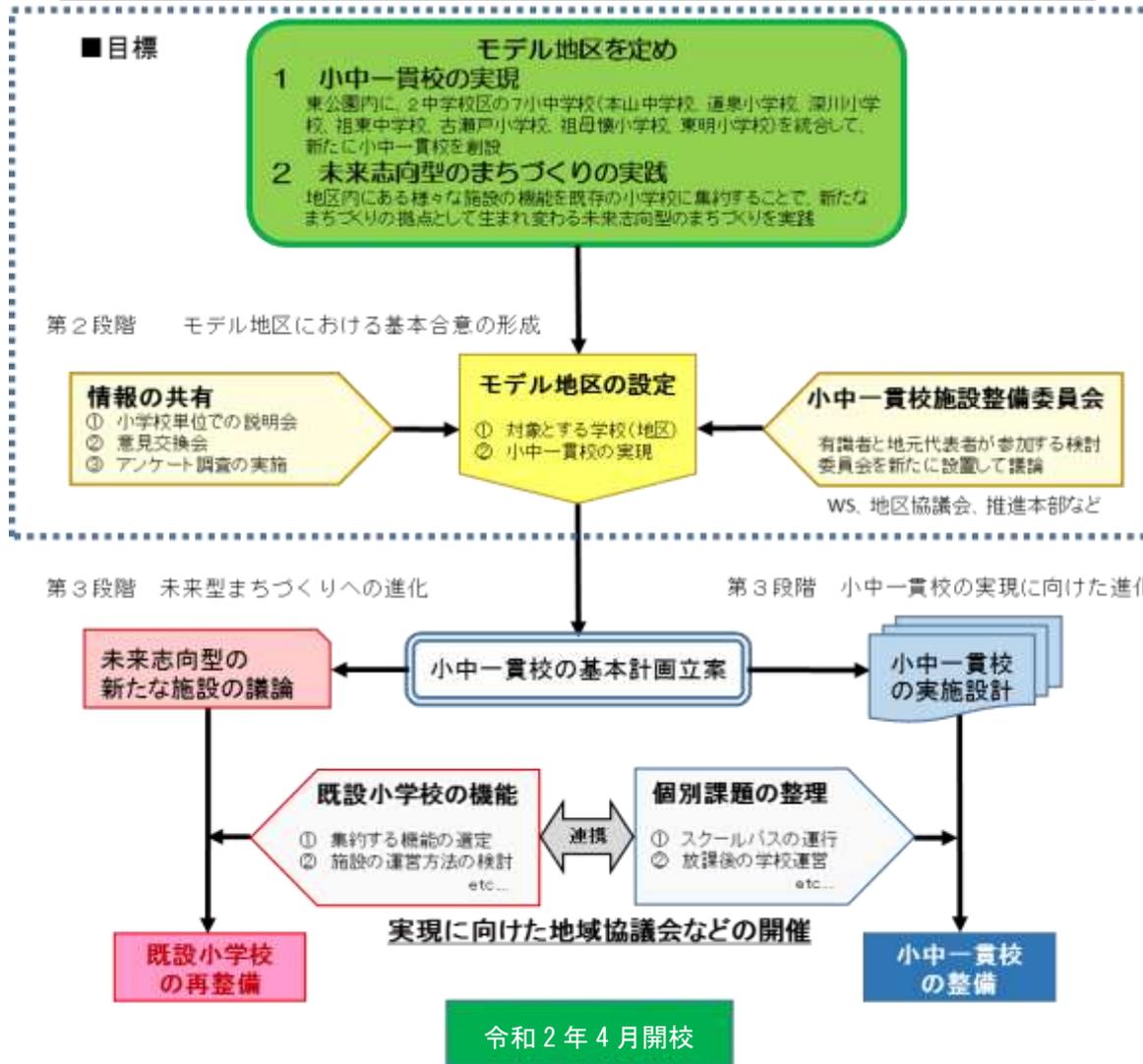
■令和元年5月1日時点 各中学校ブロックの児童生徒数の比較

中学校名称	生徒数(人)	小学校名称	児童数(人)	小学校名称	児童数(人)	小学校名称	児童数(人)	小中合計(人)	1,000人未満
水無瀬中学校	632	陶原小学校	621	長根小学校	538			1,791	
祖東中学校	170	古瀬戸小学校	91	祖母懐小学校	135	東明小学校	138	534	○
南山中学校	974	效範小学校	588	東山小学校	640	水南小学校	519	2,721	
本山中学校	18	道泉小学校	209	深川小学校	44			271	○
幡山中学校	550	幡山東小学校	506	幡山西小学校	549			1,605	
品野中学校	259	下品野小学校	441	品野台小学校	89	掛川小学校	26	815	○
光陵中学校	239	原山小学校	206	萩山小学校	95	八幡小学校	211	751	○
水野中学校	483	水野小学校	475	西陵小学校	789			1,747	

第1段階 モデル地区設定の与件となる事項の整理



「小中一貫教育・学校施設の複合化に関する施設計画・設計プロセス構築支援事業」の範囲



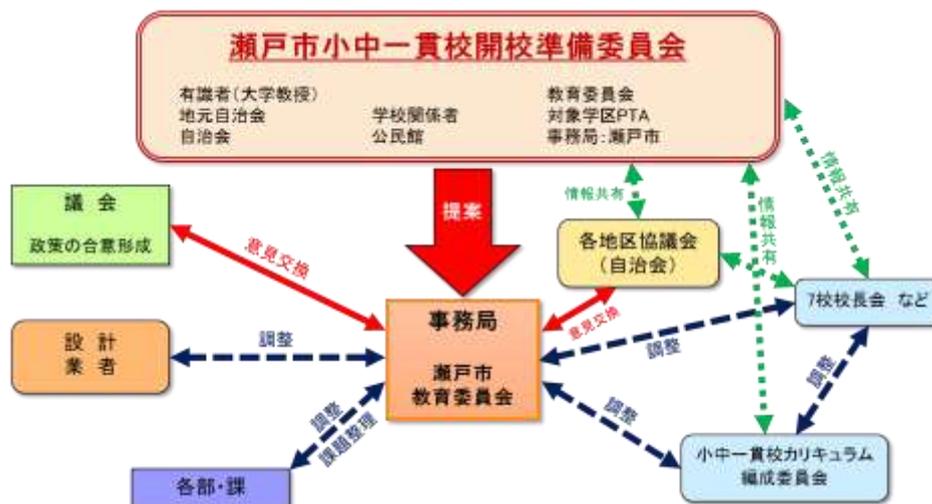
(2)にじの丘学園について

小中一貫校の実現に向けた検討体制としては、瀬戸市小中一貫校開校準備委員会をはじめ、PTA、地区などの代表によるワークショップなどを開催し、小中一貫校におけるカリキュラムや新しい学校の施設整備について協議を重ねてきました。また、学校と地域との関わり方や、通学路・スクールバスなどについても協議や検討を重ねるとともに、様々な情報共有に努めています。

① 検討体制

ア 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会

モデル地区における小中一貫校の開校に向けた準備を円滑に推進することを目的に、瀬戸市小中一貫校開校準備委員会を設置いたしました。本委員会は、平成 28 年度に設置した瀬戸市小中一貫校施設整備委員会が市民参加型のワークショップなどを行い、「瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想策定のための提言書」を取りまとめるなど、一定の役割を終えたことから、発展的に継承されたものであり、モデル地区における小中一貫校の開校に向けた準備を円滑に推進することを目的としています。



平成 30 年度開催内容

- 第 1 回 平成 30 年 10 月 31 日 (水) カリキュラム、通学、校歌・校章・制服について
- 第 2 回 平成 31 年 3 月 28 日 (木) カリキュラム、通学、校歌・校章・制服について

イ P T A、各地区における意見交換会

P T Aをはじめ、各地区のみなさまや、関係団体との情報共有及び意見交換など継続的な対話の場は小中一貫校を開校し、その後地域とともに成長する学校づくりを目指すために欠かせないものであります。そうした対話を重ねることにより、小中一貫教育のカリキュラムや通学などについての様々な不安や心配ごとを少しずつ解消していくことに繋がると考え、開校まで続けていく予定です。

また、令和元年 6 月に「にじの丘学園コミュニティ・スクール設置準備委員会」を設置しました。今後も適宜開催し、令和 2 年 4 月の開校とともにコミュニティ・スクール制度を導入できるよう取り組んでいきます。

ウ 各地区におけるまちづくり検討組織（地区協議会）

P T Aや地区における意見交換会を重ねる過程において、対象となる 5 つの小学校区（連区）で、自治会・保護者・学校・公民館関係者などによる地区協議会が設置されてい



ます。この、まちづくり検討組織では、新しく開校する小中一貫校に関すること（教育環境や通学など）を協議するとともに、学校跡地の活用に関すること（防災などの必要な機能など）についても、議論を重ねています。こうした会議に市職員がオブザーバーとして参画することにより、その時点における適切な情報を提供することが可能となり、P T Aや保護者など関係者の心配ごとの解消や課題の共有などに繋がっているものと考えています。

エ 7校校長会等

小中一貫校開校に該当する7校の教職員が、校務分掌ごとに集まり、それぞれの校務分掌で閉校や開校に向けて話し合いを進めています。

オ 小中一貫校カリキュラム編成委員会

瀬戸市の教員13名からなる小中一貫校カリキュラム編成委員と、瀬戸市の各教科の研究会の代表者によって小中一貫校カリキュラム編成委員会を組織し、小中一貫校のカリキュラム全般の編成について検討しています。

小中一貫校カリキュラム編成委員会会議では、小中一貫校カリキュラム編成委員が、瀬戸らしさを追求した教育活動についての提案を作成したり、各研究会で作成された教育課程の整合・調整を行ったりしています。また、各教科の研究会では、各教科の教育課程について、9年間の系統性・連続性・横断性、主体的・対話的で深い学びに留意して編成をしています。



② 小中一貫校開校に向けての取組等

ア 教育目標

小中一貫校の基本コンセプトと瀬戸市が目指す人間像と5つの基本的な方向を鑑み、小中一貫校の教育目標を「学び、つながり、挑戦する9年間」にしようと考えています。学校だけで教育目標に向かって活動するのではなく、「家庭・地域・学校」が協働で達成する目標とさせていただきたいと考えています。そして、今後話し合いながら、教育目標を達成するための地域の役割と家庭の役割決めていきます。

また、家庭・地域・学校が協働するために、コミュニティ・スクールという仕組みを活用していきたいと考えています。その仕組みを活用しながら、教育目標を共有し、お互いに何ができるか役割分担しながら、9年間を見通して教育活動を進めていきます。

イ 合同行事・授業

にじの丘学園が開校した際に、子どもたちが円滑に人間関係を構築し、学校生活をよりスムーズに進めていくために7校の子どもたちが、一緒に授業や部活動に取り組むこと



ができるようにするための計画、実践を行っています。

ウ にじの丘だより

にじの丘学園開校に向けた取組状況を、P T A・未就学児保護者の皆さんに知っていただく機会として、「にじの丘だより」を随時発行しています。にじの丘だよりは瀬戸市ホームページや、にじの丘学園 Facebook でもご覧いただけます。

③ 施設

教職員、保護者をはじめとした地域の皆様などからも意見をいただきながら、平成29年度に施設の詳細設計を進め、平成30年6月から施設の建設を順次行っています。校舎の完成は令和2年1月末の予定です。校舎完成後には、地域の皆様に建物を見学していただけるよう、準備を進めています。



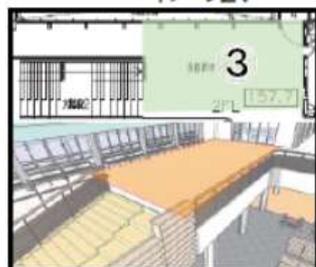
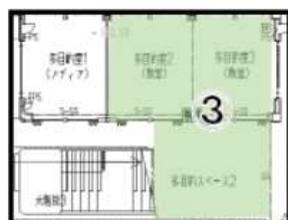
	1階				2階				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
カリキュラム	学習規律の定着				主体的な学習の促進			主体的な学習の定着	
	自己肯定感の獲得				自己肯定感から自己有用感への醸成			自己有用感の獲得	
担任制	学級担任制				一部教科担任制		教科担任制		
運営システム	移動を伴わない教室固定型				一部の教科ごとに教室を移動				

【施設活用案】



2階並り廊ステップ
イメージ図↓

1階可動式ドアの多目的室及び
多目的スペース



①フーカスペース

グループでの話し合い活動や調べたことを模造紙にまとめたり、それを発表したり表現活動など、各教科における主体的・対話的で深い学びに関する活動において活用する。

②多目的室

普通教室の隣に多目的教室を配置し、この教室で算数の授業において、3クラスを4分割することで、よりきめ細かく子どもたちを指導する。該当学年の授業に関する資料を置いておくことで、探究活動を促進する。

③多目的スペース

異学年で一緒に給食を食べたり発表を見せ合ったりするような異学年交流や食育の場として活用する。地域の方々に来校していただき、講話や体験学習の場として活用する。

④ 通学

ア 通学路について

平成29年の夏に、想定される通学路について、国、愛知県、警察、学校、PTA、教育委員会等の関係者による合同安全点検を行いました。(通学路交通安全プログラム)ここで明らかになった危険箇所、区間の安全対策をまとめ、順次実施しています。また、徒歩通学以外の新たな通学手段についても、地元と協議を重ねながら、通学路の安全対策と並行して、検討を進めています。



イ 路線バスを活用した通学について

にじの丘学園への通学は、徒歩通学を原則とした上で、路線バス(名鉄バス赤津線・瀬戸北線)を活用することとしました。その場合、にじの丘学区全ての児童生徒を対象とし、運行協力金を1人あたり月額500円(年間6,000円)お支払いいただくことで、路線バスに乗車していただけます。

ウ 小中一貫校校区外通学分

校区外通学とは、保護者の申請により、にじの丘学園学校区以外の学校に入学・転入学することができる制度です。下の2つの条件を満たす場合、制度が適用されます。

i) 学校の移転・統合により就学先が変更した場合

ii) 移転・統合した学校と近隣する校区外学校を比べ、通学距離が概ね2km以上差がある場合

⑤ 小中一貫校PTAのあり方に関するワークショップ

平成29年度、小中一貫校の新設にあたり、小中一貫校開校後のPTAと学校との関わり方をはじめ、PTAの位置づけや役割などを改めて認識及び確認することを目的とし、現時点のPTA(保護者及び教員)を対象としたワークショップを実施し、様々な観点から意見交換を行いました。運営については、名古屋市立大学にお手伝いいただき、学生さんにも入っていただいて、未来志向型のアイデアの集約・共有を図りました。



なお、令和元年6月には、7校の現PTA役員が組織等を含め活動について検討する準備委員会を立ち上げ、開校に向けての準備を進めています。

⑥ 校名選定

小中一貫校のコンセプトである「出会いと協働による新たな学び合いの創造～地域とともに歩む未来の学び舎～」に相応しいものや、分かりやすく、親しみやすいものであることなどを基準とし、市長と教育委員会が選定した結果、新しい小中一貫校の校名は「にじの丘学園 瀬戸市立にじの丘小学校 瀬戸市立にじの丘中学校」とすることになりました。



■校名発表セレモニーの様子

⑦ 校章選定



平成30年12月に実施した校章デザイン投票の結果、最も多くの票を得たデザイン2点の要を組み合わせ、左の校章デザインとしました。

このデザインを学校旗など、にじの丘学園のシンボルとして利用していきます。

⑧ 制服・体操服選定

ア 製造業者プロポーザル

平成30年夏から秋にかけて、制服製造業者のプロポーザルを、平成30年秋から冬にかけて体操服製造業者のプロポーザルを行いました。その結果、制服製造業者としては「株式会社トンボ」が、体操服製造業者としては「名古屋菅公学生服株式会社」が選定されました。

イ 制服体操服のありかたアンケート

にじの丘学園の新制服及び新体操服のデザインを考案するにあたり、保護者及び教職員のニーズを把握し、デザイン考案の参考とするために、にじの丘学園対象7校の保護者及び教職員を対象としてアンケートを行いました。

ウ デザイン投票

にじの丘学園教育目標や上記アンケートの結果を踏まえ、複数の案を作成しました。その中から7校保護者・児童生徒、7校教職員の投票で、デザイン案を決定しました。

エ 最終決定

詳細なデザイン及び夏の制服・体操服について、デザインの最終決定を行いました。最終デザインについては次のとおりです。

A

B

ワンタッチネクタイ・リボン



※ホックで簡単にネクタイ、リボンを取り付けることができます。

ワッペン・ボタン



ボトム柄



※家庭洗濯機で丸洗いが可能です。



極力、男女の性差を少なくしてトランスジェンダーの方への配慮を入れた未来志向。落ち着いた雰囲気の中、ネクタイ・リボン等で親しみと明るさを取り入れ、誰からも好まれる制服を目指しました。ジャケットは最新のニット素材を採用し、ストレスフリーの着心地を実現。袖口は成長に合わせて伸ばせる成長設計になっています。中のシャツは、各家庭で無地の白いシャツをご用意していただきますが、推奨品も用意します。

ジャケット素材 ウール 15% / ポリエステル 85%



ストレッチ 家で洗える 雨や汚れを弾く ソフトな風合い 軽量

ボトム素材 ウール 30% / ポリエステル 70%

◆家で洗える ◆優れた耐久性

メーカー希望販売価格	A	B
ジャケット	19,545 円	18,545 円
ボトム	10,545 円	11,545 円
ネクタイ	2,000 円	
リボン	1,636 円	

※税抜き価格で提示しています。

※男女ともに A・B どちらのタイプも選択できます。

A

B

刺繍デザイン



ボトム柄



※家庭洗濯機で丸洗いが可能です。

暑い夏に涼しげな印象を与えるサックスのニットシャツ。

ノーアイロンで、お洗濯後干しておけばシワにならず、乾きも早くなっています。

衿の合わせはA・Bどちらも同じで、冬服同様に性差を少なくしてトランスジェンダーの方へ配慮しています。ボトムは冬服と同じ柄ですが、夏用の生地で涼しいものになっています。

胸には冬服のワッペンと同じ「N」の刺繍が入ります。

シャツ素材 ポリエステル100%



ノーアイロン



UVカット



吸汗速乾



ストレッチ

ボトム素材 ウール 30% / ポリエステル 70%

◆家で洗える ◆優れた耐久性

メーカー希望販売価格	A	B
ニットシャツ	3,200 円	
ボトム	10,000 円	11,000 円

※税抜き価格で提示しています。

※男女ともにA・Bどちらのタイプも選択できます。



▼ジャージ上下の素材

- grand guard - グランガード

- ◆裏起毛で保温性バツグン
- ◆圧倒的な防風性能
- ◆ムレなく快適な着心地
- ◆タワシで擦っても大丈夫な耐久性
- ◆コンパクトに収納可能

▼半袖シャツの素材

フィールドセンサー秒乾

- ◆汗を瞬時に拡散・乾燥させ
さらりとした着心地
- ◆素早く乾いてお手入れカンタン
- ◆軽量で肌触り柔らか

▼ジャージ上下の素材

クロスライト

- ◆運動しやすい軽い着心地
- ◆毛玉が出来にくい高耐久
- ◆汗によるべたつきを軽減



▼メーカー希望販売価格

ジャージ上衣：4,400円（税抜）

ジャージ下衣：3,400円（税抜）

半袖シャツ：2,800円（税抜）

ハーフパンツ：2,800円（税抜）

7 就学・私学助成制度

(1) 要保護及び準要保護就学援助制度

経済的理由によって就学困難な児童生徒について、学校給食費・学用品費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的として援助するものです。

① 要保護及び準要保護児童生徒の認定

- ・要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法第6条第2項に規定する要保護者である児童生徒
- ・準要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法による要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる児童生徒

② 補助対象費目

- ・要保護者・・・修学旅行費
- ・準要保護者・・・学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費

補助対象費目 令和元年度	小 学 校	中 学 校
学用品費等	11,420円	22,320円
校外活動費	1,570円(宿泊なし) 3,620円(宿泊あり)	2,270円(宿泊なし) 6,100円(宿泊あり)
新入学用品費	40,600円	47,400円
修学旅行費	21,490円	57,590円
学校給食費	実 費	実 費

③ 要保護及び準要保護就学援助実績

年 度	対 象 児 童 生 徒 数		援 助 費
	要 保 護 者	準要保護者	
平成30年度	26人	1,041人	82,051,586円

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援学級教育普及奨励を図ることを目的として、保護者の負担能力の程度に応じて補助するものです。

① 補助対象費目

学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費

② 補助額

保護者の負担能力に応じて、支給額が変わります。ただし、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費は実費。

③ 特別支援教育奨励費実績

年 度	対 象 児 童 生 徒 数	補 助 額
平成30年度	126人	4,487,251円

(3) 私立高等学校運営費補助事業

私立高等学校の健全な運営を図るため、日常的に必要な備品、図書、消耗品等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補助対象高等学校	補 助 額
平成30年度	2校	900,000円

(4) 学校法人愛知朝鮮学園第七初級学校運営費補助事業

学校法人愛知朝鮮学園愛知朝鮮第七初級学校が行う教育に必要な備品、図書、消耗品等の購入及び施設補修等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補 助 対 象 校	補 助 額
平成30年度	1校	700,000円

(5) 私立学校等授業料補助金

私立高等学校等に在籍する生徒の保護者等の経済的な負担を軽減するため、授業料の一部の補助を行うものです。

①補助対象者

毎年10月1日現在で市内に在住し次の私立学校に在籍する生徒の授業料を負担していて、愛知県の授業料減額制度における所得区分甲Ⅰ、甲Ⅱ、乙Ⅰに該当するもの。学校での授業料が免除されている場合や、国及び県、その他補助制度により授業料の負担のない場合は補助の対象とならない。

- ・私立高等学校（全日制・定時制）
- ・私立中等教育学校（後期課程全日制・定時制）
- ・私立専修学校（高等課程）
- ・私立高等専門学校

②補助金額

生徒一人につき10,000円（上限額）

国及び県の補助制度により授業料の負担が10,000円未満となった場合は、その額を上限として補助をする。

年 度	補助金受給者数	補助額合計
平成30年度	257件	2,539,200円

Ⅲ 学 校 給 食

1 学校給食の方針

(1) 基本方針

学校教育の一環として、学校給食の一層の安全と充実を図るとともに、食育を推進する。

(2) 重点目標

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2 学校給食の現況

瀬戸市の学校給食は、センター方式(共同調理方式)と単独校方式(学校調理方式)とで実施している。

※ センター方式で行っている調理業務(全中学校、掛川小)は、平成12年8月から、配膳業務は、平成14年4月から民間委託で実施している。令和元年度は、古瀬戸小学校においても、センター方式で給食を提供している。

※ 単独校の調理業務も平成15年4月から深川小、品野台小、平成17年4月から長根小、幡山東小、平成18年4月から陶原小、平成19年4月から效範小、原山小、平成21年4月から東山小、平成22年4月から幡山西小、平成23年4月から西陵小、平成25年4月から水南小、平成27年4月から下品野小、平成28年4月から八幡小、平成30年4月から道泉小で実施され、合計14校で民間委託を実施している。

学校給食センター調理風景



(2) センター校及び単独校一覧

令和元年5月1日現在

センター校	10校	水無瀬中学校、祖東中学校、南山中学校、本山中学校、幡山中学校、品野中学校、光陵中学校、水野中学校、古瀬戸小学校、掛川小学校
単独校	19校	陶原小学校、深川小学校、祖母懐小学校、道泉小学校、效範小学校、東明小学校、水野小学校、水南小学校、幡山東小学校、幡山西小学校、下品野小学校、品野台小学校、長根小学校、原山小学校、東山小学校、萩山小学校、八幡小学校、西陵小学校、瀬戸特別支援学校

(3) 学校給食実施状況

① 実施食数 単独調理校 (小学校18校、特別支援学校1校) 7,569食
学校給食センター (中学校8校、小学校2校) 3,743食

② 実施回数 189回 (学校行事により異なる。)

③ 給食の形態 完全給食で週5回給食を実施している。

ア 主食

ごはん：4回/週 (通年平均)：自校炊飯と委託炊飯の併用

(精米「あいちのかおり」を使用)

- ・自校炊飯：炊き込みごはん、ピラフ、チャーハン、チキンライス等
- ・委託炊飯：白ごはん、麦ごはん (麦10%)、わかめごはん (わかめ3%)、赤飯、発芽玄米ごはん等

パン：1回/週 (通年平均)：スライspan、ミルクロールパン、クロスロールパン、クロワッサン、リンゴパン、あいちの米粉パン等

麺(めん)：1回/月 (通年平均)：ソフトめん (スパゲティ式)、中華めん、きしめん

イ牛乳 200ml (瓶入り)

ウ副食 主菜、副菜、添え物 (果物、ヨーグルト、のりの佃煮、アーモンド小魚、ゼリー等)

(4) 使用食器：強化磁器食器

①単独校 平成元年度から、従来のアルマイト食器を強化磁器食器に切り替えを図り、平成5年度に全校導入を完了した。

②センター校 平成10年度から使用を開始した。

③食物アレルギー対応用食器 平成25年度から、通常使用している食器の色を変えたもの (イエロー) を導入している。



#は応募献立

瀬戸市中学校・古瀬戸小学校・掛川小学校

日曜日	献立名	主食	飲み物	その他	おもに体をつくるものになる食品	おもに体の調子を整えるものになる食品	おもにエネルギーのもとになる食品
10 水	ポークカレー	イカリングサラダ	むぎ麦ごはん	牛乳 お祝いクレープ	牛乳・豚肉・いか ハム・チーズ	たまねぎ・にんじん・きゅうり ブロッコリー・切干し大根 とうもろこし・枝豆	麦ごはん・じゃがいも 油・砂糖・ルウ
11 木	洋風団子汁	いわしの梅煮 ひじきと生揚げの炒め煮	ごはん	牛乳 いわしの梅煮	牛乳・豚肉・生揚げ 味噌・もずく・鶏肉 ひじき いわし	大根・にんじん・ねぎ・ごぼう えのきたけ 梅干し	ごはん・米粉団子 じゃがいも・砂糖 ごま 砂糖
12 金	とりめし	ししゃもフライの味噌かけ 野菜のごま和え	センターごはん	牛乳 ししゃもフライ 餅	牛乳・鶏肉 オイルツナ・味噌 ししゃも 小豆	白菜・小松菜・にんじん・ごぼう こんにやく・枝豆・しいたけ	ごはん・油・ごま 砂糖 パン粉・小麦粉 砂糖・もち粉・小麦粉・水あめ
15 月	わか竹汁	白ごまつくね きんぴらごぼう	ごはん (瀬戸市産)	牛乳 乾燥小魚アーモンド入り 白ごまつくね 乾燥小魚アーモンド入り	牛乳・かまぼこ・豚肉 わかめ・油揚げ 鶏肉・レバー いわし	ごぼう・たけのこ・ふき・ねぎ こんにやく たまねぎ	ごはん・砂糖 ごま油 砂糖・パン粉・ごま・油 アーモンド・砂糖・水あめ
16 火	豆腐と白菜のスープ	ビビンバ	むぎ麦ごはん	発酵乳	発酵乳・豆腐・豚肉 鶏卵・味噌	白菜・小松菜・にんじん・もやし ねぎ・エリンギ・とうもろこし 切干し大根・しょうが・にんにく	麦ごはん・砂糖 ごま・ごま油・油
17 水	高野豆腐の卵とじ	いかの生姜焼き じゃこなっば	ごはん	牛乳 ④パインアップル	牛乳・いか・鶏肉 鶏卵・凍り豆腐 しらす干し	たまねぎ・小松菜・にんじん・ねぎ 枝豆・切干し大根・生姜 パインアップル	ごはん・ごま・砂糖 油
18 木	大豆のチリコンカルネ	イタリアンサラダ	ミルクロールパン	牛乳 いちごジャム	牛乳・鶏肉・ベーコン 大豆・ハム・チーズ	たまねぎ・にんじん・トマト・キャベツ きゅうり・とうもろこし・にんにく	パン・アーモンド 油・砂糖
19 金	たけのこごはん	たらのフリッター アスパラガスの和えもの	センターごはん	牛乳 たらのフリッター ヨーグルト	牛乳・鶏肉・油揚げ たら・おぎあみ・あおさ 脱脂粉乳・ゼラチン・寒天	たけのこ・にんじん・きゅうり アスパラガス・切干し大根・かんぴょう	ごはん・砂糖・油・ごま ごま油・豆乳ドレッシング 小麦粉・砂糖・米粉・油 砂糖
22 月	かきたま汁	鶏肉のてりかけ ひじきと枝豆のサラダ	むぎ麦ごはん	牛乳	牛乳・鶏肉・豆腐 鶏卵・かまぼこ 油揚げ・ひじき	白菜・にんじん・ねぎ・枝豆 切干し大根	麦ごはん・砂糖・油 ごま
23 火	味噌風味肉じゃが	厚焼き卵 青菜和え	わかめごはん	牛乳 ココア牛乳の素 厚焼き卵 ココア牛乳の素	牛乳・豚肉・味噌 オイルツナ・わかめ 鶏卵	たまねぎ・ほうれん草・白菜・にんじん こんにやく・さやいんげん・しいたけ・にんにく	ごはん・じゃがいも 砂糖 砂糖・小麦粉・油 砂糖
24 水	ビーフシチュー	角切り鮭と野菜のサラダ	発芽玄米ごはん	牛乳 オレンジ	牛乳・牛肉・鮭 チーズ	たまねぎ・にんじん・キャベツ・ブロッコリー さやいんげん・マッシュルーム・とうもろこし ピーマン・にんにく・オレンジ・トマト・枝豆	発芽玄米ごはん じゃがいも・小麦粉 バター・砂糖・ごま油
25 木	春きゃべつと卵焼きのバタースープ	ミートボールと野菜の トマト煮	あいちの米粉パン	牛乳 卵焼き ミートボール	牛乳・ベーコン 大豆・チーズ 鶏卵 鶏肉	キャベツ・たまねぎ・にんじん・大根 たけのこ・トマト・エリンギ・ピーマン たまねぎ・キャベツ	米粉パン・バター 油・砂糖 砂糖・油 水あめ・油
26 金	マーボー豆腐	ナッツ入りサラダ えびシューマイ	ごはん	牛乳 えびシューマイ	牛乳・豆腐・豚肉 大豆・味噌 オイルツナ・莖わかめ えび・たら・豚肉	大根・キャベツ・にんじん・きゅうり ねぎ・にら・しょうが たまねぎ・しょうが	ごはん・カシューナッツ アーモンド・豆乳ドレッシング 砂糖・ごま油 砂糖・小麦粉・油

④は小学校のみ、④は中学校のみ

[付記] 材料の都合により多少の変更を、お許し願います。

- 12日の桜餅は関西風です。
桜の葉は、はがさずにそのままいただきます。
- 15日の若竹汁には、わかめとたけのこの他に
ふきなども入ります。



ご入学・ご進級おめでとうございます。
みなさん緊張していると思いますが、
毎日の食事を大切にしてください。

給食準備をスムーズにスタートしよう

1, 衛生に気を付けよう

- 給食白衣に着替える前に、手は石けんでしっかり洗きましょう。
- 具合が悪いときは無理をしないで、先生に言って当番を交代
しましょう。



2, 身じたくを確認しよう

- マスクから、鼻と口が出ないようにしましょう。
- 長い髪の方は、帽子から髪が出ないようにゴムなどで
まとめましょう。



3, 給食をきちんと盛りつけよう

- 汁物は、食缶の下の方に具があることが多いので、底からかき混ぜながら
盛りつけましょう。
- 盛りつけ残しが、そのままクラスの食べ残しにならないよう、量を考
えて盛りつけましょう。



毎月19日は「食育の日」
～おうちでごはんの日～です。

こんげつ おうぼこんだて
今月の応募献立

はる たまごや
25日「春きゃべつと卵焼きのバタースープ」

もとやまちゅうがっこう きま
本山中学校 K. H. 様

※応募献立とは、給食で食べたい料理を募集し、給食に取り入れる
活動です。「瀬戸で食べたい こんな給食」と題して、各学校を
順番に募集しています。たくさんのご応募をお待ちしております。

●小学校1年生の給食は、16日(火)から始まります。

「豆乳ドレッシング」は、見た目はマヨ
ネーズのようですが、大豆や油から作ら
れています。卵や乳製品は含まれてい
ません。

15日(月)は瀬戸市産米
「あいちのかおり」を使用します。

(5) 給食費の内訳

給食費は、1食当たり小学校260円・中学校300円。

学校給食の形態

平成31年4月現在

学校別	給食の形態	主食		牛乳		副食・その他	給食費
		規格	価格	規格	価格	価格	
小学校	パンの場合	50g	51.71円	200ml	53.78円	154.51円	260円
	米飯の場合	70~80g	56.00円	200ml	53.78円	150.22円	
	めんの場合	70g	55.48円	200ml	53.78円	150.74円	
中学校	パンの場合	70g	67.05円	200ml	53.78円	179.17円	300円
	米飯の場合	100g	64.26円	200ml	53.78円	181.96円	
	めんの場合	120g	62.31円	200ml	53.78円	183.91円	

(6) 栄養摂取状況

摂取基準値（目標値）と摂取量及び充足率

平成30年度年間平均

区分		エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g) 25%~ 30%	カルシウム (mg)	マグネシウム (mg)	鉄 (mg)	亜鉛 (mg)	ビタミン				食物繊維 (g)	食塩 相当量 (g)	
									A (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)			
小学校	摂取基準値	640	24.0	21.3	350	80	3.0	2.0	170	0.40	0.40	20	5.0	2.5	
	単 独 校	摂取量	653	26.6	19.6	343	111	3.1	3.1	235	0.58	0.55	28	4.6	2.2
		充足率 (%)	102.1	111.0	91.8	<u>98.0</u>	139.2	102.7	156.0	138.6	144.2	136.5	140.4	<u>91.9</u>	87.7
	掛 川	摂取量	687	28.9	21.8	381	124	3.3	3.3	288	0.56	0.58	31	4.8	2.1
		充足率 (%)	107.3	120.5	102.2	109.0	154.4	109.1	164.1	169.3	141.1	144.5	152.7	<u>96.5</u>	82.2
中 学 校	摂取基準値	820	30.0	27.3	450	140	4.0	3.0	300	0.5	0.6	35	6.5	3.0	
	摂取量	843	34.6	24.8	410	148	4.0	4.2	339	0.71	0.65	37	6.0	2.5	
	充足率 (%)	102.8	115.3	91.0	<u>91.2</u>	105.8	<u>99.5</u>	140.6	113.1	141.8	108.5	104.4	<u>92.3</u>	82.4	

(アンダーラインの部分未充足)

(7) おいしく楽しく食事をするための取り組み

- ① 食材の安全性の確保を図る。
国産のものを努めて使用し、遺伝子組み替え食品や食品添加物の入った食品はできる限り使用しない。
- ② 学校給食を通じて学校と家庭との連携を図る。
家庭へ「給食だより」の配布、家庭から募集した料理の導入、PTA試食会等の実施を図る。
- ③ 調理機器等の充実により献立内容の充実を図る。
コンベクションオーブン、真空冷却機、保冷剤の使用。
- ④ 瀬戸市産の農産物を給食に取り入れ、地域との連携を図る。
産業政策課（アグリカルチャー推進係）を通じて、市内で生産された豚肉、米、玉葱、なす、里芋等を使用。
- ⑤ 献立の工夫を図る。
行事食や、郷土料理等で、食に対する理解を深める。

〈いつもの給食風景〉



〈瀬戸市産里芋を使った献立の給食〉



〈瀬戸市産玉葱のポスター〉



(8) 食物アレルギーの対応

平成21年度から食物アレルギーのある子どもたちに、除去食、代替食（飲用牛乳のみ）の対応に取り組んでいる。

- ① 学校給食において食物アレルギー対応を行う場合、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の提出を必須としている。
- ② 学校給食におけるアレルギー対応面談記録表、聞き取り調査表をもとに保護者と面談している。校長、教頭、養護教諭、保健主事、給食主任、栄養教諭、担任等で協議し、学校給食におけるアレルギー対応決定書が作成される。
- ③ 保護者には、学校給食におけるアレルギー対応についての決定をお知らせする。
- ④ 事前の食材内容のわかる献立表等を保護者に送り、除去食、無配膳対応の確認を保護者と学校（センター）で行う。
- ⑤ 決められた食材について、除去食の対応をしている。
- ⑥ 配膳やおかわりにおける誤食を防ぐために、平成25年度より、食物アレルギー対応専用食器（イエロー）を使用している。
- ⑦ センターでは、専用ランチジャーで除去食を運び、専用食器（イエロー）を使用している。
※なお、本人に除去食が正確に提供できるように受取表で確認記録を行う。

IV 図書館

1 図書館活動

(1) 基本方針

図書館サービスの充実、施設やネットワークの整備により、利用しやすい環境づくりを推進する。

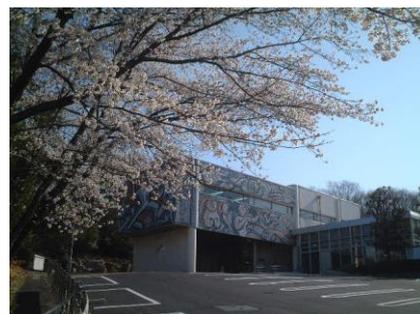
(2) 重点目標

- ・学校図書館との連携による地域図書館の増設・利活用を進める。
- ・市民等がくつろぎ、学び、暮らしに役立つ情報を享受し、交流する場づくりを進める。
- ・子どもの読書環境の整備、学習活動への支援を図る。
- ・情報化に対応した資料の充実やサービスの提供を図る。
- ・高齢者及び障害者等、誰もが利用しやすい環境づくりを進める。

(3) 施設

① 瀬戸市立図書館（本館）

開館	1970（昭和45）年6月17日（竣工6月16日）
所在地	東松山町1番地の2 TEL 0561(82)2202 FAX 0561(85)2651
敷地面積	4,222.5㎡
構造	鉄筋コンクリート2階建
面積	868.26㎡
延面積	1,412.26㎡
構造	軽量鉄骨平屋建（プレハブ集会室）
面積	98.69㎡
施設概要	1階 一般開架、児童コーナー、 新聞雑誌閲覧室、集会室、事務室
貸出・返却・レファレンスカウンター	
	2階 参考室、PCルーム、会議室、ボランティア室、書庫
駐車場等	64台（障害者用2台）、駐輪場あり
アクセス	名鉄瀬戸線「新瀬戸」駅、愛知環状鉄道または名鉄バス「瀬戸市」駅から徒歩7分 名鉄バス「陶生病院前」から徒歩4分



図書館全景

② 情報ライブラリー

開設	2005（平成17）年2月19日
所在地	栄町45番地（パルティセと3階） TEL 0561(97)1162
面積	198.24㎡
施設概要	一般・児童書架、雑誌・新聞・PCコーナー、編集室、視聴覚機材・機材倉庫
貸出・返却カウンター	
アクセス	名鉄瀬戸線または名鉄バス「尾張瀬戸」駅東隣り

(4) サービス概要

- ① 開館時間 本館 午前9時～午後7時(4月～9月)
午前9時～午後6時(10月～3月)
情報ライブラリー 午前9時～午後9時半
- ② 休館日 毎月第4水曜日(この日が休日となる日を除く。)
年末・年始(12月28日～1月4日)、特別整理期間(10日間以内)
- ③ 利用対象 館内利用—制限なし
館外利用—市内在住・在勤・在学及び近隣8市1区1町の在住者
- ④ 利用内容 貸出サービス
個人貸出—1人10冊(点)まで 期間3週間以内(視聴覚資料・雑誌は2週間以内)
団体貸出—構成員は5人以上、代表及び構成員の過半数は市内在住とし、貸出期間は
最長2か月、最大200冊まで
その他サービス
予約・リクエストサービス、相互貸借サービス、レファレンスサービス
コピーサービス(有料 白黒1枚10円、カラー50円)、ハンディキャップサービス
パソコンルーム利用サービス(PC利用・DVD視聴)

(5) 主な事業(平成30年度)

① 地域図書館

「身近な場所に身近な図書館を」をコンセプトに、小中学校との連携により、土日祝日に学校図書館を一般開放し、図書の閲覧・貸出など、図書館の分館機能を持たせたサービス提供を図書館サポーターとの協働により行っている。

開設校	品野台小学校 地域図書館	光陵中学校 地域図書館	西陵小学校 地域図書館	水野小学校 地域図書館	東山小学校 地域図書館	幡山西小学校 地域図書館
開設日	H18. 10. 7	H20. 10. 4	H21. 10. 3	H22. 10. 9	H23. 10. 15	H29. 10. 1

開館日時：土日祝日 午前10時～午後3時

内容：学校図書館の一般開放

図書の購入支援(一般書・児童書)

図書館と共通の利用カード等

地域図書館の来館者数(土日祝のみ) (人)

	子ども	大人	合計
平成30年度	3,628	5,403	9,031



<水野小学校地域図書館>

※水野小学校地域図書館は建替のためH30. 7. 21～H31. 3. 31 休館。

休館中は、水野地域交流センターの駐車場にて自動車文庫を開設した。

② 各種講座・行事の開催

ア 第20回 夏休みこども理科教室

日時：平成30年8月6日(月) 午前・午後2回

場所：図書館 1階 集会室

協力：瀬戸市理科教育研究会



<夏休み子ども理科教室>

参加：市内小学生3～6年生 58名参加

イ 夏休み宿題応援企画「がんってなあに？」

日時：平成30年8月8日（水）午前10時～正午

場所：図書館 1階 集会室 参加：22名

協力：公立陶生病院緩和ケアセンター

※めりーらいん図書館連携健康支援事業として開催

ウ 夏休み宿題応援企画「読書感想文を書こう！」

日時：①平成30年8月4日（土）午前10時～11時30分

②平成30年8月7日（火）午前10時～11時30分

場所：①幡山西小学校地域図書館

②図書館 1階 集会室

参加：①17名 ②19名



<ビブリオバトル>

エ 第22回 図書館まつり

期間：平成30年10月20日（土）～11月18日（日）

内容：10/20 文学カフェ（69名参加）、10/27 パパだって読み聞かせ（親子7組11名参加）

10/27 読み聞かせリレー（35名参加）、11/10 土曜おはなし会とえいが会（5名参加）

10/28 こども1日司書（8名参加）、11/3 本のリサイクル市（903名来場）

11/18 ビブリオバトル（56名参加）

11/5～11/10 「図書館めぐり！瀬戸高校の図書館に行こう」（57名参加）

10/25～11/16 図書館友の会作品展、10/25～11/2 キッズルーム開設

オ その他

- ・読み聞かせ・おはなし会（定期開催） 参加総数3,276名
毎週月～金曜 午前11時から30分間 職員・ボランティアグループにより実施
第1土曜 午後2時30分～3時 おはなしぶらんこ
第2土曜 午後2時30分～3時 おはなし会とえいが会
- ・こわ～いおはなし会（7/30 第1部47名、第2部46名）
- ・「もったいない」をテーマにした絵本の読み聞かせ（8/1 14名、8/2 30名、8/3 9名）
- ・春のおはなし会（3/25 31名）
- ・市民ギャラリー展示
読書感想画展（4/13～5/31）、金城学院大学広告研究会作成 ポスター展示（7/21～8/31）、
水野アー氏木版画集（11/29～3/26、作品入替3回）等
- ・情報ライブラリーでの企画展示
陶祖まつり関連展示「狛犬」（4/13～4/30）
愛知県内共通イベント「@ライブラリー 高校スポーツ。」（8/2～8/31）
- ・教科書展示会（6/1～7/12） ※教科書センター事業
- ・キッズルーム開設（テーマ設定、集会室） 年2回（4/26～5/3、10/25～11/12）

③ 支援事業

ア 学校図書館への支援

- ・地域図書館開設学校図書館への支援
司書の派遣（週1回 平日）による学校図書館業務の支援、読み聞かせなどの実施
- ・その他学校図書館への図書貸出
小学校（8校）年2回

イ その他施設への支援

公民館図書室（10館）及び保育園・陶生病院などの施設へ図書を貸出

④ 連携事業

ア 子育て支援「ブックスタート」事業

市健康課との連携により、6ヶ月健診受診親子を対象に、ファーストブックの読み聞かせや図書館での取り組み（絵本の読み聞かせ、おはなし会・映画会）などを紹介。絵本2冊・アドバイス集・絵本リストをコットン・バックに詰めた「ブックスタート・パック」を配布した。事業の実施にあたっては、公募によるブックスタートボランティアの協力を得た。

開催日：月2回 場所：やすらぎ会館

配布数：子ども 789人（実施率98.1%） 参加ボランティア のべ46人

イ めりーらいん図書館連携健康支援事業

近隣図書館との連携により、病気や症状の調べ方ガイド「メディカルパス」の共同作成など、健康・医療をテーマとした事業を実施した。

参加図書館：愛知医科大学・尾張旭・長久手・日進・瀬戸 5館

ウ 大学コンソーシアムせと連携事業

加盟大学との相互貸借事業

大学コンソーシアムせと「新しい文化創造プロジェクト」の採択

若年層の読書への関心を高めるイベントとして、「ビブリオバトル」を開催した。（平成27年度から継続）

開催日：平成30年11月19日（日）

参加校：愛知工業大学、金城学院大学、名古屋学院大学、名古屋産業大学、南山大学、瀬戸高校、瀬戸西高校、瀬戸窯業高校

参加者：バトラー（本の紹介発表者）大学生5人、高校生6人

エ 図書館友の会事業

平成11年1月に図書館の呼びかけにより利用者や図書館で活動するグループが任意参加して設立され、図書館を支援する活動を継続して取り組んでいる。本の補修や館内行事の企画開催などを企画から運営まで自主的に実施した。（会員数：約60人）

活動内容：世話人会（第3土曜）

本の補修（毎週火曜午前）

会報（年3回）発行

図書館まつり協力、七夕・クリスマスなど館内行事の開催など



<ブックスタート・パック>

(6) 利用状況・蔵書状況

総括表

		合 計	前年度合計	月平均	増減数	対前年比(%)		
本館	開館日数	336	335	28	1	100.30%		
	入館者数	233,458	228,285	19,455	5,173	102.27%		
	個人	利用者数(人)	113,734	111,463	9,478	2,271	102.04%	
	貸出	貸出冊数(冊)	515,289	505,788	42,941	9,501	101.88%	
	新規登録者数	2,470	2,609	206	-139	94.67%		
(学校配達分含む)	団体貸出	貸出冊数(冊)	27,992	26,773	2,333	1,219	104.55%	
移動図書館 (幡山、山口)	巡回回数	0	24	0	-24	0.00%		
	個人	利用者数(人)	0	209	0	-209	0.00%	
	貸出	貸出冊数(冊)	0	911	0	-911	0.00%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	0	89	0	-89	—	
情報ライブラリー	開館日数	345	356	29	-11	96.91%		
	入館者数	79,115	85,508	6,593	-6,393	92.52%		
	個人	利用者数(人)	19,934	20,530	1,661	-596	97.10%	
	貸出	貸出冊数(冊)	56,532	57,535	4,711	-1,003	98.26%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	193	351	16	-158	54.99%	
地域図書館	宝島 (品野台小) 平成18年開館	個人	利用者数(人)	2,819	3,286	235	-467	85.79%
	貸出	貸出冊数(冊)	9,474	8,969	790	505	105.63%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	896	1,140	75	-244	78.60%	
	(光陵中) 平成20年開館	個人	利用者数(人)	1,320	1,480	110	-160	89.19%
	貸出	貸出冊数(冊)	3,903	4,197	325	-294	92.99%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	108	47	9	61	229.79%	
	(西陵小) 平成21年開館	個人	利用者数(人)	10,324	10,927	860	-603	94.48%
	貸出	貸出冊数(冊)	14,130	14,890	1,178	-760	94.90%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	100	82	8	18	121.95%	
	(水野小) 平成22年開館	個人	利用者数(人)	1,959	6,326	163	-4,367	30.97%
	貸出	貸出冊数(冊)	4,444	13,174	370	-8,730	33.73%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	1,052	244	88	808	431.15%	
(東山小) 平成23年開館	個人	利用者数(人)	11,513	8,154	959	3,359	141.19%	
貸出	貸出冊数(冊)	13,264	10,180	1,105	3,084	130.29%		
団体貸出	貸出冊数(冊)	199	366	17	-167	54.37%		
(幡西小) 平成29年10月開館	個人	利用者数(人)	7,417	5,250	618	2,167	141.28%	
貸出	貸出冊数(冊)	15,998	8,772	1,333	7,226	182.38%		
団体貸出	貸出冊数(冊)	1,207	598	101	609	201.84%		
総貸出冊数		664,781	654,106	55,398	10,675	101.63%		

貸出状況

総貸出数	貸 出 場 所				計	構 成 比	前年度実績
	本館	移動図書館	情報ライブラリー	地域図書館			
資料区分							
一般書	274,675	0	32,429	6,633	313,737	47.19%	310,996
児童書	241,916	0	14,609	57,412	313,937	47.22%	304,489
郷土資料	1,201	0	59	13	1,273	0.19%	810
点字・大活字本	5,546	0	1,071	608	7,225	1.09%	7,022
小計	523,338	0	48,168	64,666	636,172		623,317
雑誌	13,152	0	6,129	104	19,385	2.92%	21,215
視聴覚資料	6,791	0	2,428	5	9,224	1.39%	9,574
小計	19,943	0	8,557	109	28,609		30,789
合計	543,281	0	56,725	64,775	664,781		654,106

※地域図書館＝品野台小＋光陵中＋西陵小＋水野小＋東山小＋幡山西小

蔵書状況

資料区分	前年度蔵書数	購入	寄贈/他	除籍・変更	年度末蔵書数	増減
一般書	203,199	7,093	161	7,957	202,496	-703
児童書	96,974	3,573	169	3,324	97,392	418
郷土資料	15,095	83	287	-28	15,493	398
点字・大活字本	2,716	245	6	54	2,913	197
小計	317,984	10,994	623	11,307	318,294	310
雑誌	10,601	2,870	24	3,154	10,341	-260
視聴覚資料	2,164	273	13	2	2,448	284
小計	12,765	3,143	37	3,156	12,789	24
合計	330,749	14,137	660	14,463	331,083	334

予約状況

	30年度計	前年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
全体数	48,954	48,103	4,080	851	101.77%
内OPAC利用	7,675	7,664	640	11	100.14%
内WEB利用	28,005	25,833	2,334	2,172	108.41%

利用者用パソコン利用状況（PCルーム内）

		30年度計	前年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
インターネット 3台	人数	3,089	2,770	257	319	112%
	時間	3,591	3,196	299	395	112%
CD・DVD視聴 3台	人数	72	37	6	35	195%
	時間	137	62	11	75	221%
PC持込利用	人数	664	627	55	37	106%
	時間	1,303	1,240	109	63	105%

※CD・DVD視聴およびPC持込利用：平成20年度開始

情報ライブラリー利用者用パソコン利用状況（インターネット用4台設置）

		30年度計	前年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
インターネット	人数	2,740	3,393	228	-653	81%
	時間	3,184	4,055	265	-871	79%

視聴覚機材(社会・学校教育用) 団体貸出

機器名	16ミリ 映写機	スライド*	スクリーン	スピーカー	OHP・ OHC	液晶 映写機	ビデオ 編集機	PCコン バータ	合計
現有台数	1台	3台	7本	4台	P 1/C 12台	7台	1台	1台	
計	0	0	13	2	1	43	0	0	59
前年度	0	1	13	0	1	95	0	0	110
増減	0	-1	0	2	0	-52	0	0	-51

視聴覚教材(社会・学校教育用) 団体貸出

区分	ビデオ・DVD(保有数:437本)					16ミリフィルム(保有数: 83本)				合計
	幼稚園等	小学校	中学校	その他	小計	幼稚園 等	学校	その他	小計	
計	25	25	0	34	84	0	0	0	0	84
前年度	42	27	0	94	163	0	0	0	0	163
増減	-17	-2	0	-60	-79	0	0	0	0	-79

※ビデオ・DVD保有数内訳(平成30年度末現在)

社会教育用: 158 本
 学校教育用: 279 本
 437 本

V 社 会 教 育

1 社会教育

(1) 基本方針

社会教育の本旨を効果的に達成するために、社会教育施設や人的要素を充実させる等、諸条件の整備を図り、特に生涯学習の観点に立って、積極的に社会教育活動を推進します。

(2) 重点目標

- ① 生涯学習の充実、民間指導者層の育成及び拡充を図ります。
- ② 社会教育施設の整備充実、活用の促進を図ります。

(3) 社会教育の振興

◇ 令和元年度 社会教育委員

令和元年6月1日現在

氏名	選出母体	公職・その他
福岡 明	学識経験者	瀬戸市第2次教育アクションプラン推進委員
早川 元彦	校長会	瀬戸市小中学校長会副会長・幡山西小学校長
加藤 英憲	公民館	瀬戸市公民館協議会副会長
横井 暢彦	子ども会	瀬戸市子ども会連絡協議会会長
富永 大輔	P T A	瀬戸市小中学校P T A連絡協議会会長
川本 まり子	体育団体	瀬戸市スポーツ協会常任理事
青山 貴彦	医師会	瀬戸旭医師会副会長
谷口 幸二	文化団体	瀬戸陶芸協会理事
加藤 啓子	福祉団体	瀬戸市民生委員児童委員協議会常任理事
水野草平	薬剤師会	瀬戸旭長久手薬剤師会会長

社会教育委員……社会教育に関する諸計画を立案、教育委員会の諮問に答え、又は教育委員会に対し意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

定数及び任期……13名以内、2年任期 平成30年6月1日～令和2年5月31日

(4) 社会教育事業

- ① 社会教育講座・生涯学習セミナーの開催
学習活動の機会を増やし、生涯学習のきっかけづくりを行います。

◇ 平成30年度 生涯学習セミナー実績

講座名	開催日	参加者数
子育てパパ・ママの学びセミナー ・『子育てパパのキャンプ教室』	6月17日	13組(45人)
品野の森・里山学校サマースクール (1泊2日)	8月1日～2日	33人



「品野の森・里山学校サマースクール」の様子

◇ 平成30年度 学びキャンパスせと

「自分が得意なことを教えたい」という、公募による熱意のある市民講師が「教える生きがい」をもって講座を企画・運営し、多彩で豊かな講座を提供する新しい講座の仕組み、「学びキャンパスせと」を開催しました。

講座の内訳は、パソコン、趣味・教養、美容・健康、軽運動、美術、書道、語学、音楽、料理、親子向けとなっています。

前期は86講座を開き受講生は1,651名、後期は81講座を開き受講生は1,509名でした。



「音楽講座」の様子

(5) 地区公民館事業

① 勤労青少年教養講座（平成31年度）

勤労青少年向けの講座を開催し、生涯学習のきっかけづくりと交流を図っています。

② 地区公民館生涯学習補助事業（平成31年度）

市内各地域において生涯学習の機会を増やし、また、その活動を促進するとともに、地区公民館が地域における生涯学習の中核施設としての役割を果たしていくことを推進するために、関係事業に補助金を交付しています。

(6) 施設の概要

生活、文化、教養の向上や、地域住民の連帯意識の高揚を図るため、各種の教育事業と住民の主体的な学習・創造活動が行われています。(平成31年4月1日現在)

館名	館長氏名	所在地	電話	設立年月日	建物延面積	建物構造
陶原公民館	加藤和守	熊野町98	83-3579	S28. 2. 1	620㎡	鉄筋2階
深川公民館	谷口幸二	宮脇町53	82-0453	S28. 2. 1	403㎡	鉄筋2階
祖母懐公民館	山田重夫	上ノ切町43	82-9304	S28. 2. 1	730㎡	鉄骨1階
古瀬戸公民館	丹羽静夫	西拝戸町16-10	83-8741	S28. 2. 1	413㎡	鉄筋2階
東明公民館	鈴木一己	西拝戸町16-3	82-8024	S28. 2. 1	427㎡	鉄筋2階
效範公民館	長江保	北山町39	82-1095	S28. 2. 1	709㎡	鉄筋2階
長根公民館	水野良宏	城屋敷町22	85-0911	S44. 4. 1	686㎡	鉄筋2階
水南公民館	山本玉美	東松山町154	21-2556	S28. 2. 1	409㎡	鉄筋2階
山口公民館	加藤英憲	田中町108	87-0700	S38. 4. 1	745㎡	鉄筋2階
幡山公民館	中根謙	幡山町71	87-4000	S30. 4. 1	428㎡	鉄筋2階
掛川公民館	加藤令元	定光寺町1206	48-6165	S38. 4. 1	153㎡	鉄骨1階
原山公民館	菊川照一	原山台8-163	83-9231	S48. 4. 1	405㎡	鉄筋2階
萩山公民館	石原昭二	萩山台4-2-2	84-2088	S50. 11. 1	405㎡	鉄筋2階
八幡公民館	高木秋男	八幡台1-145-2	82-9456	S52. 5. 7	405㎡	鉄筋2階

(7) 瀬戸市公民館協議会に関する事業

地区公民館相互の情報交換と地域課題を解決する糸口を見出す方策や指導者を養成する事業を行い、地域における公民館活動の一層の振興を図ります。

◇ 協議会役員 平成31年4月1日現在

役職名	氏名	所属
会長	加藤和守	陶原公民館
副会長	菊川照一	原山公民館
副会長	加藤英憲	山口公民館
監査	高木秋男	八幡公民館
監査	山本玉美	水南公民館

◇ 事業(平成30年度)

* 公民館グラウンドゴルフ大会

平成30年5月20日(日)

* 愛知県公民館連合会総会

平成30年6月5日(火) 東海市立文化センター

- * 中学校区指導者研修会
平成30年7月～11月
- * 瀬戸市公民館協議会研修事業
平成30年11月28日(水) 瀬戸市文化センター
「地域協働のあり方について」
- * 平成31年成人式
平成31年1月13日(日) 各地区公民館等(17会場 該当者1,337人 参加者1,071人)
- * 第3回愛知・地域づくり推進大会
平成31年1月23日(水) あま市美和文化会館
- * 瀬戸市公民館大会
平成31年2月9日(土) 瀬戸蔵つばきホール
記念講演 講師 宗次徳二氏 「助け合いこそが心と人生を豊かにする」
- * 愛知県公民館連合会 東尾張支部研究発表会
平成31年2月20日(水) 常滑市文化会館
- * 公民館長会議 年3回開催
- * 公民館長・運営委員長合同会議 年2回開催
- * 運営委員長会議 年3回開催

(8) 「大学コンソーシアムせと」による教育支援

「大学コンソーシアムせと」は、瀬戸市と近隣の大学とが連携し、市民への生涯学習の機会の提供や市民と大学との交流促進、大学と行政による地域研究などを目的に作られた組織です。

① 令和元年度 教育現場問題研修会・学習会実績

小中学校教員が教育現場で抱える問題の解決の一助となるようにと、小中学校教員を対象とした研修会・学習会を開催し加盟大学より教員を派遣しています。

内 容	担 当 大 学	開 催 場 所	実 施 日	参加教員数
発達支援研修会	常葉大学	文化センター22 会議室	8月5日	63名
	金城学院大学	文化センター22 会議室	8月8日	55名

② 令和元年度 小中学校教育現場支援実績

小中学校へ大学教員や学部生、留学生を派遣し実際の教育現場での児童・生徒の授業を支援しています。近年は、発達障害児対応の支援が増えています。

内 容	担 当 大 学	小 中 学 校 名	実 施 日
理科学習	愛知工業大学	品野台小学校	11月5日, 6日
		下品野小学校	11月11日, 12日, 18日
		道泉小学校	12月12日
		東山小学校	12月16日, 18日, 19日
	名古屋産業大学	幡山西小学校	未定

内 容	担 当 大 学	講 師 名	実 施 回 数
発達障害支援	金城学院大学	川瀬正裕教授	2回
		今村友木子教授	1回
		加藤大樹准教授	2回
		二村彩講師	2回
		永原 知佳助教	2回
	名古屋経営短期大学	木村拓磨講師	3回
	常葉大学	松瀬留美子教授	4回

③ 平成30年度講座主催実績

専門的でわかりにくいと思われがちな大学教員の研究を市民のみなさんにわかりやすく楽しく紹介し、学んでいただく講演会・講座を行いました。

内 容	参 加 人 数	開 催 日 ・ 実 施 回 数 等
カレッジ講座 『骨・軟骨の加齢変化とロコモティブシンドローム』 提供大学：名古屋学院大学 種田陽一教授	75名	9月14日(金)
カレッジ講座 『軟膏で床ずれは治るんです(褥瘡外用療法と軟膏の特性)』 提供大学：金城学院大学 野田康弘教授	56名	9月15日(土)
カレッジ講座 『近未来の英語教育』 提供大学：南山大学 浅野享三教授	28名	9月18日(火)
カレッジ講座 『相続税と対応策について』 提供大学：名古屋産業大学 富田裕平准教授	71名	9月18日(火)
カレッジ講座 『運動機能の障害と生活支援ロボット』 提供大学：愛知工業大学 香川高弘准教授	49名	10月3日(水)

VI 社 会 体 育

1 社会体育

(1) 基本方針

スポーツを通じて市民の健康保持・増進とともに、競技スポーツの競技力向上及びアマチュアスポーツの振興に努めます。市民が生涯を通じて自分に合ったスポーツに親しみ、健康づくりができるような環境の整備充実と、生涯スポーツを根底においたスポーツ人口の拡大を目指し、スポーツ活動の普及に努めています。

(2) 重点目標

- ① スポーツ・運動を「する」機会の充実
- ② スポーツを「みる」機会の創出
- ③ スポーツを「ささえる」人材の育成
- ④ スポーツ・運動施設の環境整備
- ⑤ スポーツ情報の提供

(3) スポーツ推進委員

「市民の体力づくり」「市民スポーツ事業の振興」「アマチュアスポーツの普及発展」という三つの目標に向かって、積極的にその事業の推進を図り、特にコミュニティスポーツの指導者養成及び組織づくりを中心に、個人の健康とスポーツに対する市民意識の盛り上げを図るため、関係機関・団体にアピールし、市民の健康や体力向上を期するための活動をしています。

現在30名（地区公民館・地域交流センター推薦18名、体育協会推薦10名、学識経験者2名）でその任務にあたっています。

(4) 総合型地域スポーツクラブ支援

地域住民が主体となり、誰でも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツができる、生涯スポーツ環境を実現するため、総合型地域スポーツクラブの活動支援に努めています。平成16年8月に市内で初めての総合型地域スポーツクラブである「品野スポーツクラブ」が設立されたのに続き、平成19年8月に「水野・西陵いきいきクラブ」が設立され、会員により自主運営されています。上記の2団体の支援を中心に、他の地域におけるクラブの必要性や今後の方向性についても引き続き検討していきます。

2 体育・スポーツ活動

(1) スポーツ教室

定期的にスポーツをしたい方や新たにスポーツを始めようとする方たちに機会を提供することを目的として、平成29年度は次の教室を開催しました。



競技名	開催数 (回)	参加数 (人)	競技名	開催数 (回)	参加数 (人)
ウォーキング&健康づくり	3	146	ソフトバレーボール	1	20
幼児体力づくり	3	118	バスケットボール	2	70
ソフトテニス	2	102	ミニバスケットボール	3	163
陸上競技	2	43	サッカー	1	147
剣道	2	19	テニス	3	40
卓球	2	60	バドミントン	2	31
弓道	2	29	ボウリング	1	20
柔道	4	53	少林寺拳法	2	8
スキー	2	34	ラゲビー	1	138
ソフトエアロビクス	9	593	空手道	2	22
ウォーキング	6	397	合計	55	2,253

(2) スポーツ大会

① 市民体育大会

市民体育大会は、当市のスポーツの祭典と呼べるもので、多数の市民に参加の機会をつくり、スポーツの普及と体力の増進を図り、健康で明るい市民の育成を目的に行われています。

平成30年度で69回目を迎え、5月27日（日）の総合開会式を皮切りに、23競技28大会で熱戦が繰り広げられました。



第69回市民体育大会

競技名	大会数(回)	参加数(人)	競技名	大会数(回)	参加数(人)
陸上競技	1	205	テニス	1	211
ソフトテニス	1	196	バドミントン	2	182
軟式野球	1	940	ソフトボール	1	91
剣道	1	196	クレール射撃	1	16
卓球	1	324	ボウリング	1	34
弓道	1	77	少林寺拳法	1	15
バレーボール	4	472	ラグビー	2	470
柔道	1	68	ウエイトリフティング	1	22
スキー	1	28	ビーチボール	1	118
体操	1	428	グラウンドゴルフ	1	172
バスケットボール	1	300	空手道	1	300
サッカー	1	80			
			合計	28	4,945

② 瀬戸地方近郊駅伝競走大会

本大会は昭和27年に始まり、平成30年で67回目を迎え、伝統ある広域的な大会として定着しています。第62回大会から中学生の部（男子・女子）を創設し、参加チームは年々増加する傾向にあります。

また、平成23年以降は、同日に小学生駅伝大会も開催しています。



第67回大会参加状況（平成30年12月9日実施）

男子第1部（一般）・5区間	26チーム
男子第2部（一般）・4区間	66チーム
男子第3部（高校生）・5区間	52チーム
一般女子の部・4区間	39チーム
中学生男子の部・4区間	39チーム
中学生女子の部・4区間	39チーム
合計	261チーム

< 第8回瀬戸市小学生駅伝大会 >

男子の部・4区間	37チーム
女子の部・4区間	24チーム
合計	61チーム

(3) 学校体育施設スポーツ開放

学校体育施設を学校教育に支障のない範囲内において開放することにより、広く市民にスポーツ活動の実践の機会を提供し、市民の健康保持増進と体力の向上に努めています。

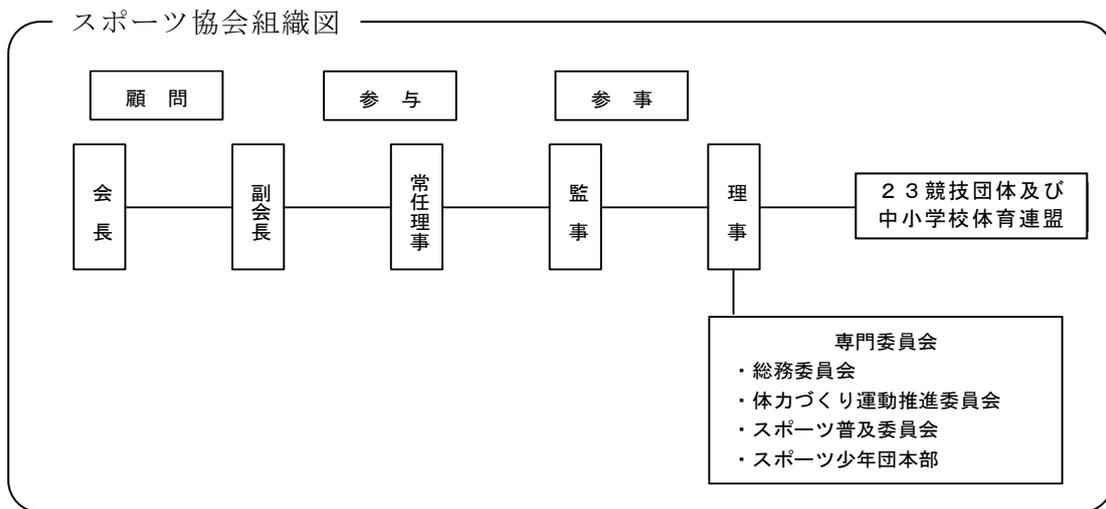
市内在住者又は在勤者により構成された登録団体が各学校体育施設を利用しています。
平成30年度の利用者数は120,961人です。

学校開放実施状況（平成31年3月現在）

	開放施設
小学校（20校）	屋内運動場、校庭
中学校（8校）	屋内運動場、柔剣道場、校庭
高等学校（1校）	校庭

(4) 社会体育団体

瀬戸市スポーツ協会（24団体 約9,300人加盟）は「市民スポーツ事業の振興」と「競技力向上、アマチュアスポーツの発展」という2つの目標に向って、積極的に各種事業の推進を図り、スポーツに対する市民意識の盛り上がりを図るため、関係機関、協会加盟団体と密接に協力して、各種のスポーツ大会を開催し、その実現を期しています。



平成30年度 瀬戸市体育協会主催(共催)大会

競技名	大会数 (回)	参加数 (人)	競技名	大会数 (回)	参加数 (人)
陸上競技	2	367	サッカー	14	3,187
ソフトテニス	13	2,797	テニス	7	930
軟式野球	22	7,640	バドミントン	5	424
剣道	3	742	ソフトボール	2	182
卓球	15	3,308	ボウリング	9	728
弓道	2	151	ウエイトリフティング	1	55
バレーボール	10	1,091	ビーチボール	2	378
スキー	1	28	グラウンドゴルフ	4	638
バスケットボール	6	1,910	合計	118	24,556

3 スポーツ施設

(1) 施設一覧

	施設名	所在	敷地面積(㎡)	建物床面積(㎡)	規模	竣工
有 料 施 設	体育館	市民公園内	4,809	5,240	第1競技場(1,575 ㎡) バスケットボール 2面 バレーボール 3面 バドミントン 8面 卓球台 14 台 体操全種目 第2競技場(440 ㎡) バレーボール 1 面 バドミントン 2 面 卓球台 10 台 トレーニングルーム(163 ㎡)	S54. 3.15
	第二体育館				1,773	競技場(910 ㎡) バスケットボール 1 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 卓球台 12 台 大鏡 トレーニングコーナー(132 ㎡)
	野球場		20,300	820	両翼 100m、センター 125m 照明施設	S45.11. 1
	陸上競技場		28,168	425	400m 単心円トラック 8 コース 3,000m 障害池	S48.10.31
	A テニスコート		5,500	129	砂入人工芝舗装 6 面 照明施設	S49.10. 1
	B テニスコート		3,177		砂入人工芝舗装 4 面	S55. 3.31
	プール		8,095	460	25m 7 コース、50m 9 コース 幼児用プール	S46. 6.20
	武道館		1,288	630	柔道場 1 面 剣道場 2 面	S47.11.10
	弓道場		2,167	272	近的(28m)10 人立 遠的(60m) 5 人立	S47.11.10
	窯神グラウンド	磁祖公園内	10,231		両翼 91m センター 100m	S55.10.20
	陶祖グラウンド	陶祖公園内	8,303		両翼 71m センター 80m	S56. 9.30
	南公園グラウンド	南公園内	12,000	22	両翼 90m センター 100m 照明施設	S62. 3.13
	北グラウンド	北スポーツ 施設内	11,500		両翼 92m、センター 105m	H4. 3.30
	北テニスコート		2,780	78	アクリル系樹脂舗装 4 面	H4.12. 7
	南ヶ丘野球場	瀬戸信用金庫 総合グラウンド内	14,271	671	両翼 95m、センター 120m	瀬戸信用金 庫から借用 し H30.6.18 から一般利 用開始
	南ヶ丘テニスコート		2,822	152	砂入人工芝舗装 4 面	
	南ヶ丘運動広場		4,581		70m×59m	
	定光寺野外活動 センター	鹿乗町地内	27,685	1,908	管理棟、屋外施設(キャンプ場・ 営火場・炊飯場)、トリム施設	S60. 7.10
	無 料 施 設	ゲートボールコート	市民公園内	824		クレイ舗装 1 面
ジョギングコース					Aコース(1.5km) Bコース(1.2km)	
オリエンテーリングコース					10ポイント	
トリムコース		東公園内			1.5km コース	
オリエンテーリングコース					8ポイント	

(2) 利用方法

2か月先までの申込みを先着順で使用許可しています。ただし、申込みの多いテニスコートと野球場の土曜・日曜及び祝日については、市内在住、在勤又は在学者により構成された登録団体からの申込みを受け、抽選で決定しています。

(3) 平成30年度スポーツ施設等利用状況

施設名		利用者数(人)	備考
市民公園	体育館	196,588	
	野球場	17,842	4月～10月ナイター使用
	陸上競技場	16,972	
	テニスコート	71,945	4月～10月ナイター使用
	プール	16,262	7月・8月使用
	武道館	29,586	
	弓道場	8,244	
	芝生広場	10,926	
窯神グラウンド		7,744	
陶祖グラウンド		6,391	
南公園グラウンド		15,899	4月～10月ナイター使用
東公園グラウンド		1,419	H30.5.14 廃止
東公園テニスコート		2,162	H30.5.14 廃止
東公園運動広場		964	H30.5.14 廃止
北グラウンド		8,213	
北テニスコート		9,671	
南ヶ丘野球場		5,103	H30.6.18 一般利用開始
南ヶ丘テニスコート		9,544	H30.6.18 一般利用開始
南ヶ丘運動広場		4,472	H30.6.18 一般利用開始
パーティセとフィットネスジム		26,314	
合計		466,261	(平成29年度利用者数 483,257人)

4 定光寺野外活動センター

青少年を中心として、みどり豊かな森での野外生活により自然と親しみ、自然を理解する機会を提供するとともに、団体生活をとおして、規律・協調・友愛・奉仕の精神を体得し、心身共に健全な成長を図ることを目的としています。

平成30年度利用状況

	団体利用			個人利用	合計
	キャンプ	デーキャンプ	その他		
利用者数	5,293人	1,613人	3,828人	3,595人	14,329人

VII 文化財保護

1 文化財保護活動

(1) 基本方針

文化財は、地域の歴史文化を物語り構成する貴重な資源です。瀬戸特有の歴史文化を大切にし、その魅力をさらに高め、有効に活用することによって、歴史と伝統のある「やきもののまち」に住む住民が、誇りと愛着を持てるまちづくりを進めていくことが重要です。瀬戸市は、瀬戸市歴史文化基本構想に基づき、千年以上のやきものの歴史の積み重ねを時代に活かし、市民とともに新たな魅力を創造します。

(2) 重点目標

- ① 文化財・文化遺産の総合的把握と、その魅力をわかりやすく提示し、市民との価値の共有化に努めます。
- ② 文化財・文化遺産を適切に保存・管理することに努めます。
- ③ 文化財・文化遺産を活用し、地域の活性化に活かしていきます。

(3) 文化財保護審議会

① 任務

審議会は、文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

② 定員及び任期

委員7名 平成29年10月1日～令和元年9月30日

文化財保護審議会委員 平成31年4月1日現在

会 長	大 塚 英 二
副 会 長	加 藤 令 吉
委 員	成 田 一 成
委 員	水 野 和 郎
委 員	北 島 み ち 子
委 員	伊 藤 京 子
委 員	上 杉 毅

(4) 文化財の指定・登録及び指定解除

① 市文化財の指定・認定(平成30年度 3件)

- ・有形文化財(建造物) 王子窯モロ(東洞町) 所有者：個人
- ・有形文化財(建造物) 陶彦社 本殿・幣殿・拝殿・築地塀(深川町) 所有者：(宗)深川神社
- ・無形民俗文化財 本地の警固祭り(坂上町) 保存団体：本地警固保存会

② 国文化財の指定・登録(平成30年度 0件)

瀬戸市域の指定文化財一覧表

令和元年7月1日現在

区	種別	指定名称	員数	所在地等	時代	指定年月日		
国指定	有形	建造物	定光寺本堂	1棟	定光寺	室町後期	大15. 4. 19	
			源敬公(徳川頼直)廟、焼香殿也	7棟	定光寺	江戸前期	昭12. 8. 25	
		工芸	陶製白犬	1軀	深川神社	鎌倉	大元 9. 3	
			太刀銘助重	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12	
			太刀銘守家	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12	
			灰釉多口瓶	1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭50. 6. 12	
			渥美灰釉芦鷺文三耳壺	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭51. 6. 5	
	陶製五輪塔	1基	愛知県陶磁美術館	平安末期	平 7. 6. 15			
	民俗	有形民俗	瀬戸の陶磁器の生産用具及び製品	3,943点	瀬戸蔵ミュージアム	江戸以降	昭49. 2. 18 昭50. 9. 22	
	記念物	史跡	瀬戸窯跡(小長曾陶器窯跡・瓶子陶器窯跡) 志段味古墳群 尾張戸神社古墳	1,510.07㎡ 4,519.72㎡ 270.34㎡	東白坂町1-1他 夙山町31番17・24 十軒町845	室町中期ま 江戸前期 古墳	昭46. 7.13・平14. 3.19 平27.10.7 平26.10.6	
県指定	有形	彫刻	木造阿彌如来立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16	
			木造十一面観音菩薩立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16	
		工芸	御深井釉木瓜形水盤	1口	瀬戸蔵ミュージアム	江戸前期	昭57. 3. 31	
			陶製牡丹文経筒外容器	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭59. 2. 27	
	猿投灰釉壺		1口	愛知県陶磁美術館	平安中期	昭59. 2. 27		
	考古資料	鉄釉巴文瓶子	1口	愛知県陶磁美術館	鎌倉末期	昭59. 2. 27		
		御深井釉草文双耳水壺	1口	瀬戸蔵ミュージアム	江戸中期	平 4. 2. 28		
猿投灰釉壺及び平瓶		各1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭59. 2. 27			
無形	工芸技術	陶芸織部・黄瀬戸	1件	保持者 加藤作助		平16. 8. 20		
民俗	有形民俗	陶製白犬コレクション	210軀	愛知県陶磁美術館	室町・大正	昭59. 3. 30		
市指定	有形	建造物	一里塚本業窯	1基	一里塚町27	昭和	昭50. 7. 21	
			直入橋	1橋	定光寺町373	江戸前期	昭58. 6. 1	
			石燈籠	1基	落合町1	江戸前期	平 4. 2. 21	
			石燈籠	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19	
			石造鳥居	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19	
			洞本業窯	1基	東町45他	昭和	平 7. 2. 13	
			石造鳥居	1基	巡問町1	江戸中期	平 8. 2. 9	
			古窯(こがま)	1基	瀬戸染付工芸館	昭和	平 9. 2. 14	
			深川神社本殿	1棟	深川神社	江戸後期	平11.11.12	
			常夜燈	1基	秋葉町100の2	江戸後期	平13. 2. 7	
			王子窯モロ	1棟	東町62	明治	平31. 3. 19	
			陶彦社 本殿・幣殿・拜殿・築地扉	4棟	深川町11(深川神社)	大正	平31. 3. 19	
			彫刻	石造阿弥陀如来坐像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1
				石造地藏菩薩立像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1
	絵画	聖徳太子絵伝	4幅	万徳寺	室町中期	平18. 2. 10		
	工芸	六角陶碑	1基	藤四郎町1	江戸末期	昭49. 4. 1		
		永享年銘梵鐘	1口	深川神社	室町中期	昭57. 3. 1		
		陶質十六羅漢塑像	16軀	宝泉寺	江戸末期	昭57. 3. 1		
		志野焼燈籠	1対	藤四郎町1	明治	平 5. 2. 19		
		織部燈籠	1基	深川神社	江戸後期	平 8. 2. 9		
		染付花書草文大燈籠	1基	瀬戸蔵ミュージアム	明治	平 9. 2. 14		
		染付花鳥蓋付大飾壺	1口	瀬戸蔵ミュージアム	明治	平10.11.20		
		古瀬戸瓶子	1対	宝泉寺	鎌倉	平17. 2. 10		
		古瀬戸瓶子	1対	赤津町85	鎌倉	平25. 3. 18		
		典籍	聖徳太子伝	5冊	万徳寺	鎌倉・室町	平18. 2. 10	
	大般若経		155巻	東菱野町59-1		平20. 9. 12		
	歴史資料	織田信長の制札	1通	窯町63	室町末期	昭53.11. 1		
		窯屋証文	1通	五位塚町11-541	江戸初期	平 9. 2. 14		
		陶製梵鐘	1口	法雲寺	昭和	平 9. 2. 14		
		祠堂帳	1巻	定光寺	室町	平11.11.12		
		笠原村・両半田川村国境争論会図	1枚	上半田川町・下半田川町	江戸前期	平16. 2. 6		
		松原広長寄進状	1点	万徳寺	江戸	平18. 2. 10		
	古文書	加藤善三郎家文書	481点	窯元町80	江戸	平 6. 2. 18		
加藤新右衛門家文書		140点	窯町63	江戸	平 6. 2. 18			
松本茂助家文書		711点	穴田町64	江戸	平13. 2. 7			
菱野郷倉文書		7780点	東菱野町59-1	江戸～昭和	平20. 9. 12			

無形	工芸技術	陶芸 黄瀬戸	1件	保持者 加藤兼平		平18. 2.10	
		陶芸 織部	1件	保持者 加藤錦三		平18. 2.10	
		陶芸 灰袖	1件	保持者 田沼春二		平19. 5.18	
		陶芸 色絵磁器	1件	保持者 林 邦佳		平19. 5.18	
		陶芸 御染井	1件	保持者 加藤吉三郎		平20. 5. 9	
		有線七宝	1件	保持者 柴田 明		平22. 6.18	
		陶芸 練り込み	1件	保持者 水野教雄		平22. 6.18	
	民俗	有形民俗	菱野のおでく	1体	東菱野町59-1	江戸～大正	平17. 2.10
			品野祇園祭の神武天皇像および従者像	3体	品野町2丁目40(全宝寺祇園堂)	昭和	平25. 3.18
		無形民俗	山口の警固祭り	1件	八幡町3 山口八幡社内	江戸	平15. 2. 7
	菱野のおでく 警固祭り		1件	東菱野町59-1	江戸	平20. 9.12	
	記念物	史跡	本地大塚古墳	1基	西本地町1-109	古墳	昭51. 5. 1
			宮地古墳群	1,542 m ²	上之山町2-171-15	古墳	平 5. 2.19
広久手第30号窯跡			15.7 m ²	吉野町320番地	平安中期	平18. 9.27	
名勝		石樋	約750 m ²	水北町1027-2		平 4. 2.21	
		目鼻石	約530 m ²	十軒町439		平 7. 2.13	
天然記念物		マルバタラヨウ	1本	中水野町1-579		平 9.11.18	
	マメナシ	1本	東松山町154		平16. 2. 6		

登録文化財

区	種別	指定名称	員数	所在地等	時代	登録年月日
国	建造物	雲興寺 鐘楼	1件	白坂町	江戸中期	平17.12.26
		瀬戸永泉教会 礼拝堂	1件	杉塚町	明治	平22. 4.28
		旧山繁商店(離れ・事務所・旧事務所・土蔵・新小屋・前倉庫・中倉庫・奥倉庫・塙)	9件	仲切町・深川町	明治～昭和	平27.11.17

平成30年度 新指定文化財 3件



市指定 陶彦社 本殿・幣殿・拝殿・築地塀 大正期



市指定 王子窯モロ 明治期



市指定 本地の警固祭り

(5) 歴史文化基本構想の推進

瀬戸市域に存在する文化財を、指定・未指定に関らず幅広く捉え、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するため、平成30年度に策定した「瀬戸市歴史文化基本構想」に基づき、活用推進事業として、ポータルサイトをスマホにも対応させ、「瀬戸ペディア」、ガラス乾板等の瀬戸市の古写真データを追加しました。ガイドマップ(赤津・水野・品野・山口)新規4コースを作成し、昨年度作成したマップの4言語(英語・韓国語・中国語(簡体・繁体))化を行いました。スマホで瀬戸市中心市街地の文化財や観光名所をめぐるARアプリ「とりっぷセトまち」を開発し、20か所の文化財等看板についてUni-Voice(QRコードの説明読み上げアプリ)対応可能としました。「瀬戸文化観光コースの設計図をつくる」として市内各地区から有志を募ってワークショップを行った。これらは、国庫補助事業で作成しました。



ARアプリ「とりっぷセトまち」

(6) 埋蔵文化財等の調査・普及啓発

① 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の文化財関係事業

ア 発掘調査事業

穴山窯跡(土砂採取工事に伴う記録保存発掘調査)

市内遺跡(落合橋南遺跡・若宮遺跡・内田町遺跡)

白坂雲興寺遺跡(市道建設に伴う緊急調査)

市内遺跡(東洞A窯跡・桂蔵窯跡(国指定史跡候補地調査)

・品野西遺跡・神川町遺跡(個人事業主集合住宅建設に伴う緊急調査))

…本発掘調査実施

…発掘調査(確認調査)実施

…本発掘調査報告書刊行

…本発掘調査報告書刊行

イ 普及啓発事業

1) 企画展

① 「新出土品展 陶祖公園は窯ざかり」平成30年4月28日～7月29日

② 「瀬戸窯の復興-黎明期の江戸時代窯業-」 展示図録「(同名)」刊行

愛知県陶磁美術館ギャラリー 平成30年9月22日～10月21日

歴史講演会「巨大都市・江戸の誕生と瀬戸美濃」

：長佐古真也氏((公財)東京都スポーツ文化財団 東京都埋蔵文化財センター)の開催

愛知県陶磁美術館 本館講堂

平成30年9月23日

2) 市内小学校への「出前講座」講師派遣6件等

幡山東・陶原・幡山西・八幡・品野台・西陵各小学校

② 国史跡瀬戸窯跡の追加指定候補等の保存目的発掘調査

広久手F窯跡の学術調査(8月)愛知学院大学による再調査を支援し見学会を8月19日開催

(7) 文化財の保存と整備

① 国指定史跡小長曾陶器窯跡管理 史跡の管理及び見学等への対応

② 国指定特別天然記念物オオサンショウウオの保護、普及啓発

○人工巣穴清掃の実施 平成30年7月2日

○夜間観察会の実施 平成30年8月18日・25日、9月1日

③ 市指定天然記念物マメナシの環境保全事業



オオサンショウウオ人工巣穴清掃(平成30年7月2日)

天然記念物指定木について、自家受粉できないこの樹種の環境保全のため、指定木近接樹の種実・若芽を採取し接ぎ木等を次年度以降行う準備をしました。

④ 国登録文化財旧山繁商店の保存活用

9棟の建造物について、長期的な将来整備と中短期的な暫定活用の両面で保存活用方針を検討

⑤ 市指定文化財 洞本業窯保存修理事業への市補助金交付

9月4日の台風21号により、窯炉を覆っているトタン葺屋根が飛散し、雨晒しの状況となったため、所有者の実施する覆屋葺き直し工事に対して市文化財保存事業補助金を交付しました。



洞本業窯保存修理(台風被害直後修理前状況)
(窯最上部を覆うトタン屋根がなくなり、
煙出(コクド)部分のトタンも飛散しかかる)

(8) 文化財の普及啓発

① 広報せとに「瀬戸の文化財」掲載(毎月1日号)

② 文化財見学会

国庫補助事業の一環として「せと歴」(せと 歴史と文化財を知る見学会)の実施

「まちめぐり 洞地区」 (平成30年5月19日)

「広久手窯跡群の発掘調査見学会」 (平成30年8月19日)

「せともの祭における旧山繁商店特別公開」 (平成30年9月8・9日)

「まちなかの歴史的建造物を巡るツアー」 (平成30年11月24日)

「日本遺産・赤津の古窯と古刹を巡るツアー」 (平成30年12月9日)

「瀬戸の古墳Ⅰ 塚原古墳群を歩く」 (平成31年1月19日)

「瀬戸の古墳Ⅱ 東谷山と水野の古墳を歩く」 (平成31年3月9日)

計7回開催 のべ285名の参加者。

資料

1 沿 革

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 20	1945	8. 7	図書館（蔵所町1）開館		
S. 26	1951			5. 一	水野村編入
S. 27	1952	4. 1 6. 16 7. 23 10. 5 11. 1	戦後っ子初の入学式 中央公民館（深川小校舎改造） 設立、図書館を移転し併設開館 南山中学校校舎2棟焼失 県・市教育委員選挙 瀬戸市教育委員会発足（庶務課長 山田栄教育長代行）	4. 16 3. 一	瀬戸市保健所竣工 水北保育園開園
28	1953	1. 3 1. 一 1. 一 7. 一	初代教育長 伊藤一雄就任 各小学校区に地区公民館を設置 成人式開催（旧成人祭を改称） 深川小学校 プール竣工	2. 一 4. 28 7. 一 8. 15 11. 16	赤津保育園開園 上品野町で大火 13軒全焼、4軒 半焼 上品野保育園開園 水南保育園苗場町開園 瀬戸医師会が当直制を開始
29	1954			4. 1 6. 一 7. 1 8. 13	市営公益質屋開業 幡山東・幡山西保育園開園 瀬戸市及び品野町自治警を廃 し、国家地方警察として再発 瀬戸青年会議所できる
30	1955			2. 11 5. 28 9. 29	幡山村合併（合併時幡山村人口 5,313人、戸数1,044戸） 八王子保育園開園 瀬戸市青少年問題協議会発足
31	1956	6. 一 10. 1	陶原小学校に瀬戸教科書センタ ー設置 教育委員任命制により発足	6. 1 9. 一	瀬戸市青年団体協議会結成 古瀬戸保育園開園
32	1957	3. 12 6. 1	市史編さん委員委嘱 第2代教育長 相原邦雄就任	8. 8 11. 1	泉町に集中豪雨による山崩れ発 生 22名死亡、品野町にも被害 市役所庁舎蔵所町から現在地へ 移転竣工
33	1958			8. 10	第1回瀬戸市青年大会
34	1959	1. 16 8. 4 9. 1	下半田川の「木造阿彌陀如来立 像、十一面観音菩薩立像」を県文 化財に指定 瀬戸市立小学校管理規則施行 水無瀬中学校で市内中学校最初 の校舎、鉄筋化が始まる	4. 1 9. 26 10. 1 10. 10	品野町合併（合併時品野人口 9,313人、戸数1,809戸） 伊勢湾台風 市制30周年 市民会館竣工
35	1960	4. 1 5. 一 7. 15	陶原小学校に特殊学級（2学級） 設置 雪の聖母修道院・幼稚園創立開園 （私立） 市営共栄プール竣工		
36	1961	3. 31	義務教育諸学校の教科用図書の 無償に関する法律公布	2. 3	北保育園に市内はじめての鉄筋 園舎竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 36	1961	4. 1	小学校、新学習指導要領に基づく教育実施	7. 1 12. 6	小児マヒ予防生ワク第一回投与 国鉄岡多線起工式
37	1962	4. 1	中学校、新学習指導要領に基づく教育実施	1. 15 10. 25 12. 20	愛知用水利用の県営水道から市営水道が受水開始 消防庁舎竣工（末広町1） 瀬戸市開発公社許可
38	1963	3. 22 4. 1 9. 3	道泉小学校の小学校初の全鉄筋化校舎竣工 聖カピタニオ女子高等学校開校 市内各中学校でミルク給食開始	5. 1 8. 31	加藤繁太郎市長就任 勤労会館竣工
39	1964	4. 1 7. 14 12. 8	教科用図書無料給付開始 幡山中学校に中学校初のプール竣工 瀬戸文化財保存会発足	4. 1 6. 20 10. 1	瀬戸歯科医師会当直制を開始 瀬戸准看護婦学校校舎竣工 こうはん保育園開園
40	1965	4. 1 10. 1	瀬戸ひなご幼稚園開園（私立） 祖母懐小学校、祖母懐町から移転改築	5. 5	瀬戸市社会福祉会館竣工
41	1966	3. 27 4. 1 7. 10	祖母懐公民館全焼 長根小学校創立開校 図書館、東大演習林学生宿舎を改築し現在地へ移転	12. 一	清掃センター竣工
42	1967	4. 一 6. 20	名古屋学院大学瀬戸学舎新築、教養部移転（S. 43. 4 全学移転） 「瀬戸市史陶磁史篇三」刊行	5. 24 12. 7	商工会館竣工 市営上水道赤津浄水場竣工
43	1968	3. 30 10. 1	マリア幼稚園開園（私立） 第3代教育長 松浦正雄就任	1. 8	市営水野団地分譲受付開始（さつき台）
44	1969	3. 31 8. 15 9. 一 9. 1	中央公民館宮脇町に新築移転 「瀬戸市史陶磁史篇一」刊行 陶原小学校、熊野町から移転改築 図書館起工式	5. 24 10. 1	市の木に「くろがねもち」を選定 市営上水道白岩浄水場竣工 市制40周年
45	1970	3. 31 4. 1 6. 17 10. 1 11. 1	図書館移転改築 原山小学校創立開校 真貴幼稚園開園（私立） 私立聖霊学園（中・高・短）名古屋より現地へ移転 図書館（東松山町1-2）開館 瀬戸市スポーツ施設条例施行 市民公園野球場、バレーボールコート竣工	3. 27 4. 1 8. 13	県営菱野団地入居開始（原山台） 八王子保育園を今村保育園に改称し移転改築 瀬戸市青少年育成市民会館発足
46	1971	1. 19 2. 一 4. 1 5. 11 6. 3	南山中学校に中学校初の屋内運動場竣工 品野中学校、品野町から移転改築 教育委員会事務局に体育課設置 瀬戸市学校給食センター条例施行 第一学校給食センター竣工 交通児童遊園（市民公園内）オープン 「自動車文庫せと号」巡回始まる	2. 1 4. 7 4. 8 10. 20	瀬戸市窯業技術センター竣工 窯業専修職業訓練校（現県立窯業高等技術専門学校）尾張旭市より移転竣工 瀬戸警察署新庁舎竣工 市内で初の大気汚染測定局陶原町5丁目に竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 46	1971	6. 14 6. 20 7. 13 10. 8	全中学校で学校給食始まる 市民公園プール竣工 小長曾陶器窯跡（東白坂町）が国の文化財に指定 長根小学校に小学校初の屋内運動場竣工		
47	1972	4. 1 8. 1 11. 10	東山小学校創立開校 宿日直制度廃止（学校無人化） 市民公園武道館、弓道場竣工	4. 1 8. 5 9. 1 9. 26	上品野保育園を品野東保育園に改称し移転改築 東海自然歩道足助～定光寺間オープン 下品野保育園を品野西保育園に改称 新消防庁舎竣工（苗場町） 市役所増築工事竣工 人口 10 万人突破（県下 8 番目）
48	1973	4. 1 5. 28 10. 31	萩山小学校・光陵中学校創立開校 菱野幼稚園開園（私立） 品野東公民館竣工 市民公園陸上競技場竣工	4. 1 6. 1 9. 29 10. 1 12. 21	みずの保育園開園 勤労青少年ホームオープン 瀬戸市少年センター発足 瀬戸市基本構想議決 ふたば保育園開園（市内で初の乳児保育） 市営宮川駐車場竣工
49	1974	2. 18 3. 30 4. 1 5. 26 5. 29 8. 1 9. 1 10. 1	「瀬戸の陶磁器の生産用具および製品 3,943 点」が国の重要民俗資料に指定 西陵公民館竣工 教育委員会事務局に教育次長を置く 瀬戸南高等学校開校（瀬戸窯業高等学校定時制から分離併置独立校となる） 瀬戸公園の六角陶碑（陶祖碑）を市の文化財に指定（第 1 号） 幡山東小学校、山口字田中から移転改築 品野公民館竣工 瀬戸市立視聴覚ライブラリー設置条例施行 八幡小学校創立開校 市民公園テニスコート（南）竣工	3. 1 4. 1 5. 12 5. 29 8. 28 12. 3	瀬戸市土地開発公社発足 瀬戸旭准看護学院創立開校 原山・こうはん南保育園開園 老人憩いの家オープン 蛇ヶ洞浄水場竣工 品野支所新庁舎竣工 晴丘センター竣工 県労働者研修センター竣工
50	1975	2. 27 4. 1	道泉公民館竣工 西陵小学校創立開校 はちまん幼稚園開園（私立） 上品野小学校を品野台小学校と校名変更し移転改築 第二学校給食センター竣工 水野小・水南小・東山小・西陵小・水無瀬中・南山中の 6 校へ配送	11. 17	瀬戸郵便局新局舎竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 50	1975	7. 21 10. 15	幡山東小・品野台小は第一学校給食センター校となる 一里塚町の「本業窯」を市の文化財に指定 瀬戸市歴史民俗資料館竣工		
51	1976	5. 1 9. 10	西本地町の「本地大塚古墳」を市の文化財に指定 瀬戸市学校体育施設スポーツ開放に関する規則施行	4. 1 4. 9 5. 5 5. 6 6. 1	ぼっぼ・萩山保育園開園 のぞみ学園開園 瀬戸市友好訪中団中国訪問 自然児童遊園（ねむの森）オープン 瀬戸市西部コミュニティセンター利用開始 公共職業安定所新庁舎竣工
52	1977	3. 23 3. 30 4. 1 11. 3	長根公民館竣工 第4代教育長 加藤朋也就任 教育委員会事務局に学校給食課を設置 瀬戸幼稚園開園（私立） 水野公民館竣工 下品野小学校単独給食開始 下品野小学校（中規模校）昭和52年度学校保健特別優秀賞を受賞し、健康日本一となる	3. 30 3. 31 4. 1 10. 10	水野支所新庁舎竣工 幡山、水野、品野の農協合併し瀬戸市農業協同組合となる ひかり保育園開園 第1回せと市民祭
53	1978	3. 一 4. 1 11. 1 12. 11	本山中学校、西印所町から移転改築 県立瀬戸西高等学校創立開校 水南小学校単独給食開始 「信長の制札」を市の文化財に指定（第4号） 幡山公民館竣工	4. 1 4. 19 6. 1 8. 20 12. 11	八幡保育園開園 第2次瀬戸市友好訪中団中国訪問 県陶磁資料館南館オープン 名鉄瀬戸線栄乗入れ 幡山支所新庁舎竣工
54	1979	3. 15 4. 1 4. 27 5. 2 7. 一 12. 15	瀬戸市体育館竣工 市学校事務員、学校より引きあげ始まる メールカー運行開始 水南公民館竣工 市民公園野球場ナイター設備使用開始 4つの小学校でプール完成（下品野、陶原、道泉、幡山東） 東明小学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート（南）夜間照明竣工	— 4. 1 5. 21 10. 1 10. 9	国際児童年 品野南保育園開園 市の花に「つばき」を選定 市制50周年、市民憲章制定タイムカプセルの埋設 記念誌「瀬戸」刊行 景德鎮市陶瓷友好訪問団来瀬
55	1980	3. 31 4. 1	幡山中学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート（北）竣工 第5代教育長 加藤春夫就任 水野中学校創立開校 古瀬戸・山口公民館竣工	4. 1 6. 26	幡山南保育園開園 赤十字希望の家にベトナム難民入所

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 55	1980	4. 1 10. 20	自動車文庫「せと号」2世が瀬戸ライオンズクラブより寄贈される（外架式書架2,000冊） 水野小学校単独給食開始 窯神グラウンド竣工		
56	1981	3. 一 3. 31 4. 1 5. 1 9. 30 10. 21	東明・效範公民館竣工 「瀬戸市史陶磁史篇二」刊行 学校教育課・社会教育課に専任課長配置、社会教育課を中央公民館へ移す 幡山東小学校単独給食開始 学校給食に週2回米飯をとり入れる 陶祖グラウンド竣工 掛川小学校移転用地の造成工事起工	—	国際障害者年
57	1982	1. 12 4. 1	祖母懐公民館竣工 西陵小学校単独給食開始	3. 20 10. 4	品野西保育園新園舎竣工 文化センターオープン
58	1983	3. 20 3. 24 3. 26 4. 1 6. 1 8. 一	瀬戸市第二体育館竣工 深川公民館竣工 掛川小学校移転改築 学校教育課に指導主事3名配置 定光寺の「直入橋」を市の文化財に指定 県民大学中央講座（8月13日～9月10日市民会館）	3. 30 8. 1 11. 15	古瀬戸保育園改築 全国高校総体愛知県で開催 シルバー人材センター設立
59	1984	3. 14 3. 30 4. 1 5. 11 5. 20 12. 21	東公園グラウンド竣工 加藤作助氏の「陶芸・織部、黄瀬戸、御深井焼」が県の文化財に指定 県立瀬戸北高等学校開校 下半田川町に本市初の周辺地区小規模集会所竣工 陶原小学校、昭和58年度全日本学校環境緑化コンクール特選（文部大臣賞）を受賞し、緑化日本一となる 東公園に全天候型テニスコート竣工	— 6. 18 11. 3 12. 20	国際婦人年 尾張東地方卸売市場開場 県陶磁資料館で上海博物館所蔵「中国歴代陶磁展」開催 「第3次瀬戸市総合計画基本構想」議決
60	1985	3. 1 3. 5 5. 1	「瀬戸市史資料編一 村絵図」刊行 幡山中学校に初の柔剣道場竣工 原山公民館竣工 瀬戸南高等学校を廃止し瀬戸窯業高等学校定時制となる 片草町の「石造薬師如来坐像・石造地藏菩薩立像」を市の文化財に指定	— 9. 18 11. 28 12. 23	国際青年年 陶生病院改築高層病棟完成 瀬戸少年院全面改築 市議会議員定数削減条例（36人→30人）可決

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 60	1985		掛川小学校プール竣工（市内全小学校にプール設置となる） 定光寺野外活動センター竣工 第1回瀬戸国際青年交流会		
61	1986	1. 10 2. 19 3. 15 3. 15 4. 1 9. 25 10. 9	道泉小学校に屋内運動場竣工 祖東中学校・南山中学校に柔剣道場竣工 萩山公民館竣工 「瀬戸市史資料編二 自然」刊行 教育相談室開設 定光寺野外活動センター市民憲章碑竣工 市民公園陸上競技場に炬火台竣工	— 3. 25 5. 10 9. 5 12. 2	国際平和年 養護老人ホーム「陶寿荘」全面改築 瀬戸市文化協会設立 陶生病院外来棟完成 第3セクター愛知環状鉄道株式会社設置 県陶磁器工業共同組合の技術技能研修センター竣工
62	1987	1. 14 3. 13 3. 24 3. 27 4. 1 4. 18 5. 7 7. 11 11. 3	掛川小学校に屋内運動場竣工（市内全小中学校に屋内運動場設置となる） 南公園グラウンド竣工（ナイター施設完備） 八幡公民館竣工 水無瀬中学校・本山中学校に柔剣道場竣工 図書館電算システム稼働 加藤英一氏の「陶芸・掻き落とし技法」、栗木伎茶夫氏の「陶芸・赤絵技法」、水野双鶴氏の「陶芸・練り込み技法」を市の文化財に指定 定光寺野外活動センターにトリム施設竣工 市民公園に噴水広場竣工 万葉歌碑が図書館の前庭に建立	— 2. 23 5. 1 10. 4	国際居住年 瀬戸市施設管理協会設立 井上博通市長就任 陶生病院全面改築完成
63	1988	3. 2 4. 1 4. 20 10. 1	水野中学校柔剣道場・プール竣工 公民館事務協力員を18館に配置 視聴覚ライブラリーが中央公民館より図書館に移転併設される地区公民館18館において、図書館の貸出始まる 下品野公民館竣工 私立高等学校授業料補助始まる	1. 31 2. 17 7. 28 10. 1	愛知環状鉄道開業 瀬戸市クリーンセンター竣工 瀬戸市活性化ビジョン「瀬戸・いきいきビジョン21」策定 市のシンボルマーク・ロゴタイプ選定
64	1989			1. 7	昭和天皇崩御
H. 元	1989	1. 10 1. 31 3. 29 4. 1 4. 11 7. 10	道泉・東明小学校で給食に強化磁器食器使用の試行開始 埋蔵文化財収蔵施設竣工 品野中学校柔剣道場・特別教室竣工 事務局に文化財課を新設 南山中学校プール竣工 水無瀬中学校プール竣工	1. 8 4. 26 8. 1 10. 1 10. 14	元号を平成と改元 中小企業大学校瀬戸校が開校 八幡池魚つり場オープン 市制60周年 消防署東分署（品野町1丁目）完成

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 元	1989	8. 1	外国人英語指導助手招致 (ジェニファー・ニカーソン)		
2	1990	3. 29 3. 31 4. 1 4. 8 6. 29 6. 30 8. 1 9. 1 11. 30	光陵中学校柔剣道場・プール竣工 「瀬戸のことば」刊行 第6代教育長 加藤浩松就任 自動車文庫「せと号」3世が瀬戸 ライオンズクラブより寄贈され る(内外書架式2,500冊) 三国高原集会所竣工 祖東中学校プール竣工 品野中学校プール竣工 外国人英語指導助手招致 (ポール・マッカーシー) 古瀬戸小・下品野小で給食に強化 陶磁器食器を導入 品野中学校コンピュータ室設置	3. 3 4. 2 4. 18 5. 11	消防緊急情報システム稼働 総合行政情報システム(SERA)稼 働 高齢者生きがい活動施設完成 尾張東部衛生組合(晴丘センタ ー)の粗大ゴミ処理施設稼働
3	1991	1. 25 1. 28 3. 25 4. 1 5. 24 8. 1 9. 1 9. 9 9. 21 10. 25 11. 1	加藤舜陶氏の「陶芸・灰釉技法」 を市の文化財に指定 瀬戸生涯学習基本構想策定調査 委員会設置 「瀬戸市近世文書集 第1集」刊 行 事務局に国体準備室を新設 定光寺町民会館竣工 外国人英語指導助手招致 (ローナ・ドゥーハースト) (バンクス・キャメロン) 陶原小・祖母懐小・水南小で給食 に強化磁器食器を導入 水無瀬中学校・南山中学校・本山 中学校コンピュータ室整備 臨時学校休業日を設定 「瀬戸市近世文書集 第2集」刊 行 深川公民館増築	2. 13 2. 27 3. 5 3. 19 7. 20 9. 20	瀬戸川文化プロムナードシンポ ジウム開催 赤重集会所完成 消防署南分署(南山口町)完成 今村橋開通 川端歩道橋完成 市のイメージソング「夢ひと つ・愛ひとつ」発表
4	1992	2. 21 2. 28 3. 27 3. 30 3. 31 . 1 6. —	落合町の神明社「石燈籠」・水北 町地内の「石樋」、市の文化財に 指定 定光寺の「御深井釉唐草文双耳水 甕」が県の文化財に指定 効範公民館増築 北グラウンド完成 「瀬戸市近世文書集 第3集」刊 行 財団法人 瀬戸市埋蔵文化財セ ンター発足(白山町1-46) 瀬戸市生涯学習基本構想策定	3. 31 4. 1 4. 8 4. 15 7. 24 9. 18 10. 1 10. 31	晴丘センターの新ごみ処理施設 が完成 観光協会移転(栄町から山脇町) インフォメーションセンター完 成 交通安全都市宣言 山脇橋架け替え 六古窯サミット開催 住民記録管理システム稼働 公立瀬戸旭看護専門学校校舎が 完成

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 4	1992	7. 29 9. 1 9. 12 10. 6	外国人英語指導助手招致 (モーリス・リチャード) 深川小・水野小・幡山東小学校で 給食に強化磁器食器を導入 学校5日制がスタート(第2土曜 日学校休業日) 祖東中学校・光陵中学校・水野中 学校コンピュータ室整備		
5	1993	2. 10 2. 19 2. 20 3. 11 7. 19 9. 1 9. 4 9. 5 9. 30 10. 8 10. 15 11. 19 ~11. 21 12. 20 12. 22	「瀬戸市近世文書集 第4集」刊 行 八幡町の八幡神社「石燈籠」・「石 造鳥居」、藤四郎町の「志野焼燈 籠」、上之山町の「宮地古墳群」 を市の文化財に指定 瀬戸市民生涯学習フォーラム '93 開催 幡山中学校校舎増築竣工(コンピ ュータ室含む) 外国人英語指導助手招致 (フッド・クリストファー) 效範小・幡山西小・長根小・西陵 小で給食に強化磁器食器を導入 歴史民俗資料館展示室改修 光陵中学校図書館を開放 「瀬戸市史陶磁史篇四」刊行 水無瀬中学校ギャラリー整備 下品野小学校和室ランチルーム 整備 東明小学校校舎大規模改造工事 わかしゃち国体(リハーサル大 会) 「瀬戸市史陶磁史篇五」刊行 水野公民館増築	4. 1 4. 21 7. 10 9. 11 11. 1	文化振興課を新設 福祉保健センター(やすらぎ会 館)オープン 週休2日制スタート 市民サービスセンターオープン 新京橋・追分橋完成
6	1994	2. 18 2. 24 3. 18 3. 30 4. 一 5. 14 5. 23 7. 14	古文書を市の文化財に指定(加藤 唐三郎家、加藤新右衛門家) 「瀬戸市史陶磁史篇4・5」刊行 生涯学習市民講師リスト発行 市指定無形文化財保持者「陶芸・ 灰釉技法」の加藤舜陶氏が県無形 文化財「陶芸・灰釉系技法」保持 者に認定 「瀬戸市近世文書集 第5集」 刊行 公民館生涯学習委託事業開始 水野小学校図書館を開放 余裕教室等活用検討委員会設置 幡山中学校プール竣工	3. 25 4. 1 6. 14 9. 14	第4次瀬戸市総合計画基本構 想」議決 個人情報保護制度発足 21世紀万国博覧会基本構想まと まる 景德鎮陶瓷展開催

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 6	1994	7. 18 7. 27 8. 1 8. 31 9. 30 10. 30 ～11. 2 12. 1 12. 18	生涯学習推進連絡調整会議設置 外国人英語指導助手招致 (スチーブン・チャンピオン) (マヒュー・パー) 図書館と県図書館とのオンライン稼働 中学校(2校)管理諸室空調設備整備 祖東中学校校舎大規模改造工事 わかしゃち国体開催 (ウエイトリフティング) 品野台小学校移転建設事業 基本設計業務委託 国際家族年講演会開催	11. 一	瀬戸市健康の道完成
7	1995	2. 13 3. 4 3. 21 4. 1 6. 15 6. 30 9. 29	東洞町の「洞本業窯」、加藤靖彦氏(陶芸・瀬戸染付技法)、水野川の「目鼻石」を市の文化財に指定 '95せと女性のつどい開催 子ども名作シアター開催 学校5日制(第2・4土曜日学校休業日) 原山小・東山小単独給食開始 同時に強化磁器食器を導入 愛知県陶磁資料館収蔵「陶製五輪塔」国の重要文化財に指定 中学校(6校)管理諸室空調設備整備 品野台小学校移転建設事業実施 設計業務委託	1. 17	阪神・淡路大震災発生
8	1996	2. 一 2. 9 3. 1 3. 2 3. 31 4. 1 4. 15 7. 4 7. 27	SETOウィンディ vol.1 発行 (市民向け女性問題啓発冊子) 巡間町大目神社の「石造鳥居」 深川神社の「織部燈籠」を市の文化財に指定 図書館50年誌発刊 '96せと女性のつどい開催 「近世の瀬戸」刊行 第二学校給食センターを第一学校給食センターに統合 第二学校給食センターを8・9年度2か年継続事業で増改築 萩山小・八幡小単独給食開始 同時に強化磁器食器を導入 水無瀬中学校校舎大規模改造設計委託 小学校(5校)管理諸室空調設備整備 外国人英語指導助手招致 (ペッツ・マヒュー)	1. 一 5. 18 10. 11	市庁舎5・6階増築 瀬戸市斎苑完成 景徳鎮市と友好提携

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 8	1996	8. 8 ～8. 22 10. 11 12. 13 12. 25	中学生国際交流事業 (ニュージーランド中学生派遣) 図書館コンピューターシステム 更新(第2次) 瀬戸市立小・中学校通学区域問題 検討委員会設置 品野台小学校移転建設(敷地造 成)工事着工		
9	1997	2. 一 2. 14 3. 1 4. 1 5. 8 5. 22 6. 19 6. 30 7. 30 8. 10 ～8. 18 9. 27 ～10. 6 11. 18	SETOウィンディ vol.2 発行 (市民向け女性問題啓発冊子) 西郷町の「古窯」、歴史民俗資料 館収蔵「染付花唐草文大燈籠」、 五位塚町加藤糸美家の「窯屋証 文」、深川町法雲寺の「陶製梵鐘」 を市の文化財に指定 '97せと女性のつどい開催 外国人英語指導助手招致 (スティーブン・ウォール) 東山小学校プール等建設工事設 計業務委託 水無瀬中学校校舎大規模改造工 事着工 小学校(5校)プール温水シャワ ー改修工事 小学校(5校)管理諸室空調設備 整備 外国人英語指導助手招致 (カルバー・アニカ) (シード・カレン) 中学生国際交流事業 (中国景德鎮市他派遣) 中学生国際交流事業 (ニュージーランド中学生受け 入れ) 加藤鈔氏の「陶芸・鉄釉技法」、 三社大明神社の「マルバタラヨ ウ」を市の文化財に指定	4. 一 4. 23 6. 12	やすらぎ会館増設 瀬戸市国際センター設立 2005年国際博覧会瀬戸市開催決 定
10	1998	2. 1 2. 28 3. 一 3. 30 3. 30 4. 一 4. 1	陶原・道泉・水野小学校にコンピ ュータ教室整備 '98せと女性のつどい開催 SETOウィンディ vol.3 発行 「瀬戸市近世文書集 第6集」 刊行 「瀬戸市史陶磁史篇6」刊行 学校給食センター完成(日の出町 34番地の2) センター校全校強化磁器食器を 導入 学校教育課に指導主事4名配置	4. 20 5. 28 ～5. 31 6. 一 10. 28	名誉市民に長江禄彌氏(彫刻家 で日本芸術員会員) 世界グラスアートの祭典開催 「緑の基本計画」策定 「新行政改革実施計画」策定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 10	1998	4. 1 6. — 7. 3 ～7. 6 7. 29 8. 6 ～8. 17 9. — 10. — 11. 20	「瀬戸市史通史篇」編さん開始 小学校（4校）プール温水シャワー改修工事 小学校（4校）管理諸室空調設備整備 中学生国際交流事業 （中国景德鎮市中学生受入） 外国人英語指導助手招致 （イアン・ウォーカー） （ウィンクリー・キャサリン） 中学生国際交流事業 （ニュージーランドへ中学生派遣） 図書館情報化・活性化推進モデル地域として指定 心の教室相談員配置 加藤伸也氏「陶芸織部・黄瀬戸」、歴史民俗資料館収蔵「染付花鳥図蓋付大飾壺」を市の文化財に指定		
11	1999	2. 1 2. 26 3. 6 3. — 3. 24 4. — 4. 1 4. 2 6. — 6. 1 8. 7 ～ 8. 16	下品野小学校にコンピュータ教室整備 瀬戸市立小・中学校通学区域問題検討委員会を瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会に改称 長根公民館増築 '99せと女性のつどい開催 SETOウィンディ VOL. 4 発行 品野台小学校、上品野町内で移転改築。市内で初めて、壁の仕切がないオープンスクールを導入 学校給食課の事務を給食センターに移管 課を廃止 オアシスメイト配置 創造的人材育成事業 ふるさと文化伝承事業 日本語指導者派遣事業開始 教育委員会事務局教育次長の職名を教育部長に変更 品野台小学校単独給食開始 第7代教育長 大澤義洋就任 小学校（2校）プール温水シャワー改修工事 小学校（3校）管理諸室空調設備整備 品野台小学校にコンピュータ教室整備 中学生国際交流事業 （中国景德鎮市他へ16名の中学生派遣）	4. 1 5. 1 5. 28 9. 30 10. 1 12. 6	尾張旭、豊明、瀬戸、愛知東郷、日進、長久手の農協が合併し、あいち尾東農業協同組合となる 増岡錦也市長就任 新世紀工芸館「土夢創舎（トムソーヤ）」がオープン 陶生病院南棟増築工事完成 市政70周年 戸籍電算化事業（運用開始）

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 11	1999	9. 29 ～10. 3 10. 1 11. 12 11. ー	中学生国際交流事業 (ニュージーランドから中学生受け入れ) ジョンさんと森の生活体験実施 定光寺の「祠堂帳」、深川神社の「深川神社本殿」を市の文化財に指定 マルチメディア活用学校間連携推進事業の地域として指定		
12	2000	2. 1 3. 25 3. 4 3. ー 3. 31 4. ー 4. 15 6. ー 6. ー 7. 1 8. 1 8. 3 10. 1 10. ー 11. 1 11. 21	特殊教育推進協議会研究発表会 (愛知県教育委員会特殊教育推進地区指定) 小学校(9校)にコンピュータ教室整備 2000せと女性のつどい開催 SETOウィンディVOL.5発行 中学校(8校)にコンピュータ教室整備(更新) 「瀬戸市近世文書集 第7集・尾張藩山林支配と林奉行所」刊行 特色ある学校づくり事業開始 瀬戸市マルチメディア伝承工芸館—瀬戸染付研修所—開館 小学校2校プール温水シャワー設置 小学校3校管理諸室空調設備整備 中学生国際交流事業(中国景徳鎮市の中学生受け入れ) 学校給食センター調理業務委託実施 中学生国際交流事業(ニュージーランドへ16名派遣) 小中学校14校警備業務委託開始 小学校(6校)にコンピュータ教室整備 市民学びセミナー開始 小中学校コンピュータ教室インターネット接続 男女共同参画に関する市民意識調査 加藤鈔氏の「陶芸・鉄釉技法」県の文化財に指定	6. ー 7. ー 10. 1 12. 15	「瀬戸市環境基本計画」策定 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 (仮称)「瀬戸市やきもの博物館基本構想」策定 第17回国勢調査 2005年国際博覧会登録承認される

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 13	2001	1. 5	図書館BDS（図書盗難防止装置）導入 図書館コンピュータシステム更新（第3次）	2. 28	環境ISO14001取得
		2. 1	図書館ホームページ開設 同インターネット予約受付開始	3. ー	「第4次瀬戸市総合計画改訂基本計画」策定
		2. 7	秋葉神社の「常夜燈」と「松本茂助家文書」を市の文化財に指定	3. ー	「瀬戸市児童育成計画」策定
		2. 22	瀬戸市立小学校適正配置等協議会設置（平成13年に8回開催）	4. 1	瀬戸市情報公開条例施行
		3. 3	生涯学習フォーラム2001	4. 14	尾張瀬戸駅新駅舎完成
		～4	2001女性のつどい開催	6. 23	EXPO市民サロンオープン
		3. 31	「瀬戸市史民俗調査報告書一幡山・今村地区」刊行	6. 26	瀬戸市行政経営委員会発足
		3. ー	SETOウィンディVOL.6発行	6. 30	瀬戸市地域イントラネット開通
		4. ー	特色ある学校づくり事業	7. 23	地上デジタル放送タワー誘致決定
		4. ー	学校評議員調査研究事業開始	7. 29	第19回参議院議員通常選挙
		4. 1	社会教育課を生涯学習課に改称	9. 1	無風庵の改築完成
		5. 1	小中学校(14校)警備業務委託開始	9. 11	アメリカ同時多発テロ発生
		6. ー	小中学校(4校)プール温水シャワー設置	10. 26	総務省テレトピア構想モデル地域に指定
		8. ー	図書館集会室増築	12. 3	2005年日本国際博覧会基本計画発表
		8. 5	中学生国際交流事業（中国へ16名派遣、ニュージーランドの中学生受け入れ）		
		10. 31	原山小学校校舎大規模改造完成		
		10. 25	瀬戸の教育を創造する市民会議設置（平成13年に2回開催）		
		11. ー	生涯学習課ホームページ開設		
14	2002	1. 15	第9回瀬戸市立小学校適正配置等協議会開催（平成14年に4回開催）	2. 18	瀬戸市行政経営委員会答申
		1. 18	せとドリーム事業「宇宙飛行士毛利さんと夢を語る会」開催（宇宙飛行士毛利衛さん、角野直子さんが、子どもたちと宇宙の夢を語る）	2. 26	尾張瀬戸駅再開発ビル基本設計発表
		1. 29	第3回瀬戸の教育を創造する市民会議開催（平成14年に6回開催予定）	3. ー	陶の路「暮らしっくストリート」「小狭間坂」完成
		3. 2	2002せと女性のつどい開催	3. 31	北丘最終処分場完成
		3. ー	SETOウィンディVOL.7発行	4. ー	完全学校週5日制が始まる
		ー	市内各所でIT講習会を開催（H13.4～14.2）市民約4,000人が受講		「瀬戸市行政経営導入計画」策定
		3. ー	山口公民館増築		「瀬戸市デジタルリサーチパーク整備計画」素案発表
		4. 1	学校給食配膳業務一部民間委託化（1小学校・6中学校を委託		「瀬戸市地域情報化計画」策定
				3. ー	「瀬戸市母子保健計画」改訂版策定
				3. ー	「瀬戸市男女共同参画プラン」策定
				4. ー	陶祖公園「竹露庵」改築オープン
				6. 6	「瀬戸テレビ放送所（仮称）起工式

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 14	2002	5. 一 7. 一 7. 一 8. 30 10. 一 12. 一	瀬戸市男女共同参画プラン策定 「市立小学校適正配置等協議会」より答申 教育アンケート実施（対象：市民・児童・生徒・教職員） 「瀬戸市史民俗調査報告書二 水野掛川地区」刊行 水野中学校運動場の夜間照明の完成によりスポーツ開放を開始 絵本を通して親子のふれあいを深めるブックスタート運動開始	7. 4 8. 5 9. 30 10. 12 10. 12 10. 17 12. 一	「瀬戸市市民活動促進基本施策」策定 住民基本台帳ネットワークシステム一部稼働 市民会館閉館 瀬戸市・リモージュ市産業交流使節団訪仏 第26回せと市民祭 「愛・地球博」起工式（愛知青少年公園） 市議会本会議のインターネット中継開始
15	2003	2. 7 2. 15 ～2. 16 2. 27 3. 8 3. 27 4. 一 4. 一 4. 一 6. 3 7. 12 9. 25 9. 30	「陶芸・灰釉技法」を市文化財に指定し、その保持者として鈴木八郎氏が認定され、「山口の警固祭り」を市文化財に指定し、その保持団体として「山口警固保存会」が認定 公民館50周年記念フェスティバル開催 第2回せとドリーム事業「シドニーオリンピック金メダリスト田村亮子選手と夢を語る会」開催 祖母懐公民館竣工式（2月移築） 「瀬戸の教育を創造する市民会議」より答申 単独校学校給食一部民間委託化の実施（深川小学校・品野台小学校） 学校給食配膳業務委託化1中学校追加実施（幡山中学校） 定光寺野外活動センター敷地内に展望塔完成 瀬戸市と市内及び近隣の六大学との間で、「大学コンソーシアム（連携）せと」の包括協定を締結 道泉、陶原、水野の3小学校のコンピュータ教室用のパソコン等を整備（更新） 市内小中学校の給食献立に「世界の料理」を加え、愛・地球博開催まで毎月一回シリーズ化 「瀬戸市史民俗調査報告書三 赤津・瀬戸地区」刊行	2. 2 3. 一 3. 一 3. 10 3. 20 3. 21 5. 22 6. 4 6. 11 6. 18 7. 14 7. 23 8. 2 8. 2 9. 25 10. 23 11. 8 11. 18 12. 1	愛知県知事選挙 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター完成 「いきいき瀬戸21」策定 尾張瀬戸総合改善事業竣工 「瀬戸蔵」施設設計発表 本郷橋開通 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター竣工式 瀬戸の歴史や文化、暮らしなどを伝える代表的な風景を集めた「瀬戸100景」を決定 皇太子殿下、愛・地球博会場予定地をご視察 愛・地球博会場名を「長久手会場」、「瀬戸会場」に正式決定 「瀬戸蔵」起工式 名鉄尾張瀬戸駅前ビル「パルティせと」起工式 「瀬戸市ノベルティ・こども創造館」オープン 「瀬戸市資源リサイクルセンター」オープン 愛・地球博の前売り入場券販売開始 東海環状自動車道潮見トンネル（瀬戸市白岩町～岐阜県笠原町深山）上り線貫通式 「愛・地球博開幕500日前記念イベント」瀬戸市内で開催 瀬戸市とりモージュ市（フランス）との間で姉妹都市提携調印 中京圏で地上波デジタル放送開始

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考		
H. 16	2004	1. 31	「瀬戸市史資料編四 近世」刊行	3. 20	県道愛知青少年公園線の「瀬戸菱野トンネル」開通		
		1. ー	「惣作・鐘場遺跡」から瀬戸で初の城館跡が出土	3. 25	「愛・地球博開幕 1 年前イベント」開催（名古屋市東区・オアシス 21）		
		2. 6	上半田川・下半田川両自治会が所有する「笠原村・両半田川村国境争論絵図」を市文化財に、水南小学校敷地内にある「マメナシ」の木を市天然記念物に指定	4. ー	県教育委員会が H16 年度から「小中連携」研究校を瀬戸市、知多市、額田町 3 地域で小中各 1 校の計 3 組を指定		
		2. 9	教師の指導を補助するボランティア「学校サポーター」を募集開始	4. 1	瀬戸市の人口 2 年連続で減少（131,944 人）		
		2. 19	「瀬戸の教育創造をすすめる会」を文化センターで開催	4. 1	愛・地球博の全期間入場券を販売開始		
		3. 4	同会をやすらぎ会館で開催	4. 1	フランスのリモージュ市に瀬戸事務所を開設		
		4. 1	「瀬戸市歴史民俗資料館」が来年オープン予定の「瀬戸蔵ミュージアム」へ展示物を移設準備するため休館	4. 21	チュニジアのナブール市と姉妹都市提携調印		
		4. ー	本山中・道泉小・深川小の 3 校が県教委より「小中連携研究校」に指定	9. 30	愛・地球博瀬戸会場で大陶壁の設置作業が着々と進行		
		4. 28	「大学コンソーシアム（連携）せと」のカレッジ講座開講	10. 7	皇太子殿下、愛・地球博の名誉総裁として万博会場を再視察		
		6. 9	「地域別 瀬戸の教育創造をすすめる会」を 8 中学校区で 7 月まで順次開催	10. ー	「やまて坂」、「みずの坂」等の市有財産 41 区画の宅地を売却するため一般公募		
		8. 15	総合型地域スポーツクラブ「品野スポーツクラブ」発足	11. 10	チュニジアの政府代表が来訪		
		8. 20	加藤伸也氏の「陶芸・織部・黄瀬戸」が県の文化財に指定	11. 16	姉妹都市フランス・リモージュ市へ訪問団派遣		
		9. ー	品野中学校運動場に夜間照明が完成	11. 21	川平町の「定光寺ほたるの里」増設整備完了		
		9. ー	H. 18 年度から市内全小中学校を対象に「隣接学校選択制」を導入することを決定（品野台小学校は「特認校」）	11. 27	東名高速道路と愛知万博長久手会場を結ぶ「名古屋瀬戸道路」が開通		
		10. 1	「大学コンソーシアム（連携）せと」結成の連携事業により、瀬戸市立図書館で近隣六大学の蔵書が利用可能となった	12. 14	陶原町に資源ごみのリサイクルセンターがオープン		
		10. 29	「瀬戸市史民俗調査報告書四品野地区」刊行	12. 15	瀬戸市文化センター美術展示ホールが瀬戸市美術館に改称		
		H. 17	2005	2. ー	パルティセと 4 階に生涯学習課・3 階に情報ライブラリー設置	2. 19	栄町に「パルティセと」オープン
				2. 3	小中学校行事による愛・地球博の入場料負担を決定	2. 27	愛・地球博瀬戸会場にやきものモニュメント「天水皿」の竣工
				2. 10	宝泉寺が所有する「古瀬戸瓶子」を市文化財に、菱野文化財調査保	3. 3	せと・やきもの世界大交流無料回遊バス運行ルート決定
						3. 16	国内最大の招き猫博物館「招き猫ミュージアム」が開館

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 17	2005		存会が所有する「菱野のおでく」を市文化財に指定	3. 19	蔵所町に「瀬戸蔵」オープン
		2. 28	瀬戸市史「資料編三 原始・古代・中世」を刊行	3. 19	東海環状自動車道の豊田東-美濃間が開通
		3. 一	瀬戸市教育アクションプラン策定	3. 25	愛・地球博開幕、「瀬戸市の日」開催
		3. 19	瀬戸蔵(2階～3階)内に瀬戸蔵ミュージアム開館	3. 28	名古屋工業大学とセラミック研究連携のため協定書調印
		4. 1	「隣接学校選択制」の試行	3. 28	コンゴ政府代表が来訪
		4. 1	幡山東小・長根小の学校給食調理業務委託化	3. 一	瀬戸旭準看護学院閉校
		4. 6	瀬戸市名誉市民の日本芸術院会員長江録弥氏(川崎市在住)が逝去	4. 一	せとっ子未来計画策定
		5. 29	瀬戸市無形文化財保持者(陶芸・灰釉技法)の鈴木八郎氏が逝去	4. 一	瀬戸市特定事業主行動計画策定
		6. 24	愛知県無形文化財保持者(陶芸・灰釉系技法)の加藤舜陶氏が逝去	4. 3	名鉄瀬戸線開通 100 周年
		7. 25	全日本ジュニアテコンドー選手権大会・女子バンタム級で幡山中学校・間瀬有梨佳さんが優勝	5. 2	中国・景徳鎮市長が来訪
		8. 21	和道会ワールドカップ国際大会で古橋卓也さんが男子個人形の部で優勝	5. 25	瀬戸市福祉マップを作製、配布
		12. 26	白坂町の雲興寺鐘楼が国の登録文化財(建造物)に登録される	6. 22	チュニジア・ナブール市長が来訪
				7. 8	フランス・リモージュ市長が来訪
				7. 12	天皇、皇后陛下が愛・地球博の長久手、瀬戸両会場を訪問
				8. 28	愛・地球博で2度目の「瀬戸市の日」開催
				9. 13	韓国・利川市長が来訪
				9. 25	愛・地球博閉幕
				9. 一	県が海上の森を自然環境保全地域に指定する新条例を検討
				10. 5	愛・地球博のマスコットキャラクター、モリゾーとキッコロが瀬戸市海上の森に特別住民登録
				11. 1	瀬戸蔵に「産業支援センターせと」が開設
18	2006	2. 5	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	2. 19	瀬戸市名誉市民の元市長加藤繁太郎氏が逝去
		2. 10	「陶芸・黄瀬戸」「陶芸・織部」を無形文化財に指定し、その保持者に加藤廉平氏及び加藤錦三氏を認定。また、有形文化財に万徳寺の「聖徳太子絵伝」4幅、典籍「聖徳太子伝」5冊と「松原広長寄進状」1点を指定	3. 15	コミュニティ FM 局開設
		2. 28	「瀬戸市史資料編五 近現代1」及び「瀬戸市史 民俗編」発刊	3. 31	フランスのリモージュ瀬戸事務所を閉鎖
		4. 1	「隣接学校選択制」の施行	3. 一	「瀬戸市第5次総合計画」策定
		4. 1	陶原小の学校給食調理業務委託化		「瀬戸市地域福祉計画」策定
		4. 15	世界ジュニアテコンドー選手権大会		「瀬戸市行政改革集中改革プラン」策定
		4. 15	大会日本代表選考会バンタム級で聖カピタニオ高校 間瀬有梨佳さんが優勝	4. 1	赤津保育園、品野南保育園休園
				4. 1	市消防本部初の女性消防士誕生
				4. 1	陶原小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
				4. 20	韓国・利川市と姉妹都市提携締結
				4. 24	「海上の森」の一部が「愛知県自然環境保全地域」に指定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 18	2006	6. 16～ 9. 15 6. 30～ 6. 23 6. 26 7. 23 7. 28 8. 20～ 9. 27 10. 1 10. 7 10. 9 11. 17 11. 19	幡山・光陵中学校屋内運動場耐震補強工事 東山小学校校舎増築・耐震補強工事（～H19. 8. 17） 瀬戸市教育アクションプラン推進会議発足 「市理科教育研究会」が環境省水・大気環境局長より水・土壌環境保全功労者表彰 全日本ジュニアテコンドー選手権大会で效範小学校 黒田温さんが優勝 東明小学校が中国・内モンゴルへ訪問団を派遣 中学生訪問団が姉妹都市フランス・リモージュ市へ 「広久手第 30 号窯跡」市史跡に指定 パルティセと・情報ライブラリーで図書等の貸出開始 品野台小学校に「地域図書館」開設 あいち共同利用型施設予約システムでのスポーツ施設利用予約開始 「まるっとせとっ子フェスタ 2006」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催「いじめ」の根絶を訴える緊急アピール発表	9. 25 10. 15 11. 一 12. 23	「あいち海上の森センター」開所 「せとっ子ファミリー交流館」開館 瀬戸市文化協会創立 20 周年 コミュニティバスの試験運転開始
19	2007	1. 8 3. 27 4. 一 4. 25 5. 18 6. 29～ 9. 14 6. 29～ 7. 1	南山中学校男子卓球部、全国中学選抜卓球大会県予選会で優勝 「瀬戸市史通史編 上」発刊 「瀬戸市史資料編六 近現代 2」発刊 效範小・原山小の学校給食調理業務委託化 全国学力・学習状況調査実施 「陶芸・灰釉」「陶芸・色絵磁器」を市無形文化財に指定し、その保持者に田沼春二氏及び林邦佳氏を認定 水野小学校屋内運動場耐震補強工事 西陵小学校校舎増築・耐震補強工事（～H20. 3. 14） 市民公園陸上競技場芝張替工事完成	2. 4 3. 一 4. 1 4. 8 4. 22 5. 24 7. 29 9. 1	愛知県知事選挙 幡山保育園休園 自治法改正により助役を廃し副市長を設置 愛知県議会議員選挙 市長・市議会議員選挙 瀬戸商工会議所創立 60 周年 参議院議員選挙 道泉小学校内に「せとっ子モアスクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 19	2007	7. 6 7. 10～ 9. 28 8. 30 10. 3 11. — 11. 9 11. 11 11. 18 12. — 12. 21 ～	中国景德鎮市から中高生訪問団 来訪 祖東・水野中学校屋内運動場耐震 補強工事 総合型地域スポーツクラブ「水 野・西陵いきいきクラブ」発足 本山中学校の姉妹提携校オーストラ リア・ロビビル・セカンダリー・カレッジ 生徒来訪 ニュージーラント・オークランド 市の中学生 来訪、水野中学校・祖東中学校で 交流 「まるっとせとっ子フェスタ ～11 2007」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催 陶原小学校体育館火災 八幡小学校キャリア教育「お店を 出そうプロジェクト」で文部科学 大臣表彰受賞 陶原小学校屋内運動場解体工事 ～ (～H20. 2. 18)		
20	2008	2. 18 2. 29 3. — 3. — 3. 31 4. 1 4. 1 4. — 4. 22 5. 7 5. 9 6. 20～ 9. 19 6. 20～ 10. 10	中国・内モンゴル自治区フフトカ 市カイワジ小学校児童が東明小 小学校を訪問 市立小学校 (20 校) に防犯カメラ 設置 西陵小学校校舎増築・耐震補強工 事 図書館耐震補強・アスベスト撤 去・トイレ・駐車場等改修工事 補助執行事務に関する協定書の 締結 (社会教育・社会体育関係の 事務を追加) 教育委員会組織の一部改編 (学び課と交流課を統合) 図書館開館時間の変更及び受付 業務の委託開始 「子ども読書活動推進計画」策定 全国学力学習状況調査実施 愛知県立大学とボランティア学 生派遣に関する協定を締結 「陶芸 御深井」を市無形文化 財に指定し、その保持者に加藤 唐三郎氏を認定 幡山中学校運動場照明設置工事 水無瀬・本山中学校屋内運動場耐 震補強工事	1. — 3. 1 3. 25 3. 25 4. 1 7. 21 8. — 10. 1	瀬戸市体育協会設立 60 周年 町名設定 (東山町) 緊急防災放送システム完備 レジ袋の有料化 (市内一部店舗) スタート 教育三法 (学校教育法・地方教 育行政の組織及び運営に関する 法律・教育職員免許法及び教育 公務員特例法) の改正 陶原小学校・道泉小学校プール 開放実施 「男女共同参画推進会議」・「男 女共同参画推進委員会」設置 八幡小学校内に「せとっ子モア スクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 20	2008	6. 23～	南山中学校大規模改造・耐震補強工事（～H21. 9. 30）		
		6. 23～	萩山小学校・瀬戸養護学校大規模改造及び耐震補強工事（～H21. 12. 25）		
		6. 27～	水南・幡山西・原山小学校屋内運動場耐震補強工事		
		9. 19			
		9. 12	「菱野おでく警固祭り」を市無形民俗文化財に指定		
		9. 12	「古文書 菱野郷倉文書」・「典籍 大般若経」を市指定有形文化財に指定		
		10. 1	教育委員の定数を増員（5名から7名に増員）		
		10. 4	光陵中学校に「地域図書館」開設		
		11. ー	「瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書」公表		
		11. 6	「まるっとせとっ子フェスタ		
		～9	2008」開催		
		11. 9	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		12. ー	「瀬戸市立学校施設耐震化計画」策定		
21	2009	1. 30～	陶原小学校屋内運動場敷地造成工事	2. 28	とうめい新聞廃刊
		7. 17		3. 20	「瀬戸万博記念公園（愛・パーク）」オープン
		3. 27	「塚原古墳群発掘調査報告書」刊行	4. 1	深川保育園・今村保育園休園
		3. 31	「紺屋田A窯跡発掘調査報告書」刊行	4. 1	養護老人ホーム「陶寿荘」民間に移管
		3. 31	「特別天然記念物オオサンショウウオ生息分布調査報告書」刊行	4. 20	定額給付金振込開始
		4. 1	東山小の学校給食調理業務委託化	6. 24	市内で新型インフルエンザ患者確認
		4. 21	全国学力・学習状況調査実施	8. 5	市制施行 80 周年記念「まるっと・せとっ子議会」開催
		5. 14～	陶原小学校屋内運動場新築工事（～H22. 1. 15）	～6	
		5. 20～	道泉小学校校舎耐震補強工事	9. 30	J Rバス一般路線撤退
		10. 23		10. 1	瀬戸市制施行 80 周年
		5. 20～	幡山中学校校舎耐震補強工事	10. 1	長根小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
		10. 23			
		6. 19～	東山・八幡小学校屋内運動場耐震補強工事		
		9. 18			
		7. 6	景德鎮市中学生訪問団来訪		
		～8	祖東中学校で交流		
		10. 3	西陵小学校に「地域図書館」開設		
		11. 12	「まるっとせとっ子フェスタ		
		～15	2009」開催		
		11. 15	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 21	2009	11. 15 ～	萩山小学校・瀬戸養護学校環境整備工事（～H22. 3. 29）		
22	2010	2. 26 3. 一 4. 一 4. 9 4. 20 4. 23 4. 28 5. 12 6. 11～ 10. 29 6. 18 6. 18 7. 30 ～8. 7 8. 4 ～13 10. 9 11. 11 ～14 11. 14	陶原小学校体育館竣工式 瀬戸養護学校竣工 瀬戸市立瀬戸養護学校（さくらんぼ学園）設立 幡山西小の学校給食調理業務委託化 開校式及び入学式を挙行 全国学力・学習状況調査を抽出校において実施 瀬戸市立図書館「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣賞を受賞 「瀬戸永泉教会礼拝堂」を登録有形文化財として登録 「瀬戸市史通史編 下」発刊 陶原小学校耐震補強工事 祖母懐小学校耐震補強工事 水野小学校耐震補強工事 長根小学校耐震補強工事 「工芸技術 有線七宝」を市無形文化財に指定し、その保持者に柴田明氏を認定 「工芸技術 陶芸 練り込み」を市無形文化財に指定し、その保持者に水野教雄氏を認定 本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣 水野小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとっ子フェスタ 2010」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	3. 25 7. 11 7. 21 10. 3 10. 一 10. 一 10. 1	「新大橋」架け替え工事 「新共栄橋」へ名称変更 参議院議員選挙 八幡小学校プール開放実施 西陵地域交流センターオープン 収納コールセンター開設 瀬戸市景観計画策定 原山小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
23	2011	3. 6 4. 一 5. 一 6. 一 6. 1～ 6. 8～ 11. 11	スポーツ功労者表彰 新学習指導要領の実施 西陵小の学校給食調理業務委託化 東日本大震災による被災児童・生徒のホストファミリー募集開始 下品野小学校蛇ヶ洞浄水場見学 効範小学校校舎増築・耐震補強工事（～H24. 3. 16） 八幡小学校校舎耐震補強工事	3. 一 3. 26 4. 3 4. 9 4. 20 4. 24 6. 一 10. 一 10. 一	第2次環境基本計画策定 道の駅瀬戸しなの開場 しなのバスセンターオープン 品野台地域交流センターオープン 給水支援隊、東松島市へ派遣 東松島市へ陶器類提供 瀬戸市長選挙および瀬戸市議会議員選挙 食器6万4千個東松島市に提供 瀬戸市暴力団排除条例施行 水南小学校内に「せとっ子モアスクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 23	2011	6. 10～ 11. 4 6. 10～ 11. 11 6. 14～ 10. 26 6. 15～ 9. 30 6. 30 7. 13～ 10. 7 8. 2 8. 5 10. 1 ～2 10. 15 11. 10 ～13 11. 13	品野中学校校舎耐震補強工事事 本山中学校校舎耐震補強工事 東明小学校校舎耐震補強工事 下品野小学校校舎耐震補強工事 効範小学校3年生市役所見学 深川小学校校舎耐震補強工事 名古屋学院大学とボランティア 学生の派遣などに関する協定に 調印 「まるっとせとっ子議会」開催 第8回日本オオサンショウウオの 会瀬戸大会開催 東山小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとっ子フェスタ 2011」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催		
24	2012	2. 5 4. 2 4. 一 6. 1～ 9. 28 6. 1～ 10. 19 6. 1～ 11. 2 6. 22～ 9. 21 6. 22～ 10. 5 6. 22～ 10. 12 6. 22～ 10. 26 6. 23 6. 29～ 10. 19 7. 27～ 8. 5 8. 1～ 10. 26	せと歴史と文化財を知る見学会 の実施 第8代教育長 深見和博就任 全国学力・学習状況調査を抽出校 において実施 古瀬戸小学校校舎耐震補強工事 水南小学校校舎耐震補強工事 光陵中学校校舎耐震補強工事 南山中学校校舎（技術棟）耐震補 強工事 効範小学校環境整備工事 水無瀬中学校校舎耐震補強工事 祖東中学校校舎耐震補強工事 掛川小学校「お茶会」開催 幡山東小学校校舎耐震補強工事 キミチャレ～キミも今日からチ ャレンジャー～開始 本山中学校オーストラリアへホ ームステイ派遣 幡山西小学校校舎耐震補強工事	1. 1 2. 一 3. 一 3. 1 4. 1 4. 14 10. 1 11. 1 12. 1 3. 1	通院医療費の無料化を中学3年 生まで拡大 のぞみ学園園舎増築 瀬戸市地場産業振興ビジョン策 定 第2次瀬戸市男女共同参画プラ ン策定 道泉地域交流センターオープン 陶祖 800年祭オープニング事業 「陶祖・藤四郎フォーラム」開 催 下品野小学校内に「せとっ子モ アスクール」開設 不活化ポリオワクチンとDPT （尺日せき・ジフテリア・破傷 風）の4種混合ワクチン定期予 防接種となる 瀬戸・尾張旭消防指令センター の運用開始 瀬戸市建築物耐震改修促進計画 改訂

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 24	2012	8. 2～ 8. 11 8. 2～ 8. 11 9. 21～ 9. 27 9. 24～ 10. 1 9. 25～ 9. 30 11. 8 ～11 11. 11 12. 7 ～	祖東中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣 本山中学校オーストラリアから ホームステイ受入 水野中学校ニュージーランドから ホームステイ受入 品野中学校ニュージーランドから ホームステイ受入 「まるっとせとっ子フェスタ 2012」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 陶原小学校外 15 校緊急地震速報 設置工事（～H25. 1. 18）		
25	2013	2. 一 2. 28 3. 14 3. 18 3. 18 3. 28 4. 一 4. 14 4. 23～ 6. 14 5. 10～ 2. 28 6. 28～ 8. 10 11. 14 ～17 11. 17 3. 28	図書館施設等安全安心事業として 書架固定工事、書籍落下防止工事、 飛散防止フィルム施工 「洞窯跡・東洞 A 窯跡」刊行 校光陵校舎大規模改造工事 「古瀬戸瓶子」を市有形文化財 （工芸）に指定 「品野祇園祭の神武天皇像および 従者像」を市有形民俗文化財に 指定 「市内遺跡調査報告VI 品野中部 遺跡・穴田古窯跡群・石田遺跡」 刊行 水南小の学校給食調理業務委託 化 全国学力・学習状況調査実施 小学校校舎増築・耐震補強工事 塚原内 1 号墳歴史広場の公開開始 深川小学校外 11 校緊急地震速報 設置工事 幡山中学校校舎増築・改造工事 光陵中学校・（仮称）瀬戸養護学 校 せと歴「深川神社本殿の保存修理 工事見学会」の開催 「まるっとせとっ子フェスタ 2013」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 「穴田窯跡 I -遺構編-」刊行	4. 一 5. 一 5. 31 6. 九 7. 30 8. 1～2 9. 26～ 10. 二 10. 一	第 2 次いきいき瀬戸 21 健康日 本 21 瀬戸市計画策定 市庁舎増改築整備工事開始 名鉄「新瀬戸駅」の南口交通広 場が完成 山口・菱野・本地地区参加の「郷 社祭り」開催 瀬戸市子ども・子育て会議開催 六角陶碑第 2 次内部調査を行う 瀬戸市・リモージュ姉妹都市提 携 10 周年記念事業「瀬戸市公 式訪問団」リモージュ市派遣 効範小学校内に「せとっ子モア スクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 26	2014	3. 28	「市内遺跡調査報告Ⅶ 若宮遺跡 (若宮町3-84地点)」刊行	4. 19～	陶祖 800 年祭記念「藤四郎フェ スティバル」の開催
		4. 1	教育委員会組織の一部改編 (教育総務課と学校教育課を統 合)	9. 30	利川市訪問団が来訪
		4. 8	瀬戸特別支援学校光陵校舎開校	10. 1	幡山西小学校内に「放課後学級」 開設
		4. 一	全国学力・学習状況調査実施	11. 1	市役所新庁舎完成
		4. 一	「子ども読書活動推進計画(第二 次)」策定		
		6. 6	瀬戸市教育委員会と愛知県瀬戸 警察署との協定書の締結		
		7. 25～	本山中学校オーストラリアへホ ームステイ派遣		
		8. 4			
		7. 31～	祖東中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣		
		8. 9			
		9. 27～	水野中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣・受入		
		10. 3			
		9. 27～	品野中学校ニュージーランドへ ホームステイ受入		
		10. 3			
		9. 29	瓶子窯跡北側里山林を「瓶子の 森」として一体で整備するため公 有地化		
		10. 6	「志段味古墳群 尾張戸神社古 墳」が国指定史跡に追加指定		
		11. 13	「まるっとせとっ子フェスタ 2014」開催		
		11. 16	「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催		
		11. 28～	小・中学校屋内運動場非構造部材 落下防止対策工事		
		3. 20			
		11. 30	せと歴「品野の中馬街道を歩く」 の開催		
		12. 26	小・中学校消防設備・防火扉改修 工事		
		～3. 20			
27	2015	1. 一	瀬戸市いじめ防止基本方針策定	5. 1	伊藤保徳市長就任
		2. 6	歴史的建造物「旧山繁商店」の公 有化	10. 1	水野小学校、掛川小学校内に「放 課後学級」開設
		2. 27	「六角陶碑一字一石経 整理報告 書」刊行	10. 5	マイナンバー制度開始
		3. 21	東洞A窯跡現地説明会開催 無形民俗文化財記録 DVD「郷社祭 り」制作 文化財紹介 DVD「風にのって」「瀬 戸に暮らす～洞地区～」制作		
		3. 27	「市内遺跡調査報告Ⅷ 今村城 跡」刊行		
		3. 31	「東印所A窯跡」刊行		
		4. 1	下品野小の学校給食調理業務委 託化		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 27	2015	7. 6～ 3. 25 9. 28 10. 7 11. 7 11. 12 11. 15 11. 17	瀬戸市体育館第1競技場耐震補強工事 第1回総合教育会議 国史跡小長曾陶器窯跡が「瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡」となり「瀬戸窯跡 瓶子陶器窯跡」が国指定史跡に追加指定 せと歴「瀬戸の古墳 再発見」の開催 「まるっとせとっ子フェスタ2015」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 「旧山繁商店 離れ・事務所・旧事務所・土蔵・新小屋・前倉庫・中倉庫・奥倉庫・塀」が国登録文化財(建造物)に登録		
H. 28	2016	1. 7 2. 20 3. ー ～3. 17 3. 25 3. 31 4. 1 4. 10 6. 5 7. 16 8. 17 9. 2 10. 1 10. 11 11. 7	歴史文化基本構想第1回策定委員会開催 桂蔵窯跡現地説明会開催 第2次瀬戸市教育アクションプラン策定 西陵小学校増築・改修工事 瀬戸市立図書館整備基本構想策定 第2回総合教育会議 「若宮遺跡-若宮町3丁目130番地点の調査-」・「大坪西遺跡」刊行 原山小学校に「日本語初期指導教室」開設 教育委員会に「教育サポートセンター」開設 3名のスクールソーシャルワーカーを配置 八幡小の学校給食調理業務委託化 せと歴！「水南のマメナシ界限I」の開催 せと歴！「馬ヶ城の歴史」の開催 せと歴！「陶祖公園」の開催 第1回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会 平成28年度第1回総合教育会議 新教育委員会制度の下、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」を置く 平成28年度第2回総合教育会議 第2回瀬戸市小中一貫校施設整備	10. 1	祖母懐小学校、東山小学校内に「放課後学級」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 28	2016	11. 10 ~13 11. 13 11. 30 12. 22 12. 22	委員会 「まるっとせとっ子フェスタ 2016」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催 洞本業窯保存事業(保護覆屋等の 保存工事)完了 第1回旧山繁商店保存活用計画策 定委員会開催 第3回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会		
H. 29	2017	1. 26 2. ー 2. 7 2. 16 2. 22 3. 24 3. 25 3. 31 4. 29 5. 20 6. 29 8. 28 8. 31 10. 1 11. 23	第4回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会 瀬戸市小中一貫校施設整備基本 構想策定 歴史文化基本構想第7回策定委員 会開催 (瀬戸市歴史文化基本構想策定) 第5回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会 平成28年度第3回総合教育会議 「陶祖公園内窯跡発掘調査報告 書」刊行 せと歴! 「水南のマメナシ界限 II」の開催 「中水野遺跡発掘調査報告書」・ 「太平窯跡・大平縄文遺跡」刊行 せと歴! 「まちめぐり 水野地区」 (7.8「同 下品野地区」9.16「同 今 村地区」、12.9「同 下半田川地 区」)の開催 せと歴! 「山口の遺跡発見 新発 見」の開催 第1回瀬戸市小中一貫校開校準備 委員会 第2回瀬戸市小中一貫校開校準備 委員会 国重文定光寺本堂保存修理(屋根 葺替)工事完了 (6.24 7.29 せと歴! 「定光寺本堂 葺替工事見学会」) 幡山西小学校に「地域図書館」開 設 せと歴! 「3つの登録文化財を巡 る見学バスツアー」開催		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考	
H. 30	2018	1. 18	第3回瀬戸市小中一貫校開校準備委員会	3. 30	藤井聡太 6 段瀬戸市初となる市民栄誉賞受賞	
		1. 20	せと歴！「水南のマメナシ界限Ⅲ」(3.31「同Ⅳ」)開催			
		2. 8～ 17	広久手 F 窯跡学術調査(愛知学院大学調査)の実施(2.17 せと歴！「現地説明会」開催)			
		3. 6	第 6 回旧山繁商店保存活用計画策定委員会開催(旧山繁商店保存活用計画の策定)			
		3. 28	平成 29 年度第 1 回総合教育会議「本地大塚古墳・西本地町東遺跡」刊行			
		3. 29	「市内遺跡調査報告Ⅸ」刊行			
		3. 30	「瀬戸市の警固祭り」刊行			
		3. 31	瀬戸市立視聴覚ライブラリーを廃止			
		4. 1	道泉小の学校給食調理業務委託化 瀬戸市立図書館に図書館協議会を設置(瀬戸市図書館協議会条例施行)			
		4. 23	長根小学校「子ども読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞を受賞			
		5. 1	長根小学校をコミュニティスクール研究指定			
		5. 15	瀬戸市小中一貫校建設に伴う東公園グラウンド、同テニスコート、同運動広場の廃止			
		5. 19	せと歴！「まちめぐり 洞地区」の開催			
		5. 28	瀬戸市立小中一貫校安全祈願祭			
		6. 18	瀬戸信用金庫総合グラウンド(野球場、テニスコート、運動広場)の市民への開放開始	10. 17		藤井聡太 7 段新人王戦優勝
		8. 13 ～19	広久手 F 窯跡学術調査(愛知学院大学調査)の実施 (8.19 せと歴！「現地説明会」開催)			
		9. 16	市指定文化財洞本業窯保存修理(覆屋修理)工事完了			
		9. 23	教育シンポジウム 2018 開催			
		10. 24	瀬戸市立図書館一般書書庫の階段ノンスリップ工事			
		10. 31	平成 30 年度第 1 回開校準備委員会			
		11. 24	せと歴！「まちなかの歴史的建造物を巡るツアー」開催			

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 31	2019	12. 9 12. 28 ～3. 15 12. 28 ～3. 15 2. 5 ～3. 14 3. ー	せと歴！「日本遺産・赤津の古窯 と古刹を巡るツアー」開催 瀬戸市立図書館おもいやり駐停 車場整備工事 瀬戸市立図書館階段昇降機設置 工事 瀬戸市立図書館書架固定及び床 張替え工事 瀬戸市子ども読書活動推進計画 (第三次) 策定		

2 教育関係施設一覧

名 称	所 在 地	電 話 番 号
瀬戸市役所	瀬戸市追分町64番地の1	82-7111
陶原小学校	〃 原山町1番地の3	82-2243
深川小学校	〃 宮脇町53番地	82-2272
祖母懐小学校	〃 萩殿町2丁目178番地	82-2273
道泉小学校	〃 道泉町44番地	82-2474
效範小学校	〃 效範町1丁目1番地	82-3050
東明小学校	〃 東明町50番地	82-5501
古瀬戸小学校	〃 古瀬戸町70番地	82-2392
水野小学校	〃 小田妻町2丁目22番地	48-1098
水南小学校	〃 東松山町154番地	82-2084
幡山東小学校	〃 八幡町455番地	82-4404
幡山西小学校	〃 幡西町203番地	82-4394
下品野小学校	〃 品野町6丁目223番地	41-0074
品野台小学校	〃 上品野町1234番地	41-0041
掛川小学校	〃 下半田川町592番地の41	48-5151
長根小学校	〃 東長根町166番地	82-9640
原山小学校	〃 原山台3丁目98番地	21-3804
東山小学校	〃 東山町71番地	21-2801
萩山小学校	〃 萩山台2丁目22番地	83-3650
八幡小学校	〃 八幡台3丁目1番地	82-4445
西陵小学校	〃 すみれ台1丁目77番地	48-1993
水無瀬中学校	〃 原山町1番地	82-3098
祖東中学校	〃 中山町1番地	82-2244
南山中学校	〃 ひまわり台5丁目1番地	48-1212
本山中学校	〃 道泉町76番地の1	82-2363
幡山中学校	〃 幡中町106番地	82-4393
品野中学校	〃 広之田町2番地の5	41-0019
光陵中学校	〃 萩山台9丁目244番地	21-4660
水野中学校	〃 日の出町34番地	48-4698
瀬戸特別支援学校	〃 萩山台2丁目22番地	76-4391
瀬戸特別支援学校光陵校舎	〃 萩山台9丁目244番地	76-2263
陶原公民館	〃 熊野町98番地	83-3579
深川公民館	〃 宮脇町53番地	82-0453
祖母懐公民館	〃 上ノ切町43番地	82-9304
古瀬戸公民館	〃 西拝戸町16番地の10	83-8741
東明公民館	〃 西拝戸町16番地の3	82-8024
效範公民館	〃 北山町39番地	82-1095

名 称	所 在 地	電 話 番 号
長根公民館	瀬戸市城屋敷町22番地	85-0911
水南公民館	〃 東松山町154番地	21-2556
山口公民館	〃 田中町108番地	87-0700
幡山公民館	〃 幡山町71番地	87-4000
下品野公民館	〃 品野町6丁目105番地	41-4118
掛川公民館	〃 定光寺町1206番地	48-6165
原山公民館	〃 原山台8丁目163番地	83-9231
萩山公民館	〃 萩山台4丁目2番地の2	84-2088
八幡公民館	〃 八幡台1丁目145番地の2	82-9456
図書館	〃 東松山町1番地の2	82-2202
パーティセと情報ライブラリー	〃 栄町45(パーティセと内)	97-1162
学校給食センター	〃 日の出町34番地の2	48-7600
市民公園(スポーツ課)	〃 上本町1番地	48-0500
定光寺野外活動センター	〃 鹿乗町1231番地	48-0770
公立瀬戸旭看護専門学校	〃 進陶町6番地の1	85-2220
聖霊中学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
聖霊高等学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
瀬戸高等学校	〃 東山町1丁目5番地	82-7710
瀬戸窯業高等学校	〃 東権現町22番地の1	82-2003
瀬戸西高等学校	〃 緑町1丁目140番地	84-7400
瀬戸北総合高等学校	〃 本郷町260番地	48-1500
聖カピタニオ女子高等学校	〃 西長根町137番地	82-7711
名古屋学院大学瀬戸キャンパス	〃 上品野町1350番地	42-0350
愛知県立窯業高等技術専門校	〃 南山口町538番地	21-6666
瀬戸ひなご幼稚園	〃 紺屋田町93番地の41	82-7760
雪の聖母幼稚園	〃 東長根町91番地	82-6409
マリア幼稚園	〃 苗場町8番地	82-9749
真貴幼稚園	〃 原山台2丁目23番地の2	21-4127
菱野幼稚園	〃 萩山台7丁目13番1号	83-3651
はちまん幼稚園	〃 八幡台4丁目14番1号	83-8703
瀬戸幼稚園	〃 すみれ台4丁目40番地の5	48-4800

瀬戸市の教育

(令和元年度版)

令和元年10月発行

編集・発行

瀬戸市教育委員会
瀬戸市追分町64番地の1
TEL (0561)88-2750(直通)